

(様式第10)

名大医総第105号  
平成27年10月2日

東海北陸厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人 名古屋大学  
総長 松尾 清一 印

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
氏 名	国立大学法人 名古屋大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

名古屋大学医学部附属病院
--------------

3 所在の場所

〒 466 - 8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地	電話 (052)741-2111
--------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 血液内科 2 糖尿病・内分泌 3 腎臓内科 4 老年内科 5 呼吸器内科 6 消化器内科 7 循環器内科 8 神経内科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科名等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	・	無
外科と組み合わせた診療科名等			
1 心臓外科 2 血管外科 3 移植外科 4 消化器外科 5 乳腺・内分泌外科 6 呼吸器外科 7 小児外科			
8 形成外科 9 10 11 12 13 14			
診療実績			

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他標榜していることが求められる診療科名

1 精神科	2 小児科	3 整形外科	4 脳神経外科	5 皮膚科	6 泌尿器科	7 産婦人科
8 産科	9 婦人科	10 眼科	11 耳鼻咽喉科	12 放射線科	13 放射線診断科	
14 放射線治療科	15 麻酔科	16 救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	・	無
歯科と組み合わせた診療科名等			
1 口腔外科 2 3 4 5 6 7			
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 児童精神科	2 病理診断科	3 リハビリテーション科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	0床	0床	0床	985床	1035床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 9月 1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	340 人	311 人	592.4 人	看護補助者	48 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	8 人	25 人	29.2 人	理学療法士	25 人	臨床検査技師	70 人
薬 剤 師	80 人	10 人	90.0 人	作業療法士	6 人	臨床検査衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	12 人	臨 床 検 査 師	0 人
助 産 師	37 人	1 人	37.3 人	義肢装具士	0 人	その他	0 人
看 護 師	1046 人	65 人	1088.8 人	臨床工学技士	32 人	あん摩マッサージ指圧師	人
准看護師	1 人	0 人	1.0 人	栄 養 士	0 人	医療社会事業従事者	17 人
歯科衛生士	3 人	0 人	3.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	246 人
管理栄養士	7 人	0 人	7.0 人	診療放射線技師	64 人	その他の職員	4 人

(注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

(注) 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	26 人	眼 科 専 門 医	10 人
外 科 専 門 医	94 人	耳鼻咽喉科専門医	11 人
精 神 科 専 門 医	11 人	放射線科専門医	22 人
小 児 科 専 門 医	31 人	脳神経外科専門医	17 人
皮 膚 科 専 門 医	5 人	整形外科専門医	36 人
泌尿器科専門医	13 人	麻 酔 科 専 門 医	17 人
産婦人科専門医	26 人	救急科専門医	6 人
		合 計	325 人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	806.3 人	8.6 人	814.9 人
1日当たり平均外来患者数	2361.8 人	82.2 人	2444.0 人
1日当たり平均調剤数			667.9 剤
必 要 医 師 数			219 人
必 要 歯 科 医 師 数			5 人
必 要 薬 剤 師 数			28 人
必 要 ( 准 ) 看 護 師 数			489 人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

(注) 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

(注) 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要		
集中治療室	1,529 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	44床	
			心電計	計(有)・無	
			人工呼吸装置	(有)・無	
			心細動除去装置	(有)・無	
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	
			ペースメーカー	(有)・無	
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	291 m <sup>2</sup>	病床数	27床
	[移動式の場合]	台数	台		
薬品情報室	[専用室の場合]	床面積	54 m <sup>2</sup>		
	[共用室の場合]	共用する室名 薬歴管理室、高度医療薬剤支援室			
化学検査室	559 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置	
細菌検査室	128 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	バクテアラート3D、マイクロスキャン	
病理検査室	341 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋	
病理解剖室	66 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台	
研究室	142 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	次世代シーケンサー、質量分析装置	
講義室	55 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	
			収容定員	35人	
図書室	41 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	
			蔵書数	8,400冊程度	

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

(注) 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	72.0 %	逆紹介率	55.2 %
算出根拠	A：紹介患者の数		17,984人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,546人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,275人
	D：初診の患者の数		28,154人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	3 人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	68 人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	1 人
骨髄細胞移植による血管新生療法	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃癌(腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージII若しくはIIIであって肉眼型分類が3型(長径が八センチメートル以上のものに限る。)若しくは4型であるものに限る。)	2 人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃癌(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	6 人
培養骨髄細胞移植による骨延長術 骨系統疾患(低身長又は下肢長不等である者に係るものに限る。)	2 人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	3 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	7 人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1 人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃癌	4 人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術 腎がん(長径が七センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移していないものに限る。)	4 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
特になし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

- (注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。
- (注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	69 人	・膿疱性乾癬	3 人
・多発性硬化症	98 人	・広範脊柱管狭窄症	9 人
・重症筋無力症	104 人	・原発性胆汁性肝硬変	44 人
・全身性エリテマトーデス	190 人	・重症急性膵炎	5 人
・スモン	7 人	・特発性大腿骨頭壊死症	105 人
・再生不良性貧血	68 人	・混合性結合組織病	15 人
・サルコイドーシス	113 人	・原発性免疫不全症候群	11 人
・筋萎縮性側索硬化症	56 人	・特発性間質性肺炎	11 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	198 人	・網膜色素変性症	38 人
・特発性血小板減少性紫斑病	78 人	・プリオン病	0 人
・結節性動脈周囲炎	12 人	・肺動脈性肺高血圧症	31 人
・潰瘍性大腸炎	398 人	・神経線維腫症	47 人
・大動脈炎症候群	34 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・ビュルガー病	29 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4 人
・天疱瘡	19 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	19 人
・脊髄小脳変性症	82 人	・ライソゾーム病	4 人
・クローン病	269 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	28 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・脊髄性筋萎縮症	1 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	390 人	・球脊髄性筋萎縮症	87 人
・アミロイドーシス	10 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	52 人
・後縦靭帯骨化症	72 人	・肥大型心筋症	4 人
・ハンチントン病	3 人	・拘束型心筋症	0 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	68 人	・ミトコンドリア病	7 人
・ウェゲナー肉芽腫症	11 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	61 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群)	27 人	・黄色靭帯骨化症	9 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4 人	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常 症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異 常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能 低下症)	165 人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 特定機能病院入院基本料	・ 救急搬送患者地域連携紹介加算
・ 一般病棟 7対1入院基本料	・ 総合評価加算
・ 精神病棟10対1入院基本料	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 臨床研修病院入院診療加算	・ 病棟薬剤業務実施加算
・ 臨床研修病院入院診療加算(歯科に係るもの)	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・ データ提出加算2
・ 超急性期脳卒中加算	・ 特定集中治療室管理料1
・ 妊産婦緊急搬送入院加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 診療録管理体制加算	・ 小児入院医療管理料2
・ 急性期看護補助体制加算	・ 小児入院医療管理料4
・ 看護職員夜間配置加算	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 療養環境加算	・ 歯科外来診療環境体制加算
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 感染防止対策地域連携加算
・ 無菌治療室管理加算1	・ 救急搬送患者地域連携受入加算
・ 無菌治療室管理加算2	・ 精神科救急搬送患者地域連携受入加算
・ 緩和ケア診療加算	・
・ 精神科身体合併症管理加算	・
・ 摂食障害入院医療管理加算	・
・ がん診療連携拠点病院加算	・
・ 医療安全対策加算1	・
・ 感染防止対策加算1	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ ハイリスク妊娠管理加算	・
・ ハイリスク分娩管理加算	・
・ 退院調整加算1	・
・ 新生児特定集中治療室退院調整加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 植込型除細動器移行期加算	・ 時間内歩行試験
・ 高度難聴指導管理料 (人工内耳埋込術の届出により可)	・ ヘッドアップティルト試験
・ 糖尿病合併症管理料	・ 皮下連続式グルコース測定
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 長期継続頭蓋内脳波検査
・ 外来緩和ケア管理料	・ 神経学的検査
・ 移植後患者指導管理料	・ 補聴器適合検査
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 内服・点滴誘発試験
・ 院内トリアージ実施料	・ センチネルリンパ節生検(併用)
・ 夜間休日救急搬送医学管理料	・ センチネルリンパ節生検(単独)
・ ニコチン依存症指導管理料	・ 画像診断管理加算2
・ がん治療連携計画策定料	・ ポジトロン断層撮影
・ がん治療連携管理料	・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ がん患者指導管理料3
・ 薬剤管理指導料	・ CT撮影及びMRI撮影
・ 医療機器安全管理料1	・ 冠動脈CT撮影加算
・ 医療機器安全管理料2	・ 大腸CT撮影加算
・ 医療機器安全管理料(歯科)	・ 心臓MRI撮影加算
・ 持続血糖測定器加算	・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ 造血器腫瘍遺伝子検査	・ 外来化学療法加算1
・ HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・ 無菌製剤処理料
・ 検体検査管理加算(I)	・ 心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・ 検体検査管理加算(IV)	・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・ 遺伝カウンセリング加算	・ 運動器リハビリテーション料(I)
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ 呼吸器リハビリテーション料(I)
・ 植込型心電図検査	・ がん患者リハビリテーション
・ 胎児心エコー法	・ 認知療法・認知行動療法2

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	・
・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1及び乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）	・
・ 膀胱水圧拡張術	・
・ インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術（早期大腸がん（EMR（内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。））では一括切除が困難な2センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。）又は腺腫（EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残若しくは再発したものであって、EMRでは切除が困難な1センチメートル以上の病変のものに限る。）に係るものに限る。）	・
	・
	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	脳神経外科・小児科・神経内科：神経生理機能検査部門 月1回 血液内科：検体検査部門 月1回、解剖・病理室 月1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 15 例 / 剖検率 2.7 %

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100ツムラ大建中湯（医療用）の有効性に関する検討 -多施設共同による二重盲検無作為化比較臨床試験-	小倉 靖弘	医学部附属病院	1症例あたり100,000円	補 ⓪ 国立大学法人京都大学
平成26年度遠隔医療設備整備事業	石黒 直樹	大学院医学系研究科総合医学専攻運動・形態外科学	¥2,194,000	補 委補 愛知県
治癒切除不能膵癌に対するFOLFIRINOX療法の観察研究	榑野 正人	消化器外科 I	出来高払1症例あたり32,400円	補 ⓪ 公益財団法人静岡県産業振興財団
RNA測定による膵癌血液診断法の実用化研究	藤原 忠美	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	¥500,000	補 ⓪ 国立大学法人金沢大学
「病理病期 I 期 (T1>2cm、TNM分類6版) 非小細胞肺癌完全切除例における術後治療に関する観察研究」(研究略称名:「CSPOR LC-03」)	横井 香平	大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学	出来高払1症例あたり2,160円	補 ⓪ 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
低酸素性虚血性脳症に対する自己臍帯血幹細胞治療に関する研究	早川 昌弘	医学部附属病院	¥1,000,000	補 ⓪ 公立大学法人大阪市立大学
BIM遺伝子多型陽性癌におけるHDAC阻害薬の耐性克服効果を最適化する薬力学的効果の指標を探索する研究	藤原 忠美	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	¥1,000,000	補 ⓪ 国立大学法人金沢大学
治癒切除不能膵癌に対するFOLFIRINOX療法の観察研究	榑野 正人	消化器外科 I	出来高払1症例あたり32,400円	補 ⓪ 公益財団法人静岡県産業振興財団
持続可能なネットワーク型中部先端医療開発拠点の形成	石黒 直樹	医学部附属病院	¥110,056,955	補 委補 文部科学省
ICTを活用した地域医療ネットワーク事業	水野 正明	医学部附属病院	¥12,487,000	補 委補 厚生労働省
高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究	安藤 昌彦	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	¥1,000,000	補 ⓪ 杏林大学
発達障害を含む児童・思春期精神疾患の薬物治療ガイドライン作成と普及	岡田 俊	医学部附属病院親と子どもの心療科	¥500,000	補 ⓪ 国立大学法人弘前大学
大腸内視鏡検査における腸管洗浄剤の至適投与方法の検討	安藤 昌彦	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	¥400,000	補 ⓪ 愛知県がんセンター

小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究	伊藤 嘉規	医学部附属病院小児科	¥500,000	補 委	地方独立行政法人大阪府立病院機構
第3期慢性腎臓病を伴う高尿酸血症患者を対象としたフェブキソスタット製剤の腎機能低下抑制効果に関する多施設共同、プラセボ対照、二重盲検、ランダム化並行群間比較試験 (FEATHER study)	丸山 彰一	分子総合医学専攻	出来高払い	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
超高齢者社会における治療困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究	安藤 昌彦	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
「希少がん・小児がん」(若年性骨髄単球性白血病の網羅的遺伝子解析に基づく分子標的薬の開発)	村松 秀城	医学部附属病院小児科	¥20,000,000	補 委	文部科学省
ステント支援脳動脈瘤塞栓術の効果と安全性に関する多施設共同前向き観察研究(研究略称: ESSENCE)	泉 孝嗣	大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学	1症例につき21,000円	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
ステント支援脳動脈瘤塞栓術の効果と安全性に関する多施設共同前向き観察研究ー抗血小板薬の効果と画像所見(研究略称: ESSENCE-API)	泉 孝嗣	大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学	1症例につき42,000円	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
AYA世代における急性リンパ性白血病の生物学的特性と小児型治療法に関する研究	早川 文彦	医学部附属病院血液内科	¥39,000,000	補 委	厚生労働省
免疫遺伝情報に基づく非血縁移植統合データベースの構築と最適なドナー・さい帯血の選択	村田 誠	医学部附属病院血液内科	¥500,000	補 委	愛知県がんセンター
HCVに対する抗ウイルス治療後、SVR後の病態に関する研究	林 和彦	医学部附属病院消化器内科	¥2,000,000	補 委	国立感染症研究所
患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確率に関する多施設共同試験	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥2,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター中央病院
感度、特異度に優れたHIT診断基準の確立、血栓症発症予防法の検討	松下 正	輸血部	¥320,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
スライド構造を持つ超微細なカテーテルを実現する細径加工技術、極小被覆技術の研究開発	水野 正明	先端医療・臨床研究支援センター	¥143,748	補 委	公益財団法人名古屋産業科学研究所
重症心不全患者に対するテイラーメイド方式心臓サポートネット開発	秋田 利明	金沢医科大学心臓血管外科	¥80,000,000	補 委	文部科学省
「KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周術期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験」(研究略称: EXPERT)	小寺 泰弘	機能構築医学専攻	¥105,000	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
多施設共同研究の質的向上に必要な生物統計手法に関する研究	平川 晃弘	先端医療・臨床研究支援センター	¥200,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター

リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	富田 章裕	医学部附属病院血液内科	¥300,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発/ヒト間葉系幹細胞由来の再生医療製品製造システムの開発/Muse細胞を用いた再生医療の実現に向けた製剤製造システムの研究開発	水野 正明	先端医療・臨床研究支援センター	¥10,000,000	補 委	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
高齢者術後せん妄予防・治療のための標準化プログラム作成および術前CGA/虚弱評価による高齢者手術の安全性評価に関する研究	横山 幸浩	消化器外科一	¥500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
ロコモ（虚弱）センター開設に向けての臨床・研究デザイン構想構築に関する多科共同研究	今釜 史郎	整形外科	¥1,500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者における体幹および下肢の固有感覚受容が腰痛及び易転倒性に与える影響と腰痛および転倒予防に対するproprioceptive approachへの応用	伊藤 全哉	整形外科	¥2,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
ロコモ（虚弱）センター開設に向けての臨床・研究デザイン構想構築に関する多科共同研究	酒井 忠博	整形外科	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者術後せん妄予防・治療のための標準化プログラム作成および術前CGA/虚弱評価による高齢者手術の安全性評価に関する研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者の低栄養状態における発症要因および消化機能異常の関与とその原因の解明に関する研究	中村 正直	消化器内科	¥500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者の血管性認知症に対する心-脳連関に着目した新規予防法及び治療法の開発	因田 恭也	循環器内科	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
脳腫瘍モデルにおけるPK/PD解析標準化に関する研究	安藤 雄一	医学部附属病院化学療法部	¥400,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
高齢者大腸癌薬物療法におけるQOL研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥300,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験	菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	出来高払い	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業（看護師の人材養成システムの確立）	三浦 昌子	看護部	¥17,315,000	補 委	文部科学省
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	小池 春樹	神経内科	¥600,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
精神神経疾患の原因・関連遺伝子に関する基盤的開発研究	永井 拓	薬剤部	¥1,100,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター

多施設共同研究におけるがん患者に対する適切なQOL評価法確立のための研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥800,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
不妊及び不育に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	医学部附属病院総合周産期母子医療センター生殖周産期部門	¥4,628,000	補 委	愛知県
ヒトiPS細胞を用いた視床下部-下垂体ホルモン産生細胞の分化誘導法と移植方法の開発	須賀 英隆	医学部附属病院糖尿病・内分泌内科	¥45,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
持続可能なネットワーク型中部先端医療開発拠点の形成	石黒 直樹	医学部附属病院	¥565,324,610	補 委	文部科学省
東アジア、オセアニアにおける生活習慣病対策推進のための学際的研究	青山 温子	国際保健医療学・公衆衛生学	6,763,000	補 委	厚生労働省
多関節障害重症RA患者に対する総合的関節機能再建治療法の検討と治療ガイドライン確立	石黒 直樹	整形外科	9,500,000	補 委	厚生労働省
治験の実施に関する研究[ONYX]	泉 孝嗣	脳神経外科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
下部神経管閉鎖障害の病態・制御研究	大野 欽司	神経遺伝情報	16,100,000	補 委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	木村 宏	ウイルス学	17,200,000	補 委	厚生労働省
地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究-特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築	葛谷 雅文	老年科	7,950,000	補 委	厚生労働省
拘束性皮膚障害の本邦における診療実態の把握、全患者データベース構築と診断指針の作成	河野 通浩	皮膚科	1,700,000	補 委	厚生労働省
構造並びに機能再生を目指す脂肪組織由来幹細胞治療の開発	後藤 百万	泌尿器科	90,000,000	補 委	厚生労働省
球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	43,646,000	補 委	厚生労働省
神経芽腫の患者に対するモノクローナル抗体ch14.18/CH0持続投与の第I相試験（医師主導治験）	高橋 義行	小児科	1,800,000	補 委	厚生労働省
神経芽腫の患者に対するモノクローナル抗体ch14.18/CH0持続投与の第I相試験（医師主導治験）	高橋 義行	小児科	15,000,000	補 委	厚生労働省

治験の実施に関する研究 [CH14. 18/CHO]	高橋 義行	小児科	800,000	補 委	厚生労働省
治験の実施に関する研究[5ALA・SFC]	夏目 淳	小児科	500,000	補 委	厚生労働省
腹腔外発生デマト腫瘍患者の実態把握および診療ガイドライン確立に向けた研究	西田 佳弘	整形外科	1,600,000	補 委	厚生労働省
難治性腎疾患に関する調査研究	松尾 清一	腎臓内科	26,300,000	補 委	厚生労働省
科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究	松下 正	輸血部	11,500,000	補 委	厚生労働省
新たな造血幹細胞移植法の開発：生着効率の向上を目指して	村田 誠	血液内科	10,088,000	補 委	厚生労働省
医療機関における感染制御に関する研究	八木 哲也	感染制御学	7,500,000	補 委	厚生労働省
医療系学生への段階的多職種連携教育（IPE）：模擬患者（SP）参加型IPEから地域の患者参加型IPE	阿部 恵子	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	¥300,000	補 委	国立大学法人岐阜大学
ポリグルタミン病の病態因子を標的とした治療開発とその臨床応用	勝野 雅央	神経内科学	¥1,134,900	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
IgGシアル酸付加の生理・病理的意義	古川 鋼一	分子細胞化学	¥8,132,800	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
聴覚神経回路での入力依存的な神経活動制御	久場 博司	細胞生理学	¥10,400,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
病理組織診断の精度管理に関する研究	豊國 伸哉	生体反応病理学	¥3,045,600	補 委	西尾市
高伸張性不織布、高靱性骨ペースト、骨ステントを組み合わせた脆弱性骨折に対する新規治療技術開発と実用的な製品製造技術の確立	平田 仁	手の外科	¥6,215,300	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
歯髄再生治療をモデルとした高齢者の再生治療を促進する因子（RSF）の開発	武井 佳史	疾患モデル解析学	¥1,500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
歯髄再生治療をモデルとした高齢者の再生治療を促進する因子（RSF）の開発	山本 徳則	泌尿器科学	¥1,500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター



前頭側頭葉変性症の病態解明に基づく disease-modifying therapyの開発	祖父江 元	神経内科学	¥85,500,000	補 委	文部科学省
創薬コンセプトに基づく戦略的治療 デザインの確立（白血病ゲノムに基づく 層別化治療の確立）	清井 仁	血液・腫瘍内科学	¥20,000,000	補 委	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター
早期診断マルチバイオマーカー開発 （プロテオーム・マイクロRNA解析によ るがん血中バイオマーカーの開発）	高橋 隆	分子腫瘍学	¥45,000,000	補 委	文部科学省
ゲノム網羅的解析情報を基盤とする オーダーメイドがん医療実現のための 開発研究（肺がんの病態形成関連遺伝 子の役割の解明とその個別化医療への 応用）	高橋 隆	分子腫瘍学	¥5,000,000	補 委	国立大学法人東京 医科歯科大学
統合失調症における神経発達障害の分 子基盤解明	貝淵 弘三	神経情報薬理学	¥7,100,500	補 委	独立行政法人科学 技術振興機構
神経回路網の解剖学的解析と自己機能 化制御	深澤 有吾	分子細胞学	¥468,000	補 委	独立行政法人科学 技術振興機構
統合失調症と双極性障害の診断マー カー候補因子の有用性検証	尾崎 紀夫	精神医学	¥1,066,000	補 委	独立行政法人科学 技術振興機構
小児がん神経芽腫を含むミッドカイン 関連疾患に対する新規治療薬としての 中和抗体の開発と、その事業発展性の 検証	門松 健治	分子生物学	¥1,820,000	補 委	独立行政法人科学 技術振興機構
気分障害の病態解明と診断治療法の開 発に関する研究	尾崎 紀夫	精神医学	¥1,300,000	補 委	独立行政法人国立 精神・神経医療研 究センター
精神神経疾患の原因・関連遺伝子に関 する基盤的開発研究	貝淵 弘三	神経情報薬理学	¥500,000	補 委	独立行政法人国立 精神・神経医療研 究センター
筋ジストロフィー関連疾患の基盤的診 断・治療開発研究	大野 欽司	神経遺伝情報学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立 精神・神経医療研 究センター
神経・精神疾患の研究資源蓄積・活用 のためのプレインバンク ネットワー ク構築に関する研究	渡辺 宏久	脳とこころの研究 センター	¥1,200,000	補 委	独立行政法人国立 精神・神経医療研 究センター
循環器内科学分野にかかる学術研究動 向に関する調査研究	室原 豊明	循環器内科学	¥1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
神経発生学分野に係る学術研究動向に 関する調査研究	宮田 卓樹	細胞生物学	¥1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
自殺未遂者対応医師等研修事業	尾崎 紀夫	精神医学	¥1,200,000	補 委	愛知県

神経芽腫治療法開発へのモデル動物の応用	門松 健治	分子生物学	¥450,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
形状変更可能な複合材製橈骨遠位端プレートの開発	平田 仁	手の外科	¥2,063,556	補 委	公益財団法人岐阜県研究開発財団
胃瘻療養高齢者に対する摂食・嚥下機能調査と経口摂取開始、胃瘻離脱に関する研究	内藤 真理子	予防医学	¥500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者における体幹および下肢の固有感覚受容が腰痛及び易転倒性に与える影響と腰痛および転倒予防に対するproprioceptive approachへの応用	長谷川 幸治	下肢関節再建学寄附講座	¥2,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者造血器障害における層別化治療を目指した分子疫学的研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	¥700,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者におけるインフルエンザ、新興・再興感染症の感染管理および治療に関する研究	八木 哲也	臨床感染統御学	¥600,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者の視覚機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究【分担研究項目】加齢黄斑変性	寺崎 浩子	眼科学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
日本人における大脳白質病変の老年症候群に及ぼす作用と危険因子の解明に関する研究	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
Resting State fMRIと脳波の同時計測によるケア手法の有効性検証プロトコルの開発	飯高 哲也	精神生物学	¥100,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者排泄ケアセンターの設立を目指した地域包括モデルと人材育成システムの開発に関する研究	松川 宜久	泌尿器科学	¥200,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
血中タンパク質の翻訳後修飾を指標とした糖尿病合併症早期診断法の開発	伊藤 友子	精神医学	¥2,495,210	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
高齢者の難聴の実態把握と予防・治療の標準化に関する研究	寺西 正明	耳鼻咽喉科学	¥2,350,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
日本式内視鏡センター及び検診システム普及プロジェクト	後藤 秀実	消化器内科学	¥90,074,075	補 委	一般社団法人 Medical Excellence JAPAN
孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	祖父江 元	神経内科学	¥80,000,000	補 委	厚生労働省
カフレス血圧計を用いた常時健康モニタリングシステムの開発	室原 豊明	循環器内科学	¥2,530,000	補 委	公益財団法人 科学技術交流財団

腎機能に基づいた至適投与量に関する臨床薬理研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
アスベスト繊維や多層カーボンナノチューブによる動物中皮腫モデルの解析	豊國 伸哉	生体反応病理学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
肺がんの評価	若井 建志	予防医学	¥700,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
ヒト皮下脂肪由来間葉系前駆細胞を用いた重症虚血肢に対する血管新生療法	室原 豊明	循環器内科学	¥59,800,000	補 委	厚生労働省
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討ー(BRIGHTEN)	松尾 清一	腎臓内科	¥128,520	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
稀少小児遺伝性血液疾患に対する新規責任遺伝子の探索と遺伝子診断システムの構築に関する研究	小島 勢二	小児科学	¥40,000,000	補 委	厚生労働省
小児急性リンパ性白血病に対する非ウイルスベクターを用いたキメラ抗原受容体T細胞療法の開発	高橋 義行	成長発達医学	¥39,000,000	補 委	厚生労働省
クリニカルプロテオミクス解析を基盤とする肺がんの分子病態の解明と革新的分子標的治療の開発	高橋 隆	分子腫瘍学	¥29,900,000	補 委	厚生労働省
神経筋接合部・骨格筋の興奮伝達障害の病態解明と治療法開発研究	大野 欽司	神経遺伝情報学	¥40,000,000	補 委	厚生労働省
IL-36RN欠損症としての膿疱性乾癬に対する革新的医薬品の開発に向けた病態解明と診療（診断及び治療）ガイドラインの作成	杉浦 一充	皮膚病態学	¥40,000,000	補 委	厚生労働省
末梢血循環癌細胞診断装置に適するための高精度な細胞ピッキングシステムの基盤開発	武井 佳史	疾患モデル解析学	¥1,054,620	補 委	公益財団法人いわて産業振興センター
「措置入院」の診察のためのセキュアな精神保健指定医決定システムの開発	杉浦 伸一	医療行政学	¥1,300,000	補 委	総務省東海総合通信局
悪性リンパ腫の腫瘍細胞と微小環境構成細胞の比較解析と微小環境構成細胞による腫瘍支持機構を標的とする新規治療法の開発	島田 和之	血液・腫瘍内科学	¥4,940,000	補 委	厚生労働省
遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	室原 豊明	循環器内科学	¥1,500,000	補 委	国立大学法人大阪大学
がん幹細胞を標的とした根治療法の開発（アミノ酸輸送複合体をシーズとしたがん幹細胞の探索法と分子標的治療の開発）	榎本 篤	腫瘍病理学	¥14,316,000	補 委	文部科学省

転写機能をターゲットとした創薬（がんの生存シグナルの維持を担う分子標的に対する革新的阻害剤の開発）	山口 知也	分子腫瘍学	¥15,000,000	補 委	文部科学省
大規模脳画像解析とヒト-霊長類トランスレータブル脳・行動指標開発にもとづく精神・神経疾患の病態神経回路解明（精神疾患に関わる希な遺伝子変異の探索による病態関連神経回路の解	尾崎 紀夫	精神医学	¥26,000,000	補 委	国立大学法人東京大学
アモルファスマタル応用のポータブル心磁計開発	中山 晋介	細胞生理学	¥38,350,000	補 委	厚生労働省
病理組織検査診断に関する研究	豊國 伸哉	生体反応病理学	¥680,586	補 委	中津川市（総合病院中津川市民病院）
筋萎縮性側索硬化症（ALS）新規治療法開発をめざした病態解明	祖父江 元	神経内科学	¥1,300,000	補 委	国立大学法人東北大学
自立神経障害性疼痛の診断基準作成と新規治療法を開発するための研究（正中神経前骨間・橈骨神経後骨間神経麻痺診断ガイドライン作成）	平田 仁	手の外科	¥700,000	補 委	国立大学法人信州大学
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と他がん登録との連携（患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試	小寺 泰弘	消化器外科学	¥1,100,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
大規模分子データを用いた疾患複合因子の探索・予測解析法に関する研究	松井 茂之	生物統計学	¥4,040,400	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
変性性認知症による脳機能ネットワーク異常の全容解明（前頭側頭葉変性症/筋萎縮性側索硬化症の神経回路破綻解明に基づく革新的治療開発）	祖父江 元	神経内科学	¥41,600,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患に対する革新的治療薬を実現するための独創的開発基盤（新規治療薬候補のモデルマウスによる評価）	木村 宏	ウイルス学	¥3,000,000	補 委	独立行政法人国立成育医療研究センター
うつ病診断及び向精神薬治療反応性・副作用予測バイオマーカーの同定（産科リエゾン領域の抑うつ状態に関わる研究）	尾崎 紀夫	精神医学	¥4,200,000	補 委	学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学
食シグナルの認知科学の新展開と脳を活性化する次世代機能性食品開発へのブランドデザイン	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	¥1,000,000	補 委	国立大学法人東京大学
神経筋疾患の原因究明および革新的治療法開発に関する研究	祖父江 元	神経内科学	¥2,000,000	補 委	国立大学法人鹿児島大学
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	若林 俊彦	脳神経外科学	¥300,000	補 委	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市民総合医療センター
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	夏目 敦至	脳神経先端医療開発学	¥1,000,000	補 委	学校法人久留米大学

「自閉症スペクトラム障害（ASD）と統合失調症のゲノム解析を起点として、発症因に基づく両疾患の診断体系再編と診断法開発を目指した研究:多面発現的効果を有するゲノムコピー数変異	尾崎 紀夫	精神医学	¥113,333,000	補 委	文部科学省
病理モデル開発と解析	石垣 診祐	神経内科学	¥3,900,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	西田 佳弘	整形外科学	¥650,000	補 委	国立大学法人九州大学
次世代シーケンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明と治療法開発に関する研究	祖父江 元	神経内科学	¥6,000,000	補 委	国立大学法人神戸大学
フレイルの進行に関わる要因に関する研究	葛谷 雅文	地域在宅医療学・老年科学	¥1,500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
慢性心不全患者における心不全再入院予測モデルの構築と治療法の標準化に関する研究	室原 豊明	循環器内科学	¥50,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	小島 勢二	小児科学	¥800,000	補 委	国立大学法人九州大学
H L A 不適合血縁者間移植の治療成績を向上し、造血器疾患治療における位置づけを明らかにするための研究	高橋 義行	成長発達医学	¥400,000	補 委	自治医科大学
原発性免疫不全症候群の病態解明と新規治療法開発への応用に関する研究	小島 勢二	小児科学	¥1,000,000	補 委	防衛医科大学校
情動の制御機構を解明するための神経情報基盤の構築	貝淵 弘三	神経情報薬理学	¥352,122,000	補 委	文部科学省
ドラッグ・リポジショニングによる軟骨無形成症治療薬の開発研究	鬼頭 浩史	整形外科	¥65,000,000	補 委	厚生労働省
内側側頭葉てんかんの単遺伝子モデルマウスのでんかん発症機構解明	浅井 真人	分子病理学	¥425,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
アトピー性皮膚炎の治療と予防を目的としたフィラグリン遺伝子変異迅速診断キットの開発	秋山 真志	皮膚病態学	¥400,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
希少がん・小児がん（軟部肉腫に対するゲノム解析による新規治療標的分子の探索）	西田 佳弘	整形外科学	¥1,500,000	補 委	国立大学法人東京大学
慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究	安田 宜成	循環器・腎臓・糖尿病（CKD）先進診療システム学寄附講座	¥300,000	補 委	国立大学法人筑波大学

BIM遺伝子多型陽性癌におけるHDAC阻害薬の耐性克服効果を最適化する薬力学的効果の指標を探索する研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	¥1,000,000	補 委	国立大学法人金沢大学
“なぜ遺伝子変異なしでがんができるか”：その分子基盤解明と標的探索	門松 健治	分子生物学	¥2,600,000	補 委	埼玉県立がんセンター
多系統萎縮症の治療法開発研究	祖父江 元	神経内科学	¥1,000,000	補 委	国立大学法人東京大学
びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	¥500,000	補 委	学校法人東邦大学
運動失調症の分子病態解明・治療法開発に関する研究班	祖父江 元	神経内科学	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	祖父江 元	神経内科学	¥5,000,000	補 委	学校法人近畿大学
腎臓機能障害者に対する安全で効果的な腹膜透析法の開発等に関する研究	松尾 清一	腎臓内科	¥400,000	補 委	国立大学法人大阪大学
腎臓機能障害者に対する安全で効果的な腹膜透析法の開発等に関する研究	伊藤 恭彦	腎不全システム治療学寄附講座	¥400,000	補 委	国立大学法人大阪大学
カスタムメイド手術ガイド及びカスタムメイド骨接合プレート	平田 仁	手の外科	¥7,005,022	補 委	国立大学法人大阪大学
神経障害によりグリアを起点として作動する新たな炎症・免疫系メディエーターネットワークの解析	木山 博資	機能組織学	¥13,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
生体内の異物・不要物排除機構の解明とその制御による疾患治療	伊藤 恭彦	腎不全システム治療学寄附講座	¥6,825,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
精神疾患の鑑別性能を有する統合失調症に特化した診断キット開発	尾崎 紀夫	精神医学	¥429,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
運動ニューロン疾患におけるニューロサーキット変性の病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	¥16,120,000	補 委	日本学術振興会
遺伝子解析と分子トレーシングを基盤とした細胞標的分子の創製	夏目 敦至	脳神経外科	¥13,650,000	補 委	日本学術振興会
プラズマ医療科学の臨床応用論的学術基盤の構築と体系化	吉川 史隆	産婦人科	¥35,100,000	補 委	日本学術振興会

ストレス応答性転写因子NPAS4欠損マウスにおけるGABA神経発達と表現型解析	山田 清文	薬剤部	¥3,510,000	補委	日本学術振興会
白質・ミエリン障害を病因とする統合失調症サブグループの同定	尾崎 紀夫	精神科	¥13,650,000	補委	日本学術振興会
形質細胞分化運命決定におけるMAPKシグナルの役割とその破綻によるリンパ腫発症	早川 文彦	血液内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
脳タンパク質老化と認知症制御	祖父江 元	神経内科	¥33,540,000	補委	日本学術振興会
脳タンパク質老化と神経回路破綻の可視化	祖父江 元	神経内科	¥57,200,000	補委	日本学術振興会
抗がん剤耐性分子を標的とする核酸医薬のロボティック送達とイメージングの統合医療	若林 俊彦	脳神経外科	¥13,520,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞を併用した脚延長術の基礎実験—医師主導型治験開始と効率化の基礎研究—	石黒 直樹	整形外科	¥10,400,000	補委	日本学術振興会
双極性障害の発症に強く関わる稀な遺伝子変異の同定と包括的な解析による病態解明	尾崎 紀夫	精神科	¥9,100,000	補委	日本学術振興会
摂食障害に伴う脳高次機能障害の回復可能性に関する研究	田中 聡	精神科	¥260,000	補委	日本学術振興会
エピゲノム情報を用いた統合的データ解析によるアディポネクチン発現パスウェイの解明	中柄 昌弘	先端医療	¥520,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉転換を標的とした卵巣癌の浸潤、腹膜播種機構の解明と複合的治療の開発	関谷 龍一郎	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌幹細胞のstemness維持機構を標的とした新規治療法の開発	三井 寛子	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
乾癬病変のエピジェネティック制御機構解明による新規治療戦略の開発	小川 靖	皮膚科	¥1,980,000	補委	日本学術振興会
乾癬表皮角化細胞における細胞周期S期亢進を介したエピジェネティクス異常機構の解明	杉浦 一充	皮膚科	¥90,000	補委	日本学術振興会
悪性腫瘍合併皮膚筋炎におけるT I F 1- $\gamma$ が関与する二段階病態仮説の検証	室 慶直	皮膚科	¥800,000	補委	日本学術振興会

無被曝画像による乳癌術前計画の臨床的有効性の研究とシミュレーションシステムの確立	佐竹 弘子	放射線	¥270,000	補委	日本学術振興会
運動による認知機能改善効果の機序の解明	柳川 まどか	老年科学	¥130,000	補委	日本学術振興会
進行性腎細胞癌に対する分子標的薬投与による初期変化と治療効果の検討	佐々 直人	泌尿器科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
抗認知症薬の経鼻投与の効果・臨床応用への可能性の検討	鈴木 裕介	老年科学	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
天然化合物を用いた特異的サイトカイン産生制御療法の開発	石黒 和博	消化器疾患	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
前臨床試験を目指した病理学的に正確な脳腫瘍マウスモデルの開発	百田 洋之	脳神経外科	¥910,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病の心血管自律神経障害のグレリンとレプチンの関与の解明と治療への展望	中村 友彦	神経内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
細胞老化制御による進行動脈硬化症退縮一本邦高齢者生活習慣病の新規治療法を目指して	林 登志雄	老年科学	¥910,000	補委	日本学術振興会
免疫学的劇症肝炎モデルマウスにおける新たな細胞治療の基礎的検討	石上 雅敏	消化器内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
心筋症における心筋蛋白遺伝子発現と運動耐容能評価による新規病態解明	平敷 安希博	循環器内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
拡張不全心への再生医療学的治療戦略	新谷 理	循環器内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
肺構成細胞間葉系形質転換に対するPTE NC末端リン酸化を標的とした新規治療戦略	橋本 直純	呼吸器内科	¥650,000	補委	日本学術振興会
腹膜透析における腹膜傷害に対する補体学的機序の解明と補体制御の可能性	水野 正司	腎不全	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
PDの腹膜機能不全、慢性腎臓病に対するリンパ管新生を標的とした新規治療戦略	伊藤 恭彦	腎不全	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
N I I Dの次世代シークエンサーを用いた病因遺伝子の同定	曾根 淳	神経内科	¥780,000	補委	日本学術振興会



早期パーキンソン病の精神症状に対する抗コリンエステラーゼ阻害剤の有用性	渡辺 宏久	神経内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の新規病因自己抗原候補76kD蛋白の病態への関与	相村 益久	糖尿病・内分泌内科	¥910,000	補委	日本学術振興会
リガンド依存性受容体型チロシンキナーゼ阻害剤耐性機構の解明と克服	清井 仁	血液内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
悪性リンパ腫の病態にかかわるエピジェネティクス異常の解析	富田 章裕	血液内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
老化にともなう血栓傾向および血液流動性維持破綻機構の解明	山本 晃士	輸血部	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧における血管周囲交感神経の血管リモデリングへの関与とエンドセリンの役割	加藤 太一	小児科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
遺伝性対側性色素異常症の外用剤による非侵襲的新規治療戦略の開発	河野 通浩	皮膚科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
口腔内灼熱症候群に対するデュロキセチンの疼痛緩和効果に関する包括的研究	木村 宏之	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
3テスラMR装置を用いた排泄性膵管撮影法の確立と初期臨床応用	鈴木 耕次郎	放射線	¥650,000	補委	日本学術振興会
PPAR $\alpha$ をターゲットとした血管内膜肥厚抑制	杉本 昌之	血管外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
アルコール性肝不全に対する肝移植治療における新しい心理社会的適応評価法の開発	大西 康晴	移植外科	¥910,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉移行(EMT)阻害による高度悪性甲状腺癌に対する治療法の開発	菊森 豊根	外科2	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
膵癌における新規治療抵抗性遺伝子の探索とその阻害剤による治療法の開発	國料 俊男	外科1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫における肺内アスベスト濃度と遺伝子異常との関連と新規マーカーの開発	横井 香平	心臓外科	¥650,000	補委	日本学術振興会
もやもや病及び類縁疾患に対する新たなバイオマーカーの確立と臨床応用について	岡本 奨	脳神経外科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会

実・仮想両空間相互介入型の先進的ナビゲーション技術の開発	藤井 正純	脳神経外科	¥390,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞移植による骨組織再生技術—Runx2を活性化する薬剤の有用性の検討—	鬼頭 浩史	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
良好卵獲得を目指したヒト卵胞発育における脂質メディエーターの解析	岩瀬 明	産婦人科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
子宮頸癌の癌幹細胞同定と新規治療法の開発	水野 美香	産婦人科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
婦人科がんと周囲微小環境を標的とした複合的がん免疫療法の開発	柴田 清住	産婦人科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
術後化学療法 of 皮膚創傷治癒に与える影響	鳥山 和宏	形成外科	¥650,000	補委	日本学術振興会
口腔癌に対する磁場誘導組織内温熱免疫療法の最適化	山本 憲幸	口腔外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
自然な映像を用いた感情の神経基盤に関する研究	飯高 哲也	精神科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
青年期うつ病に対する治療ガイドラインの確立に向けた研究	鈴木 太	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
脳発達期の自然免疫活性化によって惹起される精神発達障害の発現機序の解明	永井 拓	薬剤部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
研修医臨床能力評価プログラム（ROSE）の開発	青松 棟吉	総合診療科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
医師の利他的行動における動機探索とプロフェッショナリズム教育への応用に関する研究	鈴木 富雄	総合診療科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
高齢進行肺癌患者における、VES-13ならびにMMSEの有用性に関する検討	安藤 昌彦	先端医療	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸管内分泌L細胞の役割の解明と新規治療法の開発	安藤 貴文	消化器内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
カプセル内視鏡を用いた過敏性腸症候群の客観的評価	中村 正直	消化器内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会

心臓微小低酸素領域における遺伝子発現・血管新生の3次元解析を応用した治療法の開発	小林 光一	循環器内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
新規Akt基質Girdinファミリー分子の制御による動脈硬化抑制の試み	前田 健吾	循環器内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
メカノセンサー分子同定に基づく呼吸器疾患の病態解明	伊藤 理	呼吸器内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病患者における慢性炎症惹起の解明と制御性T細胞を用いた新規治療戦略	加藤 佐和子	腎臓内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害における免疫調整性マクロファージの機能解析と細胞移入治療効果の検討	坪井 直毅	腎臓内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の免疫抑制作用の解明と高機能化	丸山 彰一	腎臓内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
免疫性自律神経ニューロパチーの病態の解明と新規治療法の開発	小池 春樹	神経内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
孤発性筋萎縮性側索硬化症の進行・病像に関連する遺伝子・分子の探索と同定	熱田 直樹	神経内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
免疫性脱髄性ニューロパチーの軸索脆弱性の病態解明：TAG-1の役割	飯島 正博	神経内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
統合的脳MRIネットワーク解析によるALSの運動機能-前頭葉機能関連性の解明	千田 譲	神経内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
多系統萎縮症の進展様式の解明	伊藤 瑞規	神経内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
脂肪幹細胞と炎症細胞のNotchシグナル制御による肥満治療、幹細胞治療の開発	竹下 享典	輸血部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
腸管内分泌細胞、吸収上皮細胞におけるKATPchannelの役割の解明	清野 祐介	糖尿病・内分泌内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
後天性von Willebrand症候群 (AvWS) の動物モデルによる病態解明	松下 正	輸血部	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
同種造血幹細胞移植後の細胞免疫療法における免疫抑制受容体の制御に関する研究	西田 徹也	血液内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会

尿中ヨード濃度測定による分化型甲状腺癌に対する放射性ヨード内用療法の効果予測	伊藤 信嗣	放射線	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
食道癌における病理所見“Tumor budding”の機序解明と新規予後因子同定	小池 聖彦	外科 2	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
乳癌におけるChromothripsis変異を標的にした新規治療法の開発	角田 伸行	外科 1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
マルチアレイ法を応用した肝細胞癌発症や再発に関わる背景肝因子の同定と応用	野本 周嗣	外科 2	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
TLR7アプタマーによる内因性Denger Signalの制御と新規治療法の開発	上原 圭介	外科 1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
肝虚血再灌流障害における分枝鎖アミノ酸の新規分子機構の探索	菅原 元	外科 1	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
温度応答性ポリマーを用いた心室中隔穿孔修復術の開発	大島 英揮	心臓外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
アディポサイトカインをターゲットとした大動脈瘤形成抑制効果の検討	徳永 晴策	血管外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
大動脈瘤に対する幹細胞静脈投与療法の可能性	成田 裕司	心臓外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸レセプターCD44の断片化阻害による、軟骨細胞の脱分化抑制効果	高橋 伸典	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
多元的薬剤相互作用特性の解析による全身麻酔作用機序の解明	足立 裕史	救急	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
下部尿路閉塞における膀胱微小循環の変化と交感神経 $\alpha$ 1遮断薬の効果	後藤 百万	泌尿器科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
レドックス制御・炎症性サイトカインからみた内耳性難聴の病態解明と治療への応用	寺西 正明	耳鼻科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
網膜色素変性における網膜色素上皮の機能異常と形態異常のメカニズムの解明	上野 真治	眼科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
補償光学眼底撮影装置・黄斑部局所網膜電図を用いた網膜形態と視機能の関係の検討	伊藤 逸毅	眼科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会

骨髄幹細胞由来培養細胞上清を用いた放射線性皮膚炎治療法の研究	西川 雅也	口腔外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
ストレス感受性転写因子NPAS4の機能破綻による精神疾患発症機構の解析	日比 陽子	薬剤部	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
内視鏡手術シミュレーション訓練の新しい統合的基本タスク	田中 千恵	消化器外科二	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
在宅ケアマネジャーのための終末期ケアマネジメント支援システムの開発と効果の検証	平川 仁尚	クリニカルシミュレーションセンター	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
演劇ワークショップを用いた糖尿病医療者教育プログラムの開発普及と有効性の検証	岡崎 研太郎	総合診療科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
がん薬物療法におけるサルコペニアの臨床的意義	安藤 雄一	化学療法部	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
消化器癌腹膜播種の遺伝子解析研究	前田 修	化学療法部	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
NASHにおけるアミノ酸代謝と肝脂肪改善及び進展抑制のメカニズム	本多 隆	消化器内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
Rho関連キナーゼが心不全病態を修飾する新規分子機構の解明と治療薬開発	竹藤 幹人	循環器内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
マウス単核心筋細胞に注目した心筋再生メカニズム解明への試み	海野 一雅	循環器内科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
新規アディポサイトカイン「オメンチン」を標的とした血管病制御機構の解明	柴田 玲	循環器内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
CD147による腎エネルギー代謝機構の解明と臓器相関に対する治療法の探究	小杉 智規	腎臓内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
血管拡張因子(EETs)を介したミッドカイン(MK)の新規CKD進展機序の解明	佐藤 和一	腎臓内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における心腎連関を早期診断・モニタリングする新規バイオマーカーの確立	鈴木 康弘	腎不全	¥3,380,000	補委	日本学術振興会
アンチセンス核酸を用いた運動ニューロン疾患の病態、治療研究	佐橋 健太郎	神経内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会

dynactin-1ノックアウトマウスを用いた孤発性ALSの病態解明と治療法開発	河合 香里	神経内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
B7-2 KO NODマウスによる脱髄に付随する軸索障害機序の解明	川頭 祐一	神経内科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
マウス疾患特異的iPS細胞を用いた遺伝性中枢性尿崩症in vitro実験系の確立	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
極低出生体重児に認める発達障害に対する包括的脳画像解析	城所 博之	小児科	¥2,860,000	補委	日本学術振興会
若年性特発性関節炎における新規バイオマーカーとしてのmiRNAの同定	川田 潤一	小児科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
ダウン症関連急性巨核芽球性白血病の発がんメカニズムの解明	濱 麻人	小児科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
造血幹細胞移植後EBV関連リンパ増殖症に対するEBV特異的CTL療法の最適化	高橋 義行	小児科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
低分子代謝物質の網羅的解析を応用した急性ウイルス性脳症の新規バイオマーカーの探索	伊藤 嘉規	小児科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
周産期脳障害に対する脱分化脂肪細胞を用いた新規治療開発	佐藤 義朗	周産母子	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
皮膚筋炎におけるDNAミスマッチ修復酵素に対する自己免疫応答の解明	室 慶直	皮膚科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
炎症性皮膚疾患ケラチノサイトにおけるエピゲノミクス異常の動的変化の解析	小川 靖	皮膚科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
網羅的エピゲノム解析を用いた産後うつ病の病態に関わる生物学的因子の同定	中村 由嘉子	精神科	¥2,860,000	補委	日本学術振興会
遺伝情報を背景にした統合失調症の脳組織病理学検討	入谷 修司	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
加算心電図を用いた微細な放射線心筋障害の探索研究	岡田 徹	放射線	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
がんの発症や進展へ影響を及ぼす炎症性分子インフラマソームの検討	杉本 博行	消化器外科二	¥1,820,000	補委	日本学術振興会

大動脈弁置換術後のマイクロシミュレーションモデルの構築と至適な人工弁選択の研究	阿部 知伸	心臓外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞部に心筋再生を誘導し心機能を改善させる新しい張力反応性弾力生体材料の開発	藤本 和朗	心臓外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
次世代の皮質下機能的脳外科手術の確立を目指したコネクトームマップの開発	前澤 聡	脳外	¥3,120,000	補委	日本学術振興会
ケラタン硫酸分解による脊椎損傷治療-臨床に直結した新規治療法の開発-	今釜 史郎	整形外科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
転移性骨腫瘍に対するイメージ下凍結療法の開発と確立	筑紫 聡	小児集中治療学寄附講座(整形)	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸ネットワークと破骨細胞制御による骨転移治療の確立	浦川 浩	整形外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
肘関節鏡手術におけるAugmented Realityシミュレーションの開発	山本 美知郎	救急	¥3,120,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチに対する抗RANKL抗体と炎症性サイトカイン阻害薬併用療法の治療効果	小嶋 俊久	整形外科	¥780,000	補委	日本学術振興会
早産児の後遺症発症の減少を目指して~分子状水素を用いた新規治療法の開発~	小谷 友美	産婦人科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
経時的連続観察を利用した卵巣体外培養系の確立と応用	後藤 真紀	産婦人科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
絨毛性腫瘍に特異的なhCG糖鎖構造をベースにした新規腫瘍マーカーの確立	山本 英子	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
320列面検出型CTによる咽頭癌治療後の嚥下動態の解明	藤本 保志	耳鼻科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
網膜疾患では網脈絡膜循の変化はいつ、どのようにして起こるか?	岩瀬 剛	眼科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
新規機能性ペプチド含有担体と臍帯由来幹細胞を用いた骨・軟骨再生に関する基礎的研究	蛭沢 克己	形成外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
オッセオインテグレーションを形成するタンパク質の解析	土屋 周平	口腔外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会

発達障害の社会的行動障害の生物学的基盤の解明とテーラーメイド治療の開発	岡田 俊	精神科	¥650,000	補委	日本学術振興会
後期高齢者におけるエピソード記憶障害の評価指標の開発	荒川 直子 (河野直子)	精神科	¥390,000	補委	日本学術振興会
虚弱性と遺伝子変異、薬物相互作用を踏まえた高齢者薬物療法の効果、副作用評価	伊奈 孝一郎	老年科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
GISTの病態・悪性化に関わる分子メカニズムの解明	船坂 好平	光学医療	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
過剰栄養による膵β細胞におけるインスリン遺伝子とIRS2遺伝子のエピゲノム修飾	恒川 新	糖尿病・内分泌内科	¥910,000	補委	日本学術振興会
キメラ抗原レセプターを遺伝子導入したリンパ球細胞の作成方法の至適化	寺倉 精太郎	血液内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
小児骨髄系造血悪性腫瘍疾患におけるRAS変異体細胞モザイクの解析	村松 秀城	小児科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
新規薬剤治療中の小児リウマチ疾患における重症ウイルス感染症の発症予測・病態の解析	川田 潤一	小児科	¥90,000	補委	日本学術振興会
CCl2を抑制する間葉系幹細胞を用いた周産期脳障害に対する新規治療法の開発	近藤 大貴	小児科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
認知症画像診断における背景病理に関する臨床病理学的研究	藤城 弘樹	精神科	¥780,000	補委	日本学術振興会
経静脈的ガドリニウム投与後MRIを用いたヒト内耳正常薬物動態の解明	山崎 雅弘	放射線	¥780,000	補委	日本学術振興会
高精細医用画像を用いた定位脳手術を支える脳深部核同定技法の確立	中根 俊樹	放射線	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
一塩基多型を利用した新たな膵癌予測因子の開発とテーラーメイド治療への応用	山田 豪	外科2	¥650,000	補委	日本学術振興会
薬剤溶出性またはペプチド含有生体吸収性担体を用いた大動脈瘤手術材料の開発	寺澤 幸枝	心臓外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
もやもや病における脳脊髄液タンパク解析の定量的評価システムの確立および遺伝子解析	荒木 芳生	脳神経外科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会



細胞外マトリックス制御による骨軟部肉腫の分子標的治療薬増感法の開発	浦川 浩	整形外科	¥840,000	補委	日本学術振興会
周産期脳障害の病態解明と新規治療戦略～分子状水素に着目して～	眞野 由紀雄	産婦人科	¥910,000	補委	日本学術振興会
悪性卵巣腫瘍における抗がん剤併用がん特異的免疫療法の基礎的・臨床的研究	鈴木 史朗	産婦人科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
分子レベルでの癒着胎盤の病態解明と新規バイオマーカー診断法の開発	炭竈 誠二	産婦人科	¥910,000	補委	日本学術振興会
抗がん剤併用療法のための縮小回帰に基づく用量探索法の研究	平川 晃弘	先端医療	¥780,000	補委	日本学術振興会
近赤外レーザーによる膵癌治療応用を目指した基礎的検討	大野 栄三郎	消化器内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
メカニカルストレスの関与するALI/ARDSの病態解明	麻生 裕紀	呼吸器内	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
拡張型心筋症におけるカテプシンKの病態生理学的意義解明と新規治療への応用	奥村 貴裕	循環器内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を用いた新たな腎再生療法の開発	勝野 敬之	腎臓内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
TDP-43・FUSによる翻訳・シナプス機能調節異常とALS・FTLD病態機序	宇田川 剛	神経内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
乳児炎症性腸疾患の原因遺伝子と分子病態の解明	入江 正寛	小児科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
胎児脳における虚血脆弱細胞種の同定とその生存因子を用いた脳障害治療法開発	伊藤 美春	周産母子	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
抗Aレセプター抗体を用いた周産期脳障害の治療法開発	齊藤 明子	周産母子	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞を用いた周産期脳障害の新規治療開発	杉山 裕一郎	周産母子	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
オミックス解析技術を利用した統合失調症の分子病態の解明	吉見 陽	精神科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会

うつ病の社会機能を向上させる要因に関する研究	岩本 邦弘	精神科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
発達障害の半構造化面接診断技法の確立に関する研究	宇野 洋太	精神科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性中皮腫における癌幹細胞CD44アイソフォームの解析と下流シグナル経路の解明	川口 晃司	心臓外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
グリオーマの悪性転化に関わる新規バイオマーカーの機能解明	本村 和也	脳神経外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
脳血管内治療用ワイヤー挿入力測定センサーの開発と臨床応用	松原 功明	脳神経外科	¥780,000	補委	日本学術振興会
Cathepsin Kの癌骨転移と腫瘍進展における役割	小澤 英史	整形外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷治療の新しいscaffoldの検証	安藤 圭	整形外科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞と骨分化促進剤を組み合わせたハイブリッド型人工骨の作製	三島 健一	整形外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチの手指関節破壊におけるレントゲン画像の半自動的定量評価システムの開発	舟橋 康治	整形外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
TNF- $\alpha$ を分子標的とした神経修復型Drug Delivery Systemの開発	岩月 克之	手の外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
間質性膀胱炎モデルでの脂肪由来幹細胞静脈注入療法	舟橋 康人	泌尿器科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
中枢神経系をターゲットとした新規排卵誘発薬開発	中原 辰夫	産婦人科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
内リンパ水腫の症状出現様式に関する実験的臨床的解析	吉田 忠雄	耳鼻科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の免疫制御作用を用いた、静脈性潰瘍の新しい治療方法の開発	高成 啓介	形成外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
TGF $\beta$ 関連細胞外分泌タンパク質を応用した新規扁平上皮癌マーカーの開発	萩原 純孝	口腔外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会

造血幹細胞移植領域のドラッグ・ラグ解消に向けたレジストリデータ活用法に関する研究	鍛塚 八千代	先端医療	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
抗血管新生因子VEGF-A165bを標的とした心血管病の新しい検査法開発	菊地 良介	検査部	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
心腎連関における細胞外小胞Exosomesの役割と、心予後予測因子の開発	加藤 規利	腎臓内科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
運動ニューロン疾患におけるエピジェネティクス異常の分子機構解明と治療法開発	近藤 直英	神経内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
MYH9異常症の原因遺伝子であるR702C変異による赤血球分化阻害のメカニズム	鈴木 伸明	輸血部	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
若年性骨髄単球性白血病の急性転化における分子遺伝学的機構の解明	奥野 友介	小児科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
Muse細胞を用いた周産期脳障害の新規治療開発	鈴木 俊彦	小児科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔領域の疼痛性障害を対象とした痛覚閾値の定量的評価および精神医学的評価	徳倉 達也	精神科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
新規CTC採取マウスモデルの確立と原発巣・転移巣・CTC遺伝子発現の研究	岩田 直樹	消化器外科二	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
高感度遺伝子解析法を用いた膵癌微小腹腔内遊離癌細胞迅速診断法の開発に関する研究	大屋 久晴	消化器外科二	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるMAGE-D4遺伝子の包括的機能解析と、新規血清マーカーへの応用	高見 秀樹	消化器外科二	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷における細胞性免疫反応を制御するマイクロRNA-amplifierの開発	西村 由介	脳神経外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
術後高次脳機能障害におけるミトコンドリア機能不全の検証	青山 正	麻酔科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
ラット横隔膜ヘルニアモデルを用いた胎仔肺低形成に対する治療戦略	津田 弘之	産婦人科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
糖転移酵素C2GnTによる絨毛細胞の浸潤機序の解明と治療への応用	新美 薫	産婦人科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会

網膜静脈閉塞に伴う黄斑浮腫の機能・形態・分子生物学的解析	安田 俊介	眼科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
仮骨延長術におけるメカノトランスダクションの解析	藤尾 正人	口腔外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
歯髄幹細胞におけるエピジェネティクス調節機能の検討	古江 浩樹	口腔外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
口腔粘膜由来幹細胞を応用した皮膚癒痕組織に対する新規治療法の開発	西野 雄大	口腔外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
臨床推論学習とコミュニケーション学習を融合した医療面接実習方略の構築とその評価	伴 信太郎	総合診療科	¥910,000	補委	日本学術振興会
人体内各種液体空間での薬物動態可視化と定量化のための超高感度磁気共鳴診断技術開発	長縄 慎二	放射線	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
肝切除時におけるリアルタイム肝機能モニタリングシステムの開発と臨床応用	椰野 正人	外科1	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
E S細胞由来運動神経細胞に対する神経筋接合部形成促進薬の網羅的探索法に関する研究	平田 仁	手の外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌細胞株を用いた人工抗原提示細胞による新規腫瘍抗原の同定	吉川 史隆	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
抗アレルギー治療は滲出型加齢黄斑変性に対する新たな治療法になりえるのか？	兼子 裕規	眼科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
女性医師の仕事への価値観の解明と相互理解を促すワークショッププログラム開発研究	佐藤 元紀	総合診療科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
手術時における術者の音声および他の生理的指標と疲労、ストレスの関連についての検討	藤原 道隆	クリニカルシュミレーションセンター	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
虚弱機構の解明を目指した虚弱動物モデルの確立	葛谷 雅文	老年科学	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
抗体結合型バイオナノカプセルを応用した炎症白血球特異的新規腎障害治療法の開発	松尾 清一	腎臓内科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
皮膚角化異常症の治療標的としての脂質代謝-皮膚角化制御カップリング機構の解明	小川 靖	皮膚科	¥1,900,000	補委	日本学術振興会

精神疾患モデル動物発見を企図したニホンザルを対象とする精神疾患発症関連変異の探索	尾崎 紀夫	精神科	¥780,000	補委	日本学術振興会
分子進化の概念に基づく新規遺伝子の探索と機能解析	横山 幸浩	外科 1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
薬剤耐性難治性卵巣癌における上皮間葉転換誘導腹膜播種の克服に向けた新機軸	梶山 広明	産婦人科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
過剰免疫反応による精神疾患発症機構のリアルタイムイメージング解析	山田 清文	薬剤部	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
変形性膝関節症の簡易スクリーニング検査の開発	池内 一磨	整形外科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
クラスター形成関連分子を標的としたEGFR変異肺癌の転移抑制治療の開発	佐藤 光夫	呼吸器内	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
孤発性ALSモデルを用いた網羅的創薬スクリーニングシステムによる治療法探索	祖父江 元	神経内科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症におけるクレアチニン代謝異常の病態解明と探索的臨床試験	勝野 雅央	神経内科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
発病前検体を用いた網羅的DNA/RNA解析による川崎病の病原体の同定	小島 勢二	小児科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
顔面と陰部に色素斑が多発する遺伝性全身性メラニン色素異常症（仮称）の原因解明	杉浦 一充	皮膚科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
熱による新規骨形成促進法の開発：マグネタイト微粒子の応用	西田 佳弘	整形外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
TRPV4-SOX9を標的とした新規骨・軟骨治療薬開発	石黒 直樹	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬によるエピゲノム変化が癌細胞に及ぼす影響の解析	石田 祐基	麻酔科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
組織再生スケールアップを目指した生体内血管網構築法の開発	日比 英晴	口腔外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
実際の手術器具による脳神経外科手術シミュレーション／トレーニングシステムの開発	梶田 泰一	脳神経外科	¥3,250,000	補委	日本学術振興会

若年性骨髄単球性白血病に対する新規分子標的療法の開発	小島 勢二	小児科	¥3,770,000	補委	日本学術振興会
新規セリンスレオニンキナーゼ阻害剤による胆管癌・膵癌治療法の開発	椰野 正人	外科 1	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
悪性脳腫瘍のヒエラルキーと可塑性の解析に基づくエピゲノム創薬	夏目 敦至	脳神経外科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
EMTを標的とする、微少環境ストレス誘導転移の解明と克服～卵巣癌の予後向上へ～	梶山 広明	産婦人科	¥3,510,000	補委	日本学術振興会
内科学&老年学総合アプローチによるアジア女性健康長寿研究：更年期～後期高齢期まで	林 登志雄	老年科学	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
アジア腎生検レジストリーの創設と最適な腎疾患治療を目指すアジア腎疾患コホート研究	安田 宜成	腎臓内科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
手術中の医療者の疲労、ストレスの客観的評価、リアルタイム測定法の研究	藤原 道隆	クリニカルシュミレーションセンター	¥3,250,000	補委	日本学術振興会
ミッドカインによる内皮細胞由来の血管作動因子を介した血圧調整のメカニズムの解明	松尾 清一	腎臓内科	¥3,510,000	補委	日本学術振興会
メニエール病におけるめまい発作発生機構の先端画像診断技術による解明	長縄 慎二	放射線	¥4,420,000	補委	日本学術振興会
血管内膜肥厚の成因とその制御-EDHFをターゲットとした新しい探索研究-	古森 公浩	血管外科	¥4,160,000	補委	日本学術振興会
微小環境EMTが誘導する腹腔内細胞コミュニケーションを狙った卵巣癌治療の新展開	吉川 史隆	産婦人科	¥5,850,000	補委	日本学術振興会
敗血症性多臓器不全における主要臓器再生への遺伝子治療とiPS細胞の応用	松田 直之	救急	¥3,510,000	補委	日本学術振興会
骨延長法を模倣した延長装置を用いない広範囲顎骨再生法の開発	日比 英晴	口腔外科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
アジア太平洋地域における膜性腎症の実態調査研究	丸山 彰一	腎臓内科	¥5,460,000	補委	日本学術振興会
意思決定の神経回路・分子機構の解明と創薬研究への応用	山田 清文	薬剤部	¥5,720,000	補委	日本学術振興会

自己脂肪組織由来幹細胞を用いた心血管系再生医療の総合的開発研究	室原 豊明	循環器内科	¥6,240,000	補委	日本学術振興会
アノキス抵抗性に基づいた網羅的な肺癌ドライバー遺伝子特定の研究	佐藤 光夫	呼吸器内科	¥5,330,000	補委	日本学術振興会
運動ニューロン疾患における神経・筋システム変性の分子病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	¥5,720,000	補委	日本学術振興会
胎児発育不全児の中樞神経障害に対する幹細胞治療の開発	早川 昌弘	周産母子	¥8,710,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーによる膵癌早期診断マーカー同定と低侵襲十二指腸液検査法への応用	小寺 泰弘	消化器外科二	¥6,630,000	補委	日本学術振興会
デスマイド腫瘍の変異解析と新規治療アルゴリズムの確立にむけた研究	西田 佳弘	整形外科	¥4,680,000	補委	日本学術振興会
不治の病である運動ニューロン疾患に対するiPS細胞による新規治療法の開発	平田 仁	手の外科	¥8,190,000	補委	日本学術振興会
歯髄幹細胞由来の新規抗炎症性マクロファージ誘導因子を用いた末梢神経再生療法の開発	山本 朗仁	口腔外科	¥7,930,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病患者におけるテロメア消耗と環境因子の国際比較	松尾 清一	腎臓内科	¥9,750,000	補委	日本学術振興会
萎縮型加齢黄斑変性のモデルマウス確立と、その病態の解明	兼子 裕規	眼科	¥4,030,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞による大動脈瘤治療の臨床応用を目指した研究	緒方 藍歌	心臓外科	¥13,910,000	補委	日本学術振興会
糖尿病合併症の発症を予防する食品因子の探索とその作用機序解明	伊藤 友子	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
発達障害における発語と身体運動の関係	東島 恵美子	精神科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
睡眠不足・喫煙が引き起こす脂質の代謝異常とその検出マーカーの探索	宮田 聖子	睡眠医学（耳鼻科）	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
膠芽腫形成においてエピゲノム異常を誘導する新規分子の同定	大岡 史治	脳神経外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会

iPS細胞樹立過程には組織ごとの特異的ルートがあるのか	有岡 祐子	精神科	¥2,080,000	補 委	日本学術振興会
DNAマイクロアレイによる遺伝子解析を用いた胆道閉鎖症予後予測の研究	田井中 貴久	小児外科	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
末梢血遊離DNA、FFPEを使ったリンパ腫遺伝子変異解析法の確立に関する研究	入山 智沙子	血液内科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
稀なゲノムコピー数変異に着目した統合失調症の分子病態研究	久島 周	精神科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
膵癌に対する腫瘍抑制因子としてのTFF2の検討	山口 淳平	腫瘍外科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
大動脈瘤に対する間葉系幹細胞エクソソーム療法の試み	伊藤 英樹	心臓外科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
Fgf18の神経筋接合部形成に対する役割の解明	伊藤 研悠	整形外科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
LHRのエピジェネティックな発現制御機構の解明	中村 智子	産婦人科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部腫瘍に対する頭蓋底手術における軟部組織付き3Dモデルシミュレーションの開発	西尾 直樹	耳鼻科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
高齢糖尿病患者における転倒発生メカニズムの解明に向けた研究	上村 一貴	老年科学	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会

¥3,303,336,402

(出来高払い含む)

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名			
1	寺倉精太郎	血液内科	Successful unrelated cord blood transplantation for adult acquired aplastic anemia using reduced intensity conditioning without ATG.	Immunol Lett.	160(1)	99-101	2014
2	島田和之	血液内科	Efficacy of ofatumumab against rituximab-resistant B-CLL/SLL cells with low CD20 protein expression.	Br J Haematol	166(3)	455-7	2014
3	早川文彦	血液内科	Markedly improved outcomes and acceptable toxicity in adolescents and young adults with acute lymphoblastic leukemia following treatment with a pediatric protocol: a phase II study by the Japan Adult Leukemia Study Group.	Blood Cancer J		4 e252	2014
4	渡邊慶介	血液内科	Target Antigen Density Governs the Efficacy of Anti-CD20-CD28-CD3 $\zeta$ Chimeric Antigen Receptor-Modified Effector CD8 <sup>+</sup> T Cells.	J Immunol	194(3)	911-20	2014
5	岸本磨由子	血液内科	Rhof promotes murine marginal zone B cell development	Nagoya J Med Sci.	76(3-4)	293-305	2014
6	Adachi S	循環器内科	Imatinib is partially effective for the treatment of pulmonary capillary hemangiomatosis.	Intern Med.	53	603-7	2014
7	Adachi S	循環器内科	Prognostic factors in pulmonary arterial hypertension with Dana Point group 1.	Life Sci	in press	in press	2014
8	Bando YK	循環器内科	Diabetes-related heart failure.	Circ J	78	576-83	2014
9	Murohara T	循環器内科	Therapeutic angiogenesis by autologous adipose-derived regenerative cells: comparison with bone marrow mononuclear cells.	Am J Physiol Heart Circ Physiol	307	H869-79	2014
10	Harada K	循環器内科	The different association of epicardial fat with coronary plaque in patients with acute coronary syndrome and patients with stable angina pectoris: analysis using integrated backscatter intravascular ultrasound.	Atherosclerosis	236	301-6	2014
11	Hayakawa S	循環器内科	Cardiac Myocyte-Derived Follistatin-Like 1 Prevents Renal Injury in a Subtotal Nephrectomy Model.	J Am Soc Nephrol	in press	in press	2014
12	Hayashi M	循環器内科	Efficacy and safety of radiofrequency catheter ablation for atrial fibrillation in chronic hemodialysis patients.	Nephrol Dial Transplant	29	160-7	2014

13	Hirashiki A	循環器内科	Prognostic value of pulmonary hypertension in ambulatory patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy.	Circ J	78	1245-53	2014
14	Hirashiki A	循環器内科	Combination therapy adding tadalafil to existing ambrisentan in patients with pulmonary arterial hypertension.	Hypertens Res	37	488-9	2014
15	Inaba H	循環器内科	Recovery of flow-mediated vasodilatation after repetitive measurements is involved in early vascular impairment: comparison with indices of vascular tone.	PLoS One	9	e83977	2014
16	Ishii H	循環器内科	Can lipid profiles predict clinical outcomes in hemodialysis patients with ischemic heart disease?	J Cardiol	in press	in press	2014
17	Ishii H	循環器内科	Emergency care for acute myocardial infarction in disasters.	Circ J	78	586-7	2014
18	Ishii M	循環器内科	Vildagliptin stimulates endothelial cell network formation and ischemia-induced revascularization via an endothelial nitric-oxide synthase-dependent mechanism.	J Biol Chem	289	27235-45	2014
19	Ishii M	循環器内科	Multilayered adipose-derived regenerative cell sheets created by a novel magnetite tissue engineering method for myocardial infarction.	Int J Cardiol	175	545-53	2014
20	Ishikawa S	循環器内科	Impact of sitagliptin on carotid intima-media thickness in patients with coronary artery disease and impaired glucose tolerance or mild diabetes mellitus.	Am J Cardiol	114	384-8	2014
21	Kataoka Y	循環器内科	Omentin prevents myocardial ischemic injury through AMP-activated protein kinase- and Akt-dependent mechanisms.	J Am Coll Cardiol	63	2722-33	2014
22	Kato H	循環器内科	Acute improvement of left ventricular relaxation as a predictor of volume reduction after cardiac resynchronization therapy: a pilot study assessing the value of left ventricular hemodynamic parameter.	Pacing Clin Electrophysio	37	1544-52	2014
23	Kondo T	循環器内科	Does smoking add more visceral fat in women?	Circ J	78	1071-2	2014
24	Kumada Y	循環器内科	Long-term clinical outcome after surgical or percutaneous coronary revascularization in hemodialysis patients.	Circ J	78	986-92	2014
25	Kumagai S	循環器内科	Impact of cigarette smoking on coronary plaque composition.	Coron Artery Dis	in press	in press	2014
26	Miyabe M	循環器内科	Muscle-derived follistatin-like 1 functions to reduce neointimal formation after vascular injury.	Cardiovasc Res	103	111-20	2014

27	Nakano Y	循環器内科	Clinical usefulness of measuring prothrombin time and soluble fibrin levels in Japanese patients with atrial fibrillation receiving rivaroxaban.	J Cardiol	in press	in press	2014
28	Ohashi K	循環器内科	Neuron-derived neurotrophic factor functions as a novel modulator that enhances endothelial cell function and revascularization processes.	J Biol Chem	289	14132-44	2014
29	Ohashi K	循環器内科	Role of anti-inflammatory adipokines in obesity-related diseases.	Trends Endocrinol Metab	25	348-55	2014
30	Okada K	循環器内科	Epicardial fat volume correlates with severity of coronary artery disease in nonobese patients.	J Cardiovasc Med (Hagerstown)	15	384-90	2014
31	Okumura K	循環器内科	on behalf of the Samurai Study I. High HDL cholesterol level after treatment with pitavastatin is an important factor for regression in carotid intima-media thickness.	Heart Vessels	in press	in press	2014
32	Okumura N	循環器内科	Novel preprocedural and acute-phase postprocedural predictive factors for contrast-induced kidney injury in CKD patients.	Int J Cardiol	172	e293-6	2014
33	Okumura N	循環器内科	Associations of proteinuria and the estimated glomerular filtration rate with incident hypertension in young to middle-aged Japanese males.	Prev Med	60	48-54	2014
34	Okumura S	循環器内科	Accelerated decline in renal function after acute myocardial infarction in patients with high low-density lipoprotein-cholesterol to high-density lipoprotein-cholesterol ratio.	Heart Vessels	29	7-14	2014
35	Osugi N	循環器内科	Impact of albuminuria on the incidence of periprocedural myocardial injury in patients undergoing elective coronary stent implantation.	Am J Cardiol	114	42-6	2014
36	Ota T	循環器内科	Impact of coronary stent designs on acute stent recoil.	J Cardiol	in press	in press	2014
37	Shibata R	循環器内科	The potential of adipokines as therapeutic agents for cardiovascular disease.	Cytokine Growth Factor Rev	25	483-7	2014
38	Sugiura T	循環器内科	Relation of omega-3 fatty acid and C-reactive protein to peripheral artery disease in patients with coronary artery disease.	Heart Vessels	29	449-55	2014
39	Suzuki S	循環器内科	Acute Thrombotic Occlusion of a Giant Right Coronary Artery Aneurysm.	J Card Surg	in press	in press	2014

40	Tanaka A	循環器内科	Temporary adjunctive cilostazol vs clopidogrel loading for ST-segment elevation acute myocardial infarction.	Am J Cardiovasc Drugs	14	131-6	2014
41	Tanaka A	循環器内科	Impact of diabetic retinopathy on late cardiac events after percutaneous coronary intervention.	J Cardiol	64	175-8	2014
42	Tanaka A	循環器内科	Practical approach to evaluate asymptomatic coronary artery disease in end-stage renal disease patients at the initiation of dialysis.	Ther Apher Dial	18	167-73	2014
43	Tanaka A	循環器内科	Influence of the false lumen status on clinical outcomes in patients with acute type B aortic dissection.	J Vasc Surg	59	321-6	2014
44	Tanaka A	循環器内科	The risk of adverse cardiac events following minor surgery under discontinuation of all antiplatelet therapy in patients with prior drug-eluting stent implantation.	Int J Cardiol	172	e125-6	2014
45	Tanaka A	循環器内科	Evaluation for hypoperfusion distal to arteriovenous vascular access using skin perfusion pressure in fingers.	J Vasc Access	15	29-32	2014
46	Tanigawa T	循環器内科	Adiponectin deficiency exacerbates age-related hearing impairment.	Cell Death Dis	5	e1189	2014
47	Uchikawa T	循環器内科	Serum albumin levels predict clinical outcomes in chronic kidney disease (CKD) patients undergoing cardiac resynchronization therapy.	Intern Med	53	555-61	2014
48	Uemura Y	循環器内科	Adipose-derived protein omentin prevents neointimal formation after arterial injury.	FASEB J	in press	in press	2014
49	Yamamoto K	循環器内科	Comparison of the change in the dimension of the pulmonary vein ostia immediately after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation-open irrigated-tip catheters versus non-irrigated conventional 4 mm-tip catheters.	J Interv Card Electrophysiol	41	83-90	2014
50	Yanagisawa S	循環器内科	Clinical characteristics and predictors of super-response to cardiac resynchronization therapy: a combination of predictive factors.	Pacing Clin Electrophysiol	37	1553-64	2014
51	Yanagisawa S	循環器内科	Clinical outcome of implantable cardioverter defibrillators with recalled and non-recalled leads in Japanese patients. Increased failure rate of the Sprint Fidelis lead.	Circ J	78	353-9	2014

52	Yoshida N	循環器内科	A novel steerable Foley balloon catheter for preventing phrenic nerve injury during epicardial catheter ablation.	J Interv Card Electrophysiol	39	259	2014
53	Yoshikawa D	循環器内科	Plasma indoxyl sulfate and estimated glomerular filtration rate.	Circ J	78	2477-82	2014
54	Takeshita K	循環器内科	Does angiotensin receptor blockade ameliorate the prothrombotic tendency in hypertensive patients with atrial fibrillation?	Hypertens Res	Jun;37(6)	490-1	2014
55	Hirashiki A	循環器内科	Cardiopulmonary exercise testing to evaluate the exercise capacity of patients with inoperable chronic thromboembolic pulmonary hypertension: An endothelin receptor antagonist improves the peak PETCO.	Life Sci.	Nov 24;118(2)	397-403.	2014
56	Yuasa D	循環器内科	Association of circulating C1q/TNF-related protein 1 levels with coronary artery disease in men.	PLoS One	Jun 19;9(6)	e99846.	2014
57	Takeshita K	循環器内科	Asymptomatic Left Atrial Thrombus in a Dialysis-Dependent Patient Free of Thrombogenic Abnormalities.	Ther Apher Dial	Feb;19(1)	93-94	2014
58	Yamada T	循環器内科	Prognostic Impact of Combined Late Gadolinium Enhancement on Cardiovascular Magnetic Resonance and Peak Oxygen Consumption in Ambulatory Patients with Nonischemic Dilated Cardiomyopathy.	Journal of Cardiac Failure	20(11)	825-832	2014
59	Izumi Y1, Hayashi M, Morimoto R, Cheng XW, Wu H, Ishii H, Yasuda Y, Yoshikawa D, Izawa H, Matsuo S, Oiso Y, Murohara T.	循環器内科	Impact of circulating cathepsin K on the coronary calcification and the clinical outcome in chronic kidney disease patients.	Heart Vessels	in press	in press	2014
60	中村正直	消化器内科	Minimally Invasive Extraction of a Foreign Body From the Small Intestine Using Double-Balloon Endoscopy	Nagoya Journal of Medical Science	77巻1-2号	189-194	2015
61	中村正直	消化器内科	Clinical usefulness of novel tag-less Agile patency capsule prior to capsule endoscopy for patients with suspected small bowel stenosis	Digestive Endoscopy	27巻1号	61-66	2015
62	今井則博	消化器内科	Transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: A review of techniques.	World Journal of Hepatology	6巻12号	844-850	2014

63	林 和彦	消化器内科	Association of interleukin 28B polymorphism and mutations in the NS5A region of hepatitis C virus genotype 2 with interferon responsiveness.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	30卷1号	178-183	2015
64	本多 隆	消化器内科	Effect of peginterferon alfa-2b and ribavirin on hepatocellular carcinoma prevention in older patients with chronic hepatitis C.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	30卷2号	321-328	2015
65	松崎一平	消化器内科	Simplified magnetic anchor-guided endoscopic submucosal dissection in dogs (with videos)	Gastrointestinal Endoscopy	80卷4号	172-176	2014
66	松崎一平	消化器内科	Another countertraction method was used in same case?	Gastrointestinal Endoscopy	80卷4号	742	2014
67	川嶋啓揮	消化器内科	Impact of instrument channel diameter on therapeutic endoscopic retrograde cholangiography using balloon-assisted enteroscopy.	Dig Endosc.	26卷 Supple 2	127-129	2014
68	石上雅敏	消化器内科	Frequent incidence of escape mutants after successful hepatitis B vaccine response and stopping of nucleos(t)ide analogues in liver transplant recipients.	Liver Transplantation	20卷10号	1211-1220	2014
69	Tanaka I	呼吸器内科	LIM-domain protein AJUBA suppresses malignant mesothelioma cell proliferation via Hippo signaling cascade.	Oncogene	34(1)	73-83	2015
70	Morise M	呼吸器内科	Phase II study of erlotinib for previously treated patients with EGFR wild-type non-small-cell lung cancer, following EGFR mutation status reevaluation with the Scorpion Amplified Refractory Mutation System.	Mol Clin Oncol.	2(6)	991-996	2014
71	Oda T	呼吸器内科	Distinct characteristics of pleuroparenchymal fibroelastosis with usual interstitial pneumonia compared with idiopathic pulmonary fibrosis.	Chest.	146(5)	1248-1255	2014
72	Takashima K	呼吸器内科	Protective effects of intratracheally administered quercetin on lipopolysaccharide-induced acute lung injury.	Respir Res.	15(1)	150	2014
73	Murata N	呼吸器内科	Ca(2+) influx and ATP release mediated by mechanical stretch in human lung fibroblasts.	Biochem Biophys Res Commun.	453(1)	101-105	2014

74	Takahara N	呼吸器内科	Real-time imaging of ATP release induced by mechanical stretch in human airway smooth muscle cells.	Am J Respir Cell Mol Biol.	51(6)	772-782	2014
75	Watanabe N	呼吸器内科	Chemotherapy for extensive-stage small-cell lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis.	Int J Clin Oncol	19(2)	260-265	2014
76	Watanabe N	呼吸器内科	Efficacy of combined therapy with cyclosporin and low-dose prednisolone in interstitial pneumonia associated with connective tissue disease.	Respiration	87(6)	469-477.	2014
77	Ogawa T	呼吸器内科	Prospective analysis of efficacy and safety of an individualized-midazolam-dosing protocol for sedation during prolonged bronchoscopy.	Respir Investig.	52(3)	153-159	2014
78	Ito R	呼吸器内科	Molecular Epidemiological Characteristics of Klebsiella pneumoniae Associated with Bacteremia among Patients with Pneumonia.	J Clin Microbiol.	53(3)	879-886	2015
79	片岡祐子	糖尿病・内分泌内科	Comparison of incidence of hyponatremia between intranasal and oral desmopressin in patients with central diabetes insipidus.	Endocr J	62(2)	195-200	2015
80	Maeda-Hori M, Kosugi T, Kojima H, Sato W, Inaba S, Maeda K, Nagaya H, Sato Y, Ishimoto T, Ozaki T, Tsuboi N, Muro Y, Yuzawa Y, Imai E, Johnson RJ, Matsuo S, Kadomatsu K, Maruyama S.	腎臓内科	Plasma CD147 reflects histological features in patients with lupus nephritis.	Lupus	23(4)	342-52	2014
81	Kim H, Mizuno M, Furuhashi K, Katsuno T, Ozaki T, Yasuda K, Tsuboi N, Sato W, Suzuki Y, Matsuo S, Ito Y, Maruyama S.	腎臓内科	Rat adipose tissue-derived stem cells attenuate peritoneal injuries in rat zymosan-induced peritonitis accompanied by complement activation.	Cytherapy	16(3)	357-68	2014

82	Ito Y, Mizuno M, Suzuki Y, Tamai H, Hiramatsu T, Ohashi H, Ito I, Kasuga H, Horie M, Maruyama S, Yuzawa Y, Matsubara T, Matsuo S; on behalf of the Nagoya Spiro Study Group.	腎臓内科	Long-Term Effects of Spironolactone in Peritoneal Dialysis Patients.	Journal of the American Society of Nephrology	25(5)	1094-102	2014
83	Shi Y1, Tsuboi N2, Furuhashi K3, Du Q1, Horinouchi A1, Maeda K1, Kosugi T1, Matsuo S1, Maruyama S1.	腎臓内科	Pristane-induced granulocyte recruitment promotes phenotypic conversion of macrophages and protects against diffuse pulmonary hemorrhage in Mac-1 deficiency.	Journal of immunology	193(10)	5129-39	2014
84	Akiyama S1, Akiyama M, Imai E, Ozaki T, Matsuo S, Maruyama S.	腎臓内科	Prevalence of anti-phospholipase A2 receptor antibodies in Japanese patients with membranous nephropathy.	Clinical and experimental nephrology	Epub	Epub	2014
85	Sei Y, Mizuno M, Suzuki Y, Imai M, Higashide K, Harris CL, Sakata F, Iguchi D, Fujiwara M, Koderu Y, Maruyama S, Matsuo S, Ito Y.	腎臓内科	Expression of membrane complement regulators, CD46, CD55 and CD59, in mesothelial cells of patients on peritoneal dialysis therapy.	Molecular immunology	65(2)	302-309	2015
86	Kato S, Maruyama S, Makino H, Wada J, Ogawa D, Uzu T, Araki H, Koya D, Kanasaki K, Oiso Y, Goto M, Nishiyama A, Kobori H, Imai E, Ando M, Matsuo S.	腎臓内科	Anti-albuminuric effects of spironolactone in patients with type 2 diabetic nephropathy: a multicenter, randomized clinical trial.	Clinical and experimental nephrology	Epub	Epub	2015
87	Maeda K, Kosugi T, Sato W, Kojima H, Sato Y, Kamimura D, Kato N, Tsuboi N, Yuzawa Y, Matsuo S, Murakami M, Maruyama S, Kadomatsu K.	腎臓内科	CD147/Basigin limits lupus nephritis and TH 17 cell differentiation by inhibiting the IL-6/STAT3 pathway.	Arthritis and rheumatism	67(8)	2185-2195	2015



88	粕谷英樹	消化器外科二	Phase I Dose-escalation Clinical Trial of HF10 Oncolytic Herpes Virus in 17 Japanese Patients with Advanced Cancer.	Hepatogastroenterology	61(131)	599-605	2014
89	野本周嗣	消化器外科二	Expression Analysis of THOP1 in Background Liver, a Prognostic Predictive Factor in Hepatocellular Carcinoma, Extracted by Multiarray Analysis.	Annals of Surgical Oncology	21 (S3)	443-450	2014
90	山田豪	消化器外科二	Clinical Implication of Morphological Subtypes in Management of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Annals of Surgical Oncology	21(7)	2444-2452	2014
91	神田光郎	消化器外科二	Clinical significance of expression and epigenetic profiling of TUSC1 in gastric cancer.	Journal of Surgical Oncology	110(2)	136-144	2014
92	神田光郎	消化器外科二	Decreased expression of prenyl diphosphate synthase subunit 2 correlates with reduced survival of patients with gastric cancer.	Journal of Experimental & Clinical Cancer Research	33(1)	88	2014
93	山田豪	消化器外科二	Epithelial to Mesenchymal Transition is Associated with Shorter Disease-Free Survival in Hepatocellular Carcinoma.	Annals of Surgical Oncology	21(12)	3882-3890	2014
94	神田光郎	消化器外科二	Clinical utility of PDSS2 expression to stratify patients at risk for recurrence of hepatocellular carcinoma.	International Journal of Oncology	45(5)	2005-2012	2014
95	間下直樹	消化器外科二	Epithelial to mesenchymal transition might be induced via CD44 isoform switching in colorectal cancer.	Journal of Surgical Oncology	110(6)	745-751	2014
96	丹羽由紀子	消化器外科二	Epithelial to mesenchymal transition correlates with tumor budding and predicts prognosis in esophageal squamous cell carcinoma.	Journal of Surgical Oncology	110(6)	764-769	2014
97	園原史訓	消化器外科二	High expression of Janus kinase 2 in background normal liver tissue of resected hepatocellular carcinoma is associated with worse prognosis.	Oncology Reports	33(2)	767-773	2015
98	神田光郎	消化器外科二	B-cell translocation gene 1 serves as a novel prognostic indicator of hepatocellular carcinoma.	International Journal of Oncology	46(2)	641-648	2015

99	橋本良二	消化器外科二	Aberrant expression of melanoma-associated antigen-D2 serves as a prognostic indicator of hepatocellular carcinoma outcome following curative hepatectomy.	Oncology Letters	9(3)	1201-1206	2015
100	神田光郎	消化器外科二	The Expression of Melanoma-Associated Antigen D2 Both in Surgically Resected and Serum Samples Serves as Clinically Relevant Biomarker of Gastric Cancer Progression.	Annals of Surgical Oncology	in press	in press	2015
101	藪崎紀充	消化器外科二	Clinical significance of zinc-finger E-box binding homeobox 1 mRNA levels in peritoneal washing for gastric cancer	Molecular and Clinical Oncology	3(2)	435-441	2015
102	末岡智	消化器外科二	Suppression of SAMSNI Expression is Associated with the Malignant Phenotype of Hepatocellular Carcinoma	Annals of Surgical Oncology	in press	in press	2015
103	Yokoyama Y	消化器外科一	The adverse effects of preoperative cholangitis on the outcome of portal vein embolization and subsequent major hepatectomies.	Surgery	156	1190-6	2014
104	Ebata T	消化器外科一	Review of hepatopancreatoduodenectomy for biliary cancer: an extended radical approach of Japanese origin.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	21	550-555	2014
105	Ebata T	消化器外科一	Surgical technique of hepatectomy combined with simultaneous resection of hepatic artery and portal vein for perihilar cholangiocarcinoma (with video).	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	21	E57-61	2014
106	Fukaya M	消化器外科一	Two-stage operation for synchronous triple primary cancer of the esophagus, stomach, and ampulla of Vater: report of a case.	Surgery Today	44	967-971	2014
107	Uehara K	消化器外科一	Aggressive surgical treatment with bony pelvic resection for locally recurrent rectal cancer	Eur J Surg Oncol	41	413-420	2015
108	Igami T	消化器外科一	Single-incision laparoscopic cholecystectomy for cholecystitis requiring percutaneous transhepatic gallbladder drainage.	Surg Today	45	305-309	2015
109	Igami T	消化器外科一	Portal vein embolization using absolute ethanol: evaluation of its safety and efficacy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	21	676-81	2014

110	Igami T	消化器外科一	Application of a three-dimensional print of a liver in hepatectomy for small tumors invisible by intraoperative ultrasonography: preliminary experience.	World J Surg	38(12):	3163-3166	2014
111	Kozawa E	整形外科	Multiple primary malignancies in elderly patients with high grade soft tissue sarcoma.	Int J Clin Oncol.	19(2)	384-90.	2014
112	Nishida Y	整形外科	Lower leg compartment syndrome in neurofibromatosis 1 patient with plexiform neurofibrom: a case report of aneurysm rupture.	Ann Vasc Surg.	28(4)	1035	2014
113	Hamada S	整形外科	Nuclear expression of beta-catenin predicts the efficacy of meloxicam treatment for patients with sporadic desmoid tumors.	Tumour Biol.	35(5)	4561-6.	2014
114	Urakawa H	整形外科	Clinical factors affecting pathological fracture and healing of unicameral bone cysts.	BMC Musculoskelet Disord.	15	159	2014
115	Nishida Y	整形外科	High incidence of regional and in-transit lymph node metastasis in patients with alveolar rhabdomyosarcoma.	Int J Clin Oncol	19(3)	536-43.	2014
116	Tsukushi S	整形外科	Non-rigid reconstruction of chest wall defects after resection of musculoskeletal tumors.	Surg Today.	45(2)	150-5.	2015
117	Ikuta K	整形外科	In vivo heat-stimulus-triggered osteogenesis.	Int J Hyperthermia.	31(1)	58-66.	2015
118	Ikeuchi K	整形外科	Intraoperative migration of the trial femoral head into the pelvis during total hip arthroplasty--report of two cases.	Nagoya Journal of Medical Science	76 (1-2)	203-210	2014
119	Ikeuchi K	整形外科	Epidemiology of nontraumatic osteonecrosis of the femoral head in Japan.	Modern Rheumatology	25 (2)	278-281	2015
120	Ikeuchi K	整形外科	Eccentric rotational acetabular osteotomy for osteoarthritis of the hip due to hereditary multiple exostosis: report of two cases.	Journal of Orthopaedic Science	19 (5)	847-850	2014

121	Amano T	整形外科	Gender difference does not affect the outcomes of eccentric rotational acetabular osteotomy used in hip dysplasia.	Hip International	24 (6)	631-637	2014
122	Ando K	整形外科	Progressive relapse of ligamentum flavum ossification following decompressive surgery.	Asian Spine J	8	835-9	2014
123	Kobayashi K	整形外科	Intradural disc herniation: radiographic findings and surgical results with a literature review.	Clin Neurol Neurosurg	25	47-51	2014
124	Shinjo R	整形外科	Keratan sulfate expression is associated with activation of a subpopulation of microglia/macrophages in Wallerian degeneration.	Neurosci Lett	579	80-85	2014
125	Ando K	整形外科	Radiologic evaluation after posterior instrumented surgery for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament: union between rostral and caudal ossifications.	J Spinal Disord Tech	27	181-4	2014
126	Ito Z	整形外科	Volumetric change in interbody bone graft after posterior lumbar interbody fusion (PLIF): a prospective study.	Eur Spine J	23	2144-2149	2014
127	Imagama S	整形外科	Impact of spinal alignment and back muscle strength on shoulder range of motion in middle-aged and elderly people in a prospective cohort study.	Eur Spine J	23	1414-9	2014
128	Ando K	整形外科	Cervical myelopathy caused by bilateral C1-2 dumbbell ganglioneuromas and C2-3 and C3-4 neurofibromas associated with neurofibromatosis type 1.	J Orthop Sci	19	676-81	2014
129	Ando K	整形外科	Differentiation of spinal schwannomas and myxopapillary ependymomas: MR imaging and pathologic features.	J Spinal Disord Tech	27	105-10	2014
130	Shiro Imagama	整形外科	Functional recovery by keratanase II treatment after spinal cord injury Keratan sulfate-degrading enzyme (keratanase II) promotes axonal regeneration and functional recovery after spinal cord injury	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord/Springer	593	169-191	2014

131	Kenyu Ito	整形外科	Dynamic changes in the spinal cord cross-sectional area in patients with myelopathy due to cervical ossification of posterior longitudinal ligament	The Spine Journal	15	461-466	2015
132	Matsushita M	整形外科	Meclozine promotes longitudinal skeletal growth in transgenic mice with achondroplasia carrying a gain-of-function mutation in the FGFR3 gene.	Endocrinology	156(2)	548-54	2015
133	Matsushita M	整形外科	A glutamine repeat variant of the RUNX2 gene causes cleidocranial dysplasia.	Mol Syndromol	6	50-53	2015
134	Matsushita M	整形外科	A case of severe proximal focal femoral deficiency with overlapping phenotypes of Al-Awadi-Raas-Rothschild syndrome and Fuhrmann syndrome.	Pediatr Radiol	44(12)	1617-9	2014
135	Kitoh H	整形外科	Early and late fracture following extensive limb lengthening in achondroplasia and hypochondroplasia.	Bone Joint J	96-B	1269-1273	2014
136	Mishima K	整形外科	Radiographic characteristics of the hand and cervical spine in fibrodysplasia ossificans progressiva.	Intractable Rare Dis Res	3(2)	46-51	2014
137	Matsushita M	整形外科	A novel in-frame deletion of the RUNX2 gene causes a classic form of cleidocranial dysplasia.	J Bone Miner Metab	32	96-99	2014
138	Matsushita M	整形外科	Benign prenatal hypophosphatasia: a treatable disease not to be missed.	Ped Radiol	44	340-343	2014
139	Takahashi N	整形外科	Clinical efficacy of abatacept compared to adalimumab and tocilizumab in rheumatoid arthritis patients with high disease activity.	Clin Rheumatol	33	39-47	2014
140	Kobayakawa T	整形外科	Drug retention rates of second biologic agents after switching from tumor necrosis factor inhibitors for rheumatoid arthritis in Japanese patients on low-dose methotrexate or without methotrexate.	Mod Rheumatol	25	251-6	2015

141	Kojima T	整形外科	Importance of methotrexate therapy concomitant with tocilizumab treatment in achieving better clinical outcomes for rheumatoid arthritis patients with high disease activity: an observational cohort study.	Rheumatology (Oxford)	54	113-20	2015
142	Tatebe M	手の外科	Ulnar shortening osteotomy for ulnar-sided wrist pain.	J Wrist Surg	3	77	2014
143	Iwatsuki K	手の外科	Ulnar impaction syndrome: incidence of lunotriquetral ligament degeneration and outcome of ulnar-shortening osteotomy.	J Hand Surg Am	39	1108	2014
144	Nishizuka T	手の外科	Novel intramedullary-fixation technique for long bone fragility fractures using bioresorbable materials.	PLoS One	9	e104603	2014
145	Ota H	手の外科	Pathological mechanism of musculoskeletal manifestations associated with CRPS type II: An animal study.	Pain	155	1976	2014
146	Natsume T	手の外科	Prostaglandin E1 alleviates neuropathic pain and neural dysfunction from entrapment neuropathy associated with diabetes mellitus.	Microsurgery	34	568	2014
147	Hirata H	手の外科	How big of a threat is needlestick-injury-induced complex regional pain syndrome? A "scientific" perspective.	Hand Surg	19	151	2014
148	Onishi T	手の外科	Topical bFGF Improves Secondary Lymphedema through Lymphangiogenesis in a Rat Tail Model.	Plastic and Reconstructive Surgery	8	e196	2014
149	Kato S	手の外科	Successful transplantation of motoneurons into the peripheral nerve depends on the number of transplanted cells.	Nagoya J Med Sci	77	253	2015
150	Hara H	手の外科	Teletriage for patients with traumatic finger injury directing emergency medical transportation services to appropriate hospitals: A pilot project in Nagoya City, Japan	Injury	46	1349	2015
151	Kurimoto S	手の外科	Activation of the Wnt/beta-catenin signaling cascade after traumatic nerve injury.	Neuroscience	294	101	2015

152	Kajiyama H	産婦人科	Oncologic Outcome after Recurrence in Patients with Stage I Epithelial Ovarian Cancer: ~Are Clear-cell and Mucinous Histological Types a Different Entities?	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol.	181	305-310	2014
153	Shibata K	産婦人科	GPC3 expression in mouse ovarian cancer induces GPC3-specific T cell-mediated immune response through M1 macrophages and suppresses tumor growth.	Oncol Rep	32(3)	913-21	2014
154	Sekiya R	産婦人科	PLAGL2 regulates actin cytoskeletal architecture and cell migration.	Carcinogenesis	35 (9)	1993-2001	2014
155	Kajiyama H	産婦人科	Recurrence-predicting prognostic factors for patients with early-stage epithelial ovarian cancer undergoing fertility-sparing surgery: a multi-institutional study.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol.	175	97-102	2014
156	Kajiyama H	産婦人科	A recurrence-predicting prognostic factor for patients with ovarian clear-cell adenocarcinoma at reproductive age.	Int J Clin Oncol.	19(5)	921-927	2014
157	Kajiyama H	産婦人科	Oncologic outcome after recurrence in patients with stage I epithelial ovarian cancer: are clear-cell and mucinous histological types a different entities?	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol.	181	305-310	2014
158	Utsumi F	産婦人科	Selective cytotoxicity of indirect nonequilibrium atmospheric pressure plasma against ovarian clear-cell carcinoma.	Springerplus.	31;3	398	2014
159	Utsumi F	産婦人科	Opioid needs of terminally ill patients with gynecologic malignancies	Int J Clin Oncol.	20(2)	405-410	2015
160	Yamamoto E	産婦人科	Identification of causative pregnancy of gestational trophoblastic neoplasia diagnosed during pregnancy by short tandem repeat analysis.	Gynecol Oncol Case Rep.	18;9	3-6	2014
161	Mano Y	産婦人科	Maternal molecular hydrogen administration ameliorates rat fetal hippocampal damage caused by in utero ischemia-reperfusion.	Free Radic Biol Med.	69	324-330	2014

162	Tsuda H	産婦人科	Impact of warning bleeding on the cortisol level in the fetus and neonatal RDS/TTN in cases of placenta previa.	J Matern Fetal Neonatal Med.	8	1-17	2014
163	Tsuda H	産婦人科	Amniotic Fluid Lamellar Body Count: Predicting and Distinguishing Neonatal Respiratory Complications in Twin Pregnancies.	Clin Chim Acta	20 ; 441	75-78	2015
164	Sumigama S	産婦人科	Uterine sutures at prior caesarean section and placenta accreta in subsequent pregnancy: a case-control study.	BJOG	121 (7)	866-74;	2014
165	Sumigama S	産婦人科	Author' s reply	BJOG	122	144	2015
166	Iwase A	産婦人科	Possible involvement of CD10 in the development of endometriosis due to its inhibitory effects on CD44-dependent cell adhesion.	Reprod Sci.	21 (1)	82-88	2014
167	Nakamura T	産婦人科	CYP51A1 induced by growth differentiation factor 9 and follicle-stimulating hormone in granulosa cells in a possible predictor for unfertilization.	Reprod Sci.	22 (3)	377-384	2015
168	Nakahara T	産婦人科	Pelvic tuberculous granuloma successfully treated with laparoscopy to preserve fertility: a case report and review of the published work.	J Obstet Gynecol Res.	40 (6)	1814-1818	2014
169	Iwase T	眼科	Diurnal variations in blood flow at optic nerve head and choroid in healthy eyes: diurnal variations in blood flow.	Medicine (Baltimore).	94 (6)	e519	2015
170	Asami T	眼科	High osmolarity effect of intravitreal plasmin enzyme on rabbit retina.	Nagoya J Med Sci.	77 (1-2)	245-252	2015
171	Ye F	眼科	Plasma-activated medium suppresses choroidal neovascularization in mice: a new therapeutic concept for age-related macular degeneration.	Sci Rep.	5	7705	2015
172	Ueno S	眼科	Case of paraneoplastic retinopathy with retinal ON-bipolar cell dysfunction and subsequent resolution of ERGs.	Doc Ophthalmol.	130 (1)	71-76	2015
173	Ijima R	眼科	Interleukin-18 induces retinal pigment epithelium degeneration in mice.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	55 (10)	6673-6678	2014



174	Asami T	眼科	Development of caliper for scleral measurements during scleral buckling surgery.	Retina.	34(8)	1713-1714	2014
175	Yasuda S	眼科	Electroretinograms and level of aqueous vascular endothelial growth factor in eyes with hemicentral retinal vein occlusion or branch retinal vein occlusion.	Jpn J Ophthalmol.	58(3)	232-236	2014
176	木村宏之	精神科	Significance of pretransplant abstinence on harmful alcohol relapse after liver transplantation for alcoholic cirrhosis in Japan	Hepatol Res	44(14)	E428-36	2014
177	飯高哲也	精神科	Role of the fusiform gyrus and superior temporal sulcus in face perception and recognition: An empirical review	Japanese Psychological Research	56(1)	33-45	2014
178	飯高哲也	精神科	False memory for face in short-term memory and neural activity in human amygdala.	Brain Research	1591	74-85	2014
179	飯高哲也	精神科	Resting state functional magnetic resonance imaging and neural network classified autism and control	CORTEX	63	55-67	2015
180	Azuma Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Congenital myasthenic syndrome in Japan: Ethnically unique mutations in muscle nicotinic acetylcholine receptor subunits.	Neuromuscul Disord	25(1):60-9	60-9	2015
181	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Treatment of aplastic anemia in children	Rinsho Ketsueki	55(10)	1769-1776	2014
182	Kawashima N	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Choreito formula for BK virus-associated hemorrhagic cystitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Biol Blood Marrow Transplant	21(2)	319-25	2015
183	Kawashima N	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Aldehyde dehydrogenase-2 polymorphism contributes to the progression of bone marrow failure in children with idiopathic aplastic anaemia	Br J Haematol	168(3)	460-3	2015
184	Natsume J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Positron emission tomography in infancy predicts long-term outcome during adolescence in cryptogenic West syndrome.	AJNR Am J Neuroradiol.	35(8)	1580-1585	2014

185	Ito Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Nationwide survey of glucose transporter-1 deficiency syndrome (GLUT-1DS) in Japan.	Brain Dev.	37(8)	780-9	2014
186	Kawada J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	mTOR inhibitors induce cell-cycle arrest and inhibit tumor growth in Epstein-Barr virus-associated T and natural killer cell lymphoma cells.	Clin Cancer Res.	20 (21)	5412-22	2014
187	kidokoro H	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Brain injury and altered brain growth in preterm infants: predictors and prognosis	Pediatrics	134	e444-53	2014
188	Kono M	皮膚科	Comprehensive screening for a complete set of Japanese-population-specific filaggrin gene mutations.	Allergy	69(4)	537-40	2014
189	Sugiura K	皮膚科	Symmetrical giant facial plaque-type juvenile xanthogranuloma persisting beyond 10 years of age.	Acta Derm Venereol	94(4)	465-466	2014
190	Sugiura K	皮膚科	Annular erythema associated with Sjögren's syndrome preceding overlap syndrome of rheumatoid arthritis and polymyositis with anti-PL-12 autoantibodies.	Acta Derm Venereol	94(4)	470-471	2014
191	Tanahashi K	皮膚科	Novel TGM1 missense mutation p.Arg727Gln in a case of self-healing collodion baby.	Acta Derm Venereol	94(5)	589-590	2014
192	Sugiura K	皮膚科	Generalized pustular psoriasis caused by deficiency of interleukin-36 receptor antagonist successfully treated with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.	J Eur Acad Dermatol Venereol	28(12)	1835-1836	2014
193	Sugiura K	皮膚科	CARD14 c.526G>C (p.Asp176His) is a significant risk factor for generalized pustular psoriasis with psoriasis vulgaris in the Japanese cohort.	J Invest Dermatol	134(6)	1755-1757	2014
194	Ogawa Y	皮膚科	Revertant mutation releases confined lethal mutation, opening Pandora's box: a novel genetic pathogenesis.	PLoS Genet	10(5)	e1004276	2014
195	Sugiura K	皮膚科	Solitary organizing pneumonia mimicking lung adenocarcinoma in systemic sclerosis.	Arthritis Rheumatol	66(9)	2648	2014

196	Muro Y	皮膚科	Author's reply to "detection of anti-periplakin autoantibodies during idiopathic pulmonary fibrosis" by Taillé et al.	Clin Chim Acta	433	194	2014
197	Sugiura K	皮膚科	IL36RN mutations underlie impetigo herpetiformis.	J Invest Dermatol	134(9)	2472-2474	2014
198	Ogawa M	皮膚科	Successful topical adapalene treatment for the facial lesions of an adolescent case of epidermolytic ichthyosis.	J Am Acad Dermatol	71(3)	e103-5	2014
199	Sugiura K	皮膚科	Dorfman-Chanarin syndrome without mental retardation caused by a homozygous ABHD5 splice site mutation that skips exon 6.	J Dermatol Sci	75(3)	199-201	2014
200	Muro Y	皮膚科	Is the measurement of anti-PM-1alpha antibodies at least as important as that of other systemic sclerosis-specific antibodies? Comment on the article by D'Aoust et al	Arthritis Rheumatol	66(11)	3248	2014
201	Sugiura K	皮膚科	Varicella zoster virus-associated generalized pustular psoriasis in a baby with heterozygous IL36RN mutation.	J Am Acad Dermatol	71(5)	e216-218	2014
202	Muro Y	皮膚科	Autoantibodies to DNA mismatch repair enzymes in polymyositis/dermatomyositis and other autoimmune diseases: a possible marker of favorable prognosis.	Arthritis Rheumatol	66(12)	3457-62	2014
203	Sugiura K	皮膚科	Childhood-onset PsA in Down syndrome with psoriasis susceptibility variant CARD14 rs11652075.	Rheumatology (Oxford)	54(1)	197-199	2015
204	Matsumoto T	皮膚科	Large epidermal cleft formation in verrucous-keratotic malignant melanoma on the heel.	J Am Acad Dermatol	72(1)	e37-38	2015
205	Muro Y	皮膚科	Anti-PM/Scl antibodies are found in Japanese patients with various systemic autoimmune conditions besides myositis and scleroderma	Arthritis Res Ther	17(1)	573	2015
206	Kaibuchi-Noda K	皮膚科	Darier's Disease: A novel ATP2A2 Missense Mutation at One of the Calcium-binding Residues.	Acta Derm Venereol	95(3)	362-363	2015

207	Y. Funahashi, T. Yamamoto, M. Gotoh	Urology	Intravesical administration of rebamipide suppresses bladder inflammation in a rat cystitis in model	J. Urol.	191(4)	1147-1152	2014
208	Y. Funahashi, M. Kato, T. Fujita, M. Gotoh	Urology	Prevalence of polyomavirus positivity in urine after renal transplantation	Transplantation Proceedings	46	565-566	2014
209	Y. Funahashi, N. Sassa, Y. Matsukawa, M. Gotoh	Urology	Acute aortic dissection in a patient receiving multiple tyrosine kinase inhibitors for 5 years	Aktuelle Urol.	45(2)	132-134	2014
210	Y. Matsukawa, M. Gotoh, M. Kato, Y. Funahashi,	Urology	Effect of dutasteride on storage and voiding symptoms in male patients with lower urinary tract symptoms as a result of benign prostatic obstruction: the 1-year outcomes from a prospective urodynamic study	Int. J. Urol.	21	826-830	2014
211	Y. Funahashi, M. Kato, T. Fujita, M. Gotoh	Urology	Correlation between urine and serum BK virus levels after renal transplantation	Transplantation Proceedings	46	567-569	2014
212	Y. Funahashi, Y. Yoshino, N. Sassa, Y. Matsukawa, M. Gotoh	Urology	Comparison of warm and cold ischemia on renal function after partial nephrectomy	Urology	84	1408-1413	2014
213	M. Gotoh	Urology	Impact of symptom improvement on patients' bother and quality of life in female patients with overactive bladder treated by solifenacin (SET-Q)	Int. J. Urol.	21	505-511	2014
214	M. Gotoh	Urology	Characterization of symptom bother and health-related quality of life in 967 Japanese female patients with overactive bladder	Neurourol Urodyn.		epub	2014
215	N. Sassa, T. Yamamoto, M. Gotoh	Urology	Evaluation of (11)C-choline PET/CT for primary diagnosis and staging of urothelial carcinoma of the upper urinary tract: a pilot study	Eur J Nucl Med Mol Imaging	41(12)	2232-2241	2014

216	Suzuki H, Sone M, Yoshida T, Otake H, Kato K, Teranishi M, Suga K, Nakada T, Naganawa S	耳鼻咽喉科	Numerical assessment of cholesteatoma by signal intensity on non-EP-DWI and ADC maps	Otol Neurotol	35 (6)	1007- 1010	2014
217	Yoshida T, Sone M, Naganawa S, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Patient with an SLC26A4 gene mutation who had low- frequency sensorineural hearing loss and endolymphatic hydrops	J Laryngol Otol	129(1)	95-97	2015
218	Mukaida T, Sone M, Yoshida T, Kato K, Teranishi M, Naganawa S, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Magnetic resonance imaging evaluation of endolymphatic hydrops in cases with otosclerosis	Otol Neurotol	37(7)	1146- 1150	2014
219	Nakashima T, Sato H, Gyo K, Hato N, Yoshida T, Shimono M, Teranishi M, Sone M, Fukunaga Y, Kobashi G, Takahashi K, Mtsui S, Ogawa K	耳鼻咽喉科	Idiopathic sudden sensorineural hearing loss in Japan	Acta Otolaryngol	134(11)	1158- 1163	2014
220	Naganawa S, Kawai H, Ikeda M, Sone M, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Imaging of endolymphatic hydrops in 10 minutes: a new strategy to reduce scan time to one third	Magn Reson Med Sci	14(1)	77-83	2015
221	Naganawa S, Sone M	耳鼻咽喉科	3D real inversion recovery MR imaging for the visualization of endolymphatic hydrops	AJNR	35(12)	E9	2014
222	Uchida Y, Sugiura S, Sone M, Ueda H, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Progress and prospects in human genetic research into age-related hearing impairment	Biomed Res Int	Epub	390601	2014
223	Maruo T, Fujimoto Y, Yoshida K, Hiramatsu M, Suzuki A, Nishio N, Shimono M, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Effect of clinical symptoms on the indication for selective neck dissection for NO carcinomas of the parotid gland	Oncol Lett	8(1)	335-338	2014

224	Nishio N, Fujimoto Y, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Inflammatory pseudotumor of the infratemporal fossa leading to orbital apex syndrome	J Craniofac Surg	25(4)	1324-1326	2014
225	Yoshimoto S, Nakashima T, Fujii T, Matsuura K, Otsuki N, Asakage T, Fujimoto Y, Hanai N, Homma A, Monden N, Okami K, Sugasawa M, Hasegawa Y, Nibu K, Kamata SE, Kishimoto S, Kohno N, Fukuda S, Hisa Y	耳鼻咽喉科	Japanese board certification system for head and neck surgeons	Auris Nasus Larynx	41(4)	327-330	2014
226	Suzuki H, Kato K, Fujimoto Y, Itoh Y, Hiramatsu M, Naganawa S, Hasegawa Y, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Prognostic value of (18)F-fluorodeoxyglucose uptake before treatment for pharyngeal cancer	Ann Nucl Med	28(4)	356-362	2014
227	Maruo T, Fujimoto Y, Ozawa K, Hiramatsu M, Suzuki A, Nishio N, Nakashima T	耳鼻咽喉科	Laryngeal sensation and pharyngeal delay time after (chemo)radiotherapy	Eur Arch Otorhinolaryngol	271(8)	2299-2304	2014
228	Kano S, Hayashi R, Homma A, Matsuura K, Kato K, Kawabata K, Monden N, Hasegawa Y, Onitsuka T, Fujimoto Y, Iwae S, Okami K, Matsuzuka T, Yoshino K, Fujii M	耳鼻咽喉科	Effect of local extension sites on survival in locally advanced maxillary sinus cancer	Head Neck	36(11)	1567-1572	2014
229	Homma A, Hayashi R, Matsuzuka T, Yoshino K, Nibu K, Kato T, Nishino H, Asakage T, Ota I, Kitamura M, Kubota A, Ueda T, Ikebuchi K, Watanabe A, fujii M	耳鼻咽喉科	Lymph node metastasis in t4 maxillary sinus squamous cell carcinoma: incidence and treatment outcome	Ann Surg Oncol.	21(5)	1706-1710	2014

230	Sakashita T, Hayashi R, Homma A, Matsuura K, Kato K, Kawabata K, Monden N, Hasegawa Y, Onitsuka T, Fujimoto Y, Iwae S, Okami K, Matuzuka T, Yoshino K, Fujii M	耳鼻咽喉科	Multi-institutional retrospective study for the evaluation of ocular function-preservation rates in maxillary sinus squamous cell carcinomas with orbital invasion	Head Neck	Epub	537-42	2014
231	Nakada T, Yoshida T, Suga K, Kato M, Otake H, Kato K, Teranishi M, Sone M, Sugiura S, Kuno K, Pyykko I, Naganawa S, Watanabe H, Sobue G, nakashima T	耳鼻咽喉科	Endolymphatic space size in patients with vestibular migraine and Meniere's disease	J Neurol	261(11)	2079- 2084	2014
232	長縄慎二	放射線科/放射 線部	Time Course for Measuring Endolymphatic Size in Healthy Volunteers Following Intravenous Administration of Gadoteridol.	Magn Reson Med Sci.	13(2)	73-80	2014
233	北野真利子	放射線科/放射 線部	Lobar analysis of collapsibility indices to assess functional lung volumes in COPD patients.	International Journal of COPD.	9	1347- 1356	2014
234	岩野信吾	放射線科/放射 線部	Prediction of pathologic prognostic factors in patients with lung adenocarcinomas: comparison of thin-section computed tomography and positron emission tomography/computed tomography	Cancer Imaging	14(3)	7330	2014
235	岸本真理子	放射線科/放射 線部	Prognostic evaluations of small size lung cancers by 18F-FDG PET/CT and thin- section CT.	Lung Cancer.	86(2)	180-184	2014
236	佐竹弘子	放射線科/放射 線部	Prediction of prone-to- supine tumor displacement in the breast using patient position change: investigation with prone MRI and supine CT	Breast Cancer.	10-Jun	Epub ahead of print	2014

237	兵藤良太	放射線科/放射線部	Assessment of percutaneous transhepatic portal vein embolization with portal vein stenting for perihilar cholangiocarcinoma with severe portal vein stenosis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	22(4)	310-315	2014
238	古橋尚博	放射線科/放射線部	Differentiation of focal-type autoimmune pancreatitis from pancreatic carcinoma: assessment by multiphase contrast-enhanced CT.	Eur Radio.	25(5)	1366-1374	2014
239	兵藤良太	放射線科/放射線部	Solitary Fibrous Tumors in the Extremities: Imaging Findings for Six Patients.	Nagoya J. Med. Sci.	77(1-2)	167-178	2015
240	山崎雅弘	放射線科/放射線部	VISUALIZATION OF BRAIN WHITE MATTER TRACTS USING HEAVILY T2-WEIGHTED THREE-DIMENSIONAL FLUID-ATTENUATED INVERSION-RECOVERY MAGNETIC RESONANCE IMAGING	Nagoya J. Med. Sci.	76(3-4)	285-291	2014
241	Yamamoto A,	歯科口腔外科	Multifaceted neuro-regenerative activities of human dental pulp stem cells for functional recovery after spinal cord injury.	Neuroscience Research	78	16-20	2014
242	Sakakura H	歯科口腔外科	Detection of a soluble form of CD109 in serum of CD109 transgenic and tumor xenografted mice.	Plos One	9	e83385	2014
243	Ogata K	歯科口腔外科	Evaluation of the therapeutic effects of conditioned media from mesenchymal stem cells in a rat bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw-like model	Bone	74	95-105	2014
244	Matsubara K	歯科口腔外科	Secreted Ectodomain of Sialic Acid-Binding Ig-Like Lectin-9 and Monocyte Chemoattractant Protein-1 Promote Recovery after Rat Spinal Cord Injury by Altering Macrophage Polarity	The Journal of Neuroscience	35	2452-2464	2014
245	Ando Y	歯科口腔外科	Stem cell-conditioned medium accelerates distraction osteogenesis through multiple regenerative mechanisms.	Bone	61	82-90	2014



246	Sugiyama M	歯科口腔外科	Stem cells from human exfoliated deciduous teeth enhance recovery from focal cerebral ischemia in rats	J Oral Maxillofac Surg Pathol Med	26	443-449	2014
247	Maesawa Satoshi	脳神経外科	Evaluation of resting state networks in patients with gliomas: Connectivity changes in the unaffected side and its relation to cognitive function	PLOS ONE	10(2)	e0118072	2015
248	Motomura Kazuya	脳神経外科	Association of dorsal inferior frontooccipital fasciculus fibers in the deep parietal lobe with both reading and writing processes, a brain mapping study	Journal of Neurosurgery	121(1)	142-148	2014
249	Nishimura Yusuke	脳神経外科	Outcome and complications following posterior long lumbar fusions exceeding three levels	Neurol Med Chir (Tokyo)	54(9)	707-715	2014
250	Nishimura Yusuke	脳神経外科	Spinal dural arteriovenous fistula associated with L-4 isthmic spondylolisthesis.	J Neurosurg Spine	20	670-4	2014
251	Ohka Fumiharu	脳神経外科	Quantitative metabolome analysis profiles activation of glutaminolysis in glioma with IDH1 mutation.	Tumour Biol	35	5911-5920	2014
252	Nishimura Yusuke	脳神経外科	Progressively unstable c2 spondylolysis requiring spinal fusion: case report.	Neurol Med Chir (Tokyo)	54	761-7	2014
253	Takashi Izumi	脳神経外科	Angioplasty and Stenting for Intracranial Stenosis	Neurologia medico-chirurgica	54	46-53	2014
254	Matsubara Noriaki	脳神経外科	Results and Current Trends of Multimodality Treatment for Infectious Intracranial Aneurysms	Neurol Med Chir (Tokyo)	in press	in press	2014
255	Araki Yoshio	脳神経外科	Cognitive Function of Patients with Adult Moyamoya Disease.	J Stroke Cerebrovasc Dis	23	1789-1794	2014
256	Kazuhito Takeuchi	脳神経外科	A novel method for managing water and electrolyte balance after transsphenoidal surgery: preliminary study of moderate water intake restriction	Nagoya Journal of Medical Science	76(1-2):	73-82	2014

257	Shunichiro Kuramitsu	脳神経外科	Double-edged Sword in the Placement of Carmustine (BCNU) Wafers along the Eloquent Area: A Case Report	Neurologia medico-chirurgica case report journal	1	40-45	2015
258	Koike H	Neurology	Clinicopathologic features of folate-deficiency neuropathy.	Neurology.	84(10)	1026-33	2015
259	Koike H	Neurology	Intravenous immunoglobulin for chronic residual peripheral neuropathy in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (Churg-Strauss syndrome): a multicenter, double-blind trial.	J Neurol.	262(3)	752-9	2015
260	Kawagashira Y	Neurology	Axonal loss influences the response to rituximab treatment in neuropathy associated with IgM monoclonal gammopathy with anti-myelin-associated glycoprotein antibody.	J Neurol Sci.	348(1-2)	67-73	2015
261	Okada A	Neurology	Efficacy of intravenous immunoglobulin for treatment of Lambert-Eaton myasthenic syndrome without anti-presynaptic P/Q-type voltage-gated calcium channel antibodies: a case report.	Neuromuscul Disord.	25(1)	70-2	2015
262	Riku Y	Neurology	Early pathologic changes in hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids.	J Neuropathol Exp Neurol.	73(12)	1183-90	2014
263	Katsuno M	Neurology	Potential therapeutic targets in polyglutamine-mediated diseases.	Expert Rev Neurother.	14(10)	1215-28	2014
264	Iida M	Neurology	Pioglitazone suppresses neuronal and muscular degeneration caused by polyglutamine-expanded androgen receptors.	Hum Mol Genet.	24(2)	314-29	2015
265	Riku Y	Neurology	Differential motor neuron involvement in progressive muscular atrophy: a comparative study with amyotrophic lateral sclerosis.	BMJ Open.	4(5)	e005213	2014
266	Araki A	Neurology	Brugada syndrome in spinal and bulbar muscular atrophy.	Neurology.	82(20)	1813-21	2014

267	Ohyama K	Neurology	Muscle atrophy in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: a computed tomography assessment.	Eur J Neurol.	21(7)	1002-10	2014
268	Tohnai G	Neurology	Paeoniflorin eliminates a mutant AR via NF-YA-dependent proteolysis in spinal and bulbar muscular atrophy.	Hum Mol Genet.	23(13)	3552-65	2014
269	Koike H	Neurology	What is the prototype of familial amyloid polyneuropathy?	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	85(7)	713	2014
270	Mizutani Y	Neurology	Hyposmia and cardiovascular dysautonomia correlatively appear in early-stage Parkinson's disease.	Parkinsonism Relat Disord.	May;20(5)	520-4	2014
271	Nakamura T	Neurology	Role of cardiac sympathetic nerves in preventing orthostatic hypotension in Parkinson's disease.	Parkinsonism Relat Disord.	Apr;20(4)	409-14.	2014
272	Kohei Yokoi	呼吸器外科	Trimodality Therapy for Lung Cancer With Chest Wall Invasion: Initial Results of a Phase II Study	The Annals of Thoracic Surgery	98(4)	1184-1191	2014
273	緒方藍歌	心臓外科	Therapeutic potential of bone marrow-derived mesenchymal stem cells in formed aortic aneurysms of a mouse model	Eur J Cardiothorac Surg	45(5)	e156-165	2014
274	杉浦純也	心臓外科	Effects of tricuspid valve surgery on tricuspid regurgitation in patients with hypoplastic left heart syndrome: a non-randomized series comparing surgical and non-surgical cases	Eur J Cardiothorac Surg	46(1)	8-13	2014
275	碓氷章彦	心臓外科	TEVAR for type B aortic dissection in Japan	Gen Thorac Cardiovasc Surg	62(5)	282-9	2014
276	緒方藍歌	心臓外科	Mesenchymal stem cells for treatment of aortic aneurysms	World J Stem Cells	6(3)	278-287	2014
277	徳田順之	心臓外科	Brain Protection During Ascending Aortic Repair for Stanford Type A Acute Aortic Dissection Surgery - Nationwide Analysis in Japan -	Circulation Journal	78(10)	2431-2438	2014

278	大島英揮	心臓外科	Usefulness of bridging thoracic endovascular aortic repair and sac irrigation followed by open repair in patients with mycotic thoracic aortic aneurysms	J Thorac Cardiovasc Surg	148(5)	2422-2424	2014
279	伊藤英樹	心臓外科	Cervical aortic arch with multiple aortic aneurysms that required two aortic replacements with a 34-year interval	Interact Cardiovasc Thorac Surg	19(5)	878-880	2014
280	阿部知伸	心臓外科	Influence of the characteristics of Japanese patients on the long-term outcomes after aortic valve replacement: results of a microsimulation	Gen Thorac Cardiovasc Surg	63(5)	260-6	2014
281	荒木善盛	心臓外科	Impact of the intraoperative use of fibrinogen concentrate for hypofibrinogenemia during thoracic aortic surgery	Nagoya J Med Sci	77(1-2)	265-73	2015
282	Shirota C	小児外科	Initial treatment of septated parapneumonic empyema with drainage plus fibrinolytic agents is equally effective as video-assisted thoracoscopic surgery, and is suitable as first-line therapy	Translational Pediatrics	4(1)	41-44	2015
283	Murase N	小児外科	Prophylactic effect of H2 blocker for anastomotic strictures after esophageal atresia repair	Pediatr Int	57(3)	461-464	2015
284	Yokota K	小児外科	Surgical complications, especially gastroesophageal reflux disease, intestinal adhesion obstruction, and diaphragmatic hernia recurrence, are major sequelae in survivors of congenital diaphragmatic hernia	Pediatric Surgery International	30	895-899	2014
285	Kishimoto M	検査部	Rhof promotes murine marginal zone B cell development	Nagoya J Med Sci.	Aug 76(3-4)	293-305	2014
286	Matsushita T	輸血部	Thrombomodulin alfa treatment in patients with acute promyelocytic leukemia and disseminated intravascular coagulation: a retrospective analysis of an open-label, multicenter, post-marketing surveillance study cohort.	Thromb Res.	May;133(5)	772-81.	2014

287	Ito M	総合周産期母子医療センター	Paradoxical downward seizure pattern on amplitude-integrated electroencephalogram	J Perinatol	34(8)	642-4	2014
288	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	Incidence and prediction of outcome in hypoxic-ischemic encephalopathy in Japan	Pediatr Int	56(2)	215-21	2014
289	Nakamura G, Wachino JI, Sato N, Kimura K, Yamada K, Jin W, Shibayama K, Yagi T, Kawamura K, Arakawa Y.	臨床感染制御学 / 中央感染制御部	Practical Agar-Based Disk Potentiation Test to Detect Fosfomycin-Non-Susceptible Escherichia coli Clinical Isolates Producing Glutathione S-Transferases.	J Clin Microbiology	vol:52 iss:9	pg:3175-9	2014
290	Asai K, Yamada K, Yagi T, Baba H, Kawamura I, Ohta M.	臨床感染制御学 / 中央感染制御部	Effect of incubation atmosphere on the production and composition of staphylococcal biofilms.	J Infect Chemother	vol:21 iss:1	pg:55 - 61 □	2015
291	Kei-ichi Uchiya, Hiroyasu Takahashi, Taku Nakagawa, Tetsuya Yagi, Makoto Moriyama, Takayuki Inagaki, Kazuya Ichikawa, Toshiaki Nikai, Kenji Ogawa.	臨床感染制御学 / 中央感染制御部	Characterization of a Novel Plasmid, pMAH135, from Mycobacterium avium Subsp. hominissuis	PLOS ONE	vol:10 iss:2	e0117797	2015
292	Kazuhiro Hayashi	リハビリテーション部	Regional differences of repeatability on visual analogue scale with experimental mechanical pain stimuli.	Neurosci Lett.	585	67-71	2015
293	Kazuhiro Hayashi	リハビリテーション部	Impact of preoperative regular physical activity on postoperative course after open abdominal aortic aneurysm surgery.	Heart Vessels.	in press	in press	2015
294	Mori Tomohiro	リハビリテーション部	Stretch speed - dependent myofiber damage and functional deficits in rat skeletal muscle induced by lengthening contraction	Physiological reports	2	11	2014

295	前田修	化学療法部	Safety of repeated cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy for malignant ascites from gastrointestinal cancer.	Mol Clin Oncol.	2(6)	1103-1106	2014
296	安藤雄一	化学療法部	A Phase I dose-escalation study of buparlisib (BKM120), an oral pan-class I PI3K inhibitor, in Japanese patients with advanced solid tumors.	Cancer Sci	105(3)	347-53	2014
297	松岡歩	化学療法部	Letter to the editor regarding the Loupakis article of 23-Oct-2014	N Engl J Med;	372	290-292	2015
298	Boshal Gyawal	化学療法部	Some questions on the randomized controlled trial of communication skills training for oncologists.	J Clin Oncol	10;33(2)	222	2015
299	Bishal Gyawali,	化学療法部	Cancer care and research in India: what does it mean to Nepal?"	Lancet Oncol.	5(8)	e299-300	2014
300	下方智也	化学療法部	Carboplatin plus paclitaxel scheduling for advanced ovarian cancer.	Lancet Oncol	15(7)	e249-50	2014
301	前田修	化学療法部	A case of gastric carcinosarcoma with distant metastasis for which chemotherapy with S-1 plus cisplatin was transiently effective.	Int Canc Conf J	3	252-259	2014
302	Yuki Aoyama	薬剤部	Clozapine ameliorates epigenetic and behavioral abnormalities induced by phencyclidine through activation of dopamine D1 receptor.	International Journal of Neuropsychopharmacology	17巻・5号	723-737	2014
303	Tsuyoshi Nakai	薬剤部	Alterations of GABAergic and dopaminergic systems in mutant mice with disruption of exons 2 and 3 of the Discl gene.	Neurochemistry International	74巻	74-83	2014
304	Tsuyoshi Nakai	薬剤部	Girdin Phosphorylation Is Crucial for Synaptic Plasticity and Memory: A Potential Role in the Interaction of BDNF/TrkB/Akt Signaling with NMDA Receptor.	The Journal of Neuroscience	34巻・45号	14995-15008	2014

305	Akira Nakajima	薬剤部	Induction of interferon-induced transmembrane protein 3 gene expression by lipopolysaccharide in astrocytes.	European Journal of Pharmacology	745巻	166-175	2014
306	Shinnosuke Yamada	薬剤部	Matrix metalloproteinase-3 is a possible mediator of neurodevelopmental impairment due to polyI:C-induced innate immune activation of astrocytes.	Brain, Behavior, and Immunity	38巻	272-282	2014
307	Yoko Kurata	薬剤部	Clinical relevance of post-transplant pharmacodynamic analysis of cyclosporine in renal transplantation.	International Immunopharmacology	22巻・2号	384-391	2014
308	菊地 良介	医療技術部臨床検査部門	An anti-angiogenic isoform of VEGF-A contributes to impaired vascularization in peripheral artery disease	Nature Medicine	20巻12号	1464-1471	2014

計

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名			
1	村田誠	血液内科	Dexamethasone palmitate ameliorates macrophage-rich graft-versus-host disease by inhibiting macrophage functions.	PLoS One	9	e96252	2014
2	清井仁	血液内科	Comprehensive analysis of genetic alterations and their prognostic impacts in adult acute myeloid leukemia patients.	Leukemia	28(8)	1586-95	2014
3	寺倉精太郎	血液内科	Comparison of Cord Blood Transplantation with Unrelated Bone Marrow Transplantation in Patients Older than Fifty Years.	Biol Blood Marrow Transplant.	21(3)	517-25	2014
4	西田徹也	血液内科	Simple and Efficient Generation of Virus-specific T Cells for Adoptive Therapy Using Anti-4-1BB Antibody.	J Immunother	38(2)	62-70	2014

5	西田徹也	血液内科	Correlations of programmed death 1 expression and serum IL-6 level with exhaustion of cytomegalovirus-specific T cells after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Cell Immunol	288(1-2)	53-59	2014
6	中村正直	消化器内科	Classification of Intestinal Lymphangiectasia with Protein-Losing Enteropathy: White Villi Type and Non-White Villi Type.	Digestion	90卷3号	155-166	2014
7	宮原良二	消化器内科	Risk factors of symptomatic NSAID-induced small intestinal injury and diaphragm disease	Alimentary Pharmacology and Therapeutics	40卷5号	538-547	2014
8	渡辺 修	消化器内科	Suitability of Surveillance Colonoscopy for Patients with Ulcerative Colitis to Detect Colorectal Cancer: Current Guidelines Miss Some Early-Sage Cases	Nagoya Journal of Medical Science	77卷	237-244	2015
9	石上雅敏	消化器内科	Progressive fibrosis significantly correlates with hepatocellular carcinoma in patients with a sustained virological response.	Hepatology Research	45卷2号	238-246	2015
10	宮原良二	消化器内科	Usefulness of Helicobacter pylori eradication for precancerous lesions of the gastric remnant.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	4卷	60-64	2014
11	宮原良二	消化器内科	Silencing of STRN4 suppresses the malignant characteristics of cancer cells	Cancer Science	105卷12号	1526-32	2014
12	Hasegawa Y	呼吸器内科	Lobar analysis of collapsibility indices to assess functional lung volumes in COPD patients.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis.	9	1347-1356	2014
13	Ito S	呼吸器内科	Airway smooth muscle in asthma: Linking contraction and mechanotransduction to disease pathogenesis and remodelling.	Pulm Pharmacol Ther.	29(2)	96-107	2014
14	Wakahara K	呼吸器内科	Basophils increase in Crohn disease and ulcerative colitis and favor mesenteric lymph node memory TH17/TH1 response.	J Allergy Clin Immunol.	134(4):	978-981	2014



15	Hasegawa Y	呼吸器内科	Significance of pulmonary arterial pressure as a prognostic indicator in lung-dominant connective tissue disease.	PLoS One.	9(9)	e108339	2014
16	Hasegawa Y	呼吸器内科	Cefepime monotherapy for febrile neutropenia in patients with lung cancer.	J Infect Chemother	20(6)	365-369.	2014
17	Morise M	呼吸器内科	Therapeutic Priority of the PI3K/AKT/mTOR Pathway in Small Cell Lung Cancers as Revealed by a Comprehensive Genomic Analysis	Journal of Thoracic Oncology	9 (9)	1324-1331	2014
18	長谷川好規	呼吸器内科	呼吸器内科医を対象とした喘息治療ステップダウンの実態調査	アレルギー・免疫	21(4)	106-114	2014
19	長谷川好規	呼吸器内科、薬剤部	薬剤師外来における吸入指導：服薬アドヒアランスに影響を与える要因	医療薬学	40 (7)	375-382	2014
20	有馬寛	糖尿病・内分泌内科	Activating Transcription Factor 6a Is Required for the Vasopressin Neuron System to Maintain Water Balance under Dehydration in Male Mice.	Endocrinology	155(12)	4905-14	2014
21	有馬寛	糖尿病・内分泌内科	Mitogen-activated protein kinase phosphatase 1 negatively regulates MAPK signaling in mouse hypothalamus	Neurosci Lett	569	49-54	2014
22	梶村益久	糖尿病・内分泌内科	Identification of the novel autoantigen candidate Rab GDP dissociation inhibitor alpha in isolated adrenocorticotropin deficiency.	Endocr J.	62(2)	153-160	2015
23	梶村益久	糖尿病・内分泌内科	Minocycline prevents osmotic demyelination associated with aquaresis.	Kidney Int.	86(5)	954-964	2014
24	恒川新	糖尿病・内分泌内科	Long-Term Pancreatic Beta Cell Exposure to High Levels of Glucose but Not Palmitate Induces DNA Methylation within the Insulin Gene Promoter and Represses Transcriptional Activity.	PLoS One	10(2)	e0115350	2015

25	恒川新	糖尿病・内分泌 内科	Mesenchymal stem cells ameliorate impaired wound healing through enhancing keratinocyte functions in diabetic foot ulcerations on the plantar skin of rats.	J Diabetes Complications	28(5)	588-95	2014
26	清野祐介	糖尿病・内分泌 内科	KATP channel as well as SGLT1 participates in GIP secretion in the diabetic state.	J Endocrinol	222(2)	191-200	2014
27	Wada T, Nangaku M, Maruyama S, Imai E, Shoji K, Kato S, Endo T, Muso E, Kamata K, Yokoyama H, Fujimoto K, Obata Y, Nishino T, Kato H, Uchida S, Sasatomi Y, Saito T, Matsuo S.	腎臓内科	A multicenter cross-sectional study of circulating soluble urokinase receptor in Japanese patients with glomerular disease.	Kidney international	85(3)	641-8	2014
28	Hosoya T, Kimura K, Itoh S, Inaba M, Uchida S, Tomino Y, Makino H, Matsuo S, Yamamoto T, Ohno I, Shibagaki Y, Iimuro S, Imai N, Kuwabara M, Hayakawa H.	腎臓内科	The effect of febuxostat to prevent a further reduction in renal function of patients with hyperuricemia who have never had gout and are complicated by chronic kidney disease stage 3: study protocol for a multicenter randomized controlled study.	Trials	15	26	2014
29	Kawamura T, Yoshimura M, Miyazaki Y, Okamoto H, Kimura K, Hirano K, Matsushima M, Utsunomiya Y, Ogura M, Yokoo T, Okonogi H, Ishii T, Hamaguchi A, Ueda H, Furusu A, Horikoshi S, Suzuki Y, Shibata T, Yasuda T, Shirai S, Imasawa T, Kanozawa K, Wada A, Yamaji I, Miura N, Imai H, Kasai K, Soma J, Fujimoto S, Matsuo S, Tomino Y; The Special IgA Nephropathy	腎臓内科	A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy.	Nephrology dialysis transplantatio n	29(8)	1546-53	2014

30	Muso EI, Mune M, Hirano T, Hattori M, Kimura K, Watanabe T, Yokoyama H, Sato H, Uchida S, Wada T, Shoji T, Yuzawa Y, Takemura T, Sugiyama S, Nishizawa Y, Ogahara S, Yorioka N, Sakai S, Ogura Y, Yukawa S, Iino Y, Imai E, Matsuo S, Saito T.	腎臓内科	Immediate therapeutic efficacy of low-density lipoprotein apheresis for drug-resistant nephrotic syndrome: evidence from the short-term results from the POLARIS Study.	Clinical and experimental nephrology	19(3)	379-86	2014
31	Melo SA1, Sugimoto H1, O'Connell JT2, Kato N2, Villanueva A3, Vidal A4, Qiu L5, Vitkin E5, Perelman LT5, Melo CA6, Lucci A7, Ivan C8, Calin GA9, Kalluri R10.	腎臓内科	Cancer Exosomes Perform Cell-Independent MicroRNA Biogenesis and Promote Tumorigenesis.	Cancer Cell	26(5)	707-21	2014
32	Hayashi N, Akiyama S, Okuyama H, Matsui Y, Adachi H, Yamaya H, Maruyama S, Imai E, Matsuo S, Yokoyama H.	腎臓内科	Clinicopathological characteristics of M-type phospholipase A2 receptor (PLA2R) -related membranous nephropathy in Japanese.	Clinical and experimental nephrology	Epub	Epub	2014
33	Fujimoto K, Imura J, Atsumi H, Matsui Y, Adachi H, Okuyama H, Yamaya H, Yokoyama H.	腎臓内科	Clinical significance of serum and urinary soluble urokinase receptor (suPAR) in primary nephrotic syndrome and MPO-ANCA-associated glomerulonephritis in Japanese.	Clinical and experimental nephrology	Epub	Epub	2014
34	Mori-Kawabe M1, Yasuda Y, Ito M, Matsuo S.	腎臓内科	Reduction of NO-mediated Relaxing Effects in the Thoracic Aorta in an Experimental Chronic Kidney Disease Mouse Model.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	Epub	Epub	2015
35	丸山彰一、秋山真一	腎臓内科	【ネフローゼ症候群】 膜性腎症における自己抗体	日本腎臓学会誌	56(4)	486-492	2014
36	丸山彰一・秋山真一・松尾清一	腎臓内科	【糸球体疾患:新たな概念と治療の進歩】 慢性腎症とPLA2R1抗体	腎と透析	76(1)	25-30	2014

37	丸山彰一・秋山真一・松尾清一	腎臓内科	【注目される腎臓病と最新のバイオマーカー動向】 オミックス技術を用いた新たなバイオマーカー探索	臨牀化学	43(1)	33-38	2014
38	秋山真一・今井圓裕	腎臓内科	慢性腎症の診断：抗ホスホリパーゼA2受容体抗体の新たな展開と臨床応用	臨牀化学	43(1)	1-87	2014
39	丸山彰一、秋山真一	腎臓内科	慢性腎症における自己抗体	日本腎臓学会誌	56(4)	457-546	2014
40	丸山彰一、勝野敬之、坪井直毅	腎臓内科	脂肪組織幹細胞の臨床応用	医学のあゆみ	250(9)	713-719	2014
41	丸山彰一、秋山真一、松尾清一	腎臓内科	【ネフローゼ症候群：病因・病態と治療に関する最新の知見】ネフローゼ症候群の病因 自己抗体(抗PLA2R抗体、抗NEP抗体)	腎と透析	76(6)	811-818	2014
42	丸山彰一、勝野敬之、坪井直毅	腎臓内科	【肥満の医学-臨床と研究の最先端】 臨床【トランスレショナルリサーチ】 脂肪組織幹細胞の臨床応用	医学のあゆみ	250(9)	713-719	2014
43	丸山彰一、勝野敬之、坪井直毅	腎臓内科	Basic nephrology 分子生物学 脂肪由来幹細胞による細胞治療の展望	Annual Review 腎臓	2015巻	80-85	2015
44	秋山真一、丸山彰一	腎臓内科	【ネフローゼ症候群Update】膜性腎症とPLA2R抗体	医学のあゆみ	252(11)	1150-1153	2015
45	秋山真一、丸山彰一	腎臓内科	M-type phospholipase A2 receptor (PLA2R)	腎と高血圧	4(3)	147	2015
46	Yasuharu Ohnishi, Uchida H	移植外科, 小児外科	Effectiveness and safety of immunization with live-attenuated and inactivated vaccines for pediatric liver transplantation recipients.	Vaccine	33(12)	1440-1445	2015
47	Hideya Kamei	移植外科	Living donor liver transplantation using a right liver graft with additional vein reconstructions for patient with situs inversus.	American Journal of Transplantation	14(6)	1453	2014

48	Yokoyama Y	消化器外科一	Prospective evaluation of the International Study Group for Liver Surgery definition of bile leak after a liver resection and the role of routine operative drainage: an international multicentre study.	HPB (Oxford)	17(1)	46-51	2015
49	Ebata T,	消化器外科一	Proposal of a new staging system for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	21	499-508	2014
50	Uehara K	消化器外科一	Cowden syndrome complicated by a gastrointestinal stromal tumor.	Dig Endosc.	26	673-675	2014
51	Uehara K	消化器外科一	Postoperative complications following neoadjuvant bevacizumab treatment for advanced colorectal cancer.	Surg Today.	44	1300-1306	2014
52	Uehara K.	消化器外科一	Adenocarcinoma arising from sacrococcygeal mature teratoma in an adult female: report of a case.	Front Oncol.	4	117	2014
53	Tsunoda N	消化器外科一	Inhibition of SNW1 association with spliceosomal proteins promotes apoptosis in breast cancer cells	Cancer Med	4	:268-277	2015
54	Ebata T	消化器外科一	Prognostic impact of lymph node metastasis in distal cholangiocarcinoma	Br J Surg	102	399-406	2015
55	Nagino M,	消化器外科一	ZNF695 methylation predicts a response of esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy	J Cancer Res Clin Oncol	141	453-463	2015
56	Nagino M,	消化器外科一	Classification of biliary tract cancers established by Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery: 3rd English Edition	J Hepatobiliary Pancreat Sci	22	181-196	2015
57	Nagino M	消化器外科一	Revision concepts and distinctive points of the new Japanese classification for biliary tract cancers in comparison with 7th edition of the UICC/AJCC staging system	J Hepatobiliary Pancreat Sci	22	197-201	2015

58	Tsunoda N	消化器外科一	Akt-Girdin signaling in cancer-associated fibroblasts contributes to tumor progression	Cancer Res	75	813-823	2015
59	Nagino M	消化器外科一	Girdin is phosphorylated on tyrosine 1798 when associated with structures required for migration	BBRC	458	934-940	2015
60	椰野正人	消化器外科一	症例5：胆汁細胞診及び胆道生検で診断した肝内結石合併肝内胆管癌の1例、症例6：肝門部胆管癌の術前診断にて肝左3区域切除を行った肝内結石症の1例	肝内結石画像アトラス（厚生労働省難治性疾患克服研究事業『難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究』班編集）		28-43	2014
61	椰野正人	消化器外科一	胆道専門医講座（8）胆道癌の外科治療－最新の治療成績－第1回 肝門部胆管癌	胆道	28	120-129	2014
62	江畑 智希	消化器外科一	肝門部胆管癌に対する肝動脈合併切除の実際 右肝動脈単独切除	膵・胆道癌 Frontier	4	20-24	2014
63	江畑 智希	消化器外科一	肝門部胆管癌に対する右側・左側肝切除の選択	胆道	28	36-42	2014
64	江畑 智希	消化器外科一	門脈再建後の門脈狭窄・閉塞・血栓への対処法	臨床外科	69	824-827	2014
65	江畑 智希	消化器外科一	胆道癌取り扱い規約における肝門部“領域”胆管癌の提唱	日本外科学会雑誌	115	201-205	2014
66	江畑 智希	消化器外科一	進行肝門部領域胆管癌に対する血管合併切除の現状	癌と化学療法	41	1212-1215	2014
67	横山幸浩	消化器外科一	常在細菌叢が操るヒトの健康と疾患 高度外科侵襲手術における周術期シンバイオティクス投与の有用性	実験医学	124	762-7	2014
68	横山幸浩	消化器外科一	肝切除後のNF-κB活性亢進に伴う肝再生促進機序	肝胆膵	68	555-62	2014
69	菅原元	消化器外科一	肝門部胆管癌と鑑別が困難であった肝門部良性胆管狭窄例の検討	胆と膵	35	263-268	2014
70	菅原元	消化器外科一	胆道再建を伴う肝切除術後の肝膿瘍	肝胆膵	69	99-104	2014

71	菅原元	消化器外科一	肝切除術後の輸液・栄養療法	がん患者の輸液・栄養療法		255-265	2014
72	菅原元	消化器外科一	胆道がん	がん栄養管理完全ガイド		286-296	2014
73	菅原元	消化器外科一	肝不全	臨床外科	69	226-229	2014
74	菅原元	消化器外科一	胆管癌	消化器病診療		227-230	2014
75	上原 圭介	消化器外科一	ガイドラインの背景と最新のトピック 大腸癌外科手術における臨床試験の意義(解説)	日本癌治療学会誌	48	503-506	2013
76	上原圭介	消化器外科一	直腸癌局所再発に対する外科的アプローチの要点	臨床外科	69	1180-1186	2014
77	菅原 元	消化器外科一	胆道癌外科切除ー再発防止のストラテジーー 肝動脈合併切除によるR0切除	臨床外科	70	53-57	2015
78	江畑智希	消化器外科一	進展度に応じた胆嚢癌の治療戦略 進行胆嚢癌に対する肝葉切除の適応と限界	胆と膵	36	61-65	2015
79	水野隆史	消化器外科一	IV章 肝・胆・膵疾患 A. 肝 17. 胆管細胞癌 (肝内胆管癌)	消化器疾患最新の治療 (南江堂)		371-374	2015
80	江畑智希	消化器外科一	生検材料を手術に活かす 臓器別癌診療における生検の役割 胆道癌	臨床外科	70	310-315	2015
81	菅原 元	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 治療 治療のアルゴリズム	日本臨床	73	644-648	2015
82	横山幸浩	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 外科的切除 肝門部胆管癌	日本臨床	73	649-653	2015
83	江畑智希	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 外科的切除 中下部 (遠位) 胆管癌	日本臨床	73	654-659	2015

84	伊神 剛	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 外科的切除 肝内胆管癌	日本臨床	73	660-663	2015
85	山口淳平	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 予後 胆管癌の治療成績（日本と欧米の比較）	日本臨床	73	689-691	2015
86	水野隆史	消化器外科一	膵癌・胆道癌 ー基礎と臨床の最新研究動向ー 予後 長期生存に関わる予後因子	日本臨床	73	692-696	2015
87	江畑智希	消化器外科一	手術の基本手技 I. 開腹手術編 肝内胆管空腸吻合	消化器外科	38	335-341	2015
88	水野隆史	消化器外科一	進行膵・胆道癌における血管合併切除の諸問題 肝門部領域癌における門脈・肝動脈浸潤例の切除戦略	胆と膵	36	225-231	2015
89	伊神 剛	消化器外科一	II. 胆道がん診療と化学療法 1. 治療の進め方と適応症例 2) 胆道がんの外科手術	膵がん・胆道がん診療と化学療法(ウヰンメディカル)		84-87	2015
90	小倉靖弘	移植外科	Regional organ procurementを用いて円滑に施行しえた脳死肝移植の1例	移植	49・6	428-31	2014
91	Nishida Y	整形外科	EMMPRIN co-expressed with matrix metalloproteinases predicts poor prognosis in patients with osteosarcoma.	Tumour Biol.	35(6)	5159-65	2014
92	Nishida Y	整形外科	Residual tumor after unplanned excision reflects clinical aggressiveness for soft tissue sarcomas	Tumor Biology	35(8)	8043-9.	2014
93	Ikuta K	整形外科	Hyaluronan expression as a significant prognostic factor in patients with malignant peripheral nerve sheath tumors.	Clin Exp Metastasis.	31(6)	715-25.	2014
94	Tsukushi S	整形外科	Prognostic significance of histological invasion in high grade soft tissue sarcomas.	Springerplus.	22;3:	544	2014
95	Urakawa H	整形外科	Neoadjuvant and adjuvant chemotherapy with doxorubicin and ifosfamide for bone sarcomas in adult and older patients.	Oncol Lett.	8(6)	2485-2488.	2014



96	Naoki Ishiguro	整形外科	Long-term efficacy and safety of certolizumab pegol in Japanese rheumatoid arthritis patients who could not receive methotrexate: 52-week results from an open-label extension of the HIKARI study.	Mod Rheumatol.	24(5)	725-33	2014
97	Naoki Ishiguro	整形外科	Long-term efficacy and safety of certolizumab pegol in Japanese rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to methotrexate: 52-week results from an open-label extension of the J-RAPID study.	Mod Rheumatol.	24(5)	734-43	2014
98	Naoki Ishiguro	整形外科	Early response to certolizumab pegol predicts long-term outcomes in patients with active rheumatoid arthritis: results from the Japanese studies.	Mod Rheumatol.	25(1)	11-20	2015
99	Naoki Ishiguro	整形外科	Efficacy and safety of certolizumab pegol without methotrexate co-administration in Japanese patients with active rheumatoid arthritis: the HIKARI randomized, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol.	24(4)	552-60	2014
100	Naoki Ishiguro	整形外科	Efficacy and safety of certolizumab pegol plus methotrexate in Japanese rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to methotrexate: the J-RAPID randomized, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol.	24(5)	715-24	2014
101	Naoki Ishiguro	整形外科	Safety and effectiveness of adalimumab in Japanese rheumatoid arthritis patients: postmarketing surveillance report of 7740 patients.	Mod Rheumatol.	24(3)	390-8	2014
102	Naoki Ishiguro	整形外科	Recovery of clinical but not radiographic outcomes by the delayed addition of adalimumab to methotrexate-treated Japanese patients with early rheumatoid arthritis: 52-week results of the HOPEFUL-1 trial.	Rheumatology (Oxford)	53(5)	904-13	2014
103	Naoki Ishiguro	整形外科	Obstacles to the implementation of the treat-to-target strategy for rheumatoid arthritis in clinical practice in Japan.	Mod Rheumatol.	25(1)	43-9	2015

104	Imagama Shiro	整形外科	Primary cauda equina lymphoma: case report and literature review.	Nagoya J Med Sci	76	349-54	2014
105	Shiro Imagama	整形外科	Waist circumference is associated with locomotive syndrome in elderly females.	J Orthop Sci	19	612-9	2014
106	Kitoh Hiroshi	整形外科	C-type natriuretic Peptide plasma levels are elevated in subjects with achondroplasia, hypochondroplasia, and thanatophoric dysplasia.	J Clin Endocrinol Metab	100(2)	E355-9	2015
107	Kitoh Hiroshi	整形外科	Factors associated with an unfavourable outcome after Salter innominate osteotomy in patients with unilateral developmental dysplasia of the hip: Does occult dysplasia of the contralateral hip affect the outcome?	Bone Joint J	96-B	1419-1423	2014
108	Kitoh Hiroshi	整形外科	Mutations in PCYT1A, encoding a key regulator of phosphatidylcholine metabolism, cause spondylometaphyseal dysplasia with cone-rod dystrophy.	Am J Hum Genet	94	105-112	2014
109	Kitoh Hiroshi	整形外科	Biodistribution of locally or systemically transplanted osteoblast-like cells.	Bone Joint Res	3(3)	76-81	2014
110	Takahashi Nobunori	整形外科	Clinical efficacy of abatacept, tocilizumab, and etanercept in Japanese rheumatoid arthritis patients with inadequate response to anti-TNF monoclonal antibodies.	Clin Rheumatol	33	1247-54	2014
111	Kojima Toshihisa	整形外科	Alexithymia, depression, inflammation, and pain in patients with rheumatoid arthritis.	Arthritis Care Res (Hoboken)	66	679-86	2014
112	Takahashi Nobunori	整形外科	Longterm retention rate and risk factor for discontinuation due to insufficient efficacy and adverse events in Japanese patients with rheumatoid arthritis receiving etanercept therapy.	J Rheumatol.	41	1583-9	2014

113	Takahashi Nobunori	整形外科	Comparable efficacy and safety between tacrolimus and methotrexate in combination with abatacept in patients with rheumatoid arthritis; a retrospective observational study in the TBC Registry.	Mod Rheumatol		1-19	2015
114	生田国大	整形外科	ヒト悪性末梢神経鞘腫瘍細胞に対するヒアルロン酸合成阻害剤の抗腫瘍効果	日本レックリングハウゼン病学会雑誌	5巻1号	69-71	2014. 04
115	石黒直樹	整形外科学	関節リウマチ治療に用いる生物学的製剤の速効性について 抗IL-6受容体制剤と抗TNF製剤の比較.	リウマチ科	52(1)	110-118	2014
116	関泰輔	整形外科	股関節疾患患者に対する疼痛評価の医師患者間比較“股関節痛なし”は本当か?	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57(1)	39-40	2014
117	関泰輔	整形外科	股関節疾患評価質問票 (JHEQ) の信頼性と妥当性の解析	Hip Joint	40	49-52	2014
118	関泰輔	整形外科	強直性脊椎炎に対する人工股関節置換術の臨床成績とADL障害の検討	日本人工関節学会誌	44	733-734	2014
119	池内一磨	整形外科	手術方法の違いによる同種骨の使用状況	日本人工関節学会誌	44	421-423	2014
120	天野貴文	整形外科	低身長に対する偏心性寛骨臼回転骨切り術	関節外科	33(4)	130-107	2014
121	天野貴文	整形外科	偏心性寛骨臼回転骨切り術の技術教育	Hip Joint	40	174-178	2014
122	天野貴文	整形外科	人工関節は骨切り術よりも低侵襲か?	日本人工関節学会誌	44	769-770	2014
123	小松大悟	整形外科	寛骨臼骨切り術不成功例の検討	Hip Joint	40	850-853	2014
124	宮本健太郎	整形外科	ロッキングプレート術後の骨片再転位に対して再固定を行った上腕骨近位端骨折の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57(3)	567-568	2014
125	土谷早穂	整形外科	上腕骨髄内釘挿入部に生じた腱板断裂に対して関節鏡視下腱板修復術を施行した1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57(3)	569-570	2014

126	酒井忠博	整形外科	多血小板血漿ゲルを担体とした自家培養軟骨細胞移植術後のスポーツ復帰について	日本整形外科学会雑誌	34(2)	139-142	2014
127	高松晃	整形外科	腱板断裂に伴う上腕二頭筋長頭腱損傷に対する治療成績	JOSKAS	39(3)	588-592	2014
128	高松晃	整形外科	前十字靭帯二重束再建術における大腿骨骨孔位置が膝前方制動性に及ぼす影響	JOSKAS	39(3)	856-860	2014
129	平岩秀樹	整形外科	後十字靭帯二重束再建術における脛骨骨孔作成の指標についての検討	JOSKAS	39(3)	891-895	2014
130	平岩秀樹	整形外科	当院における膝蓋骨脱臼に対するRoux-Goldthwait変法の治療成績	JOSKAS	39(3)	908-913	2014
131	濱田恭	整形外科	大腿骨内反変形を有する変形性膝関節症に対して、一時的に大腿骨顆上部矯正骨切り術を併用し人工膝関節置換術を施行した2例	日本人工関節学会誌	44	621	2014
132	飛田 哲朗	整形外科	高齢者介護施設における骨粗鬆症とサルコペニアの実態	Osteoporosis Japan	22	261	2014
133	八木 秀樹	整形外科	特発性脊髄ヘルニアに対する手術治療 麻痺の様式による違い	中部日本整形外科学会災害外科学会雑誌	57	781-782	2014
134	飛田 哲朗	整形外科	Non-dysraphic type 頸髄脂肪腫の治療法 後方除圧と硬膜形成術の併用による間接的除圧法 (原著論文/症例報告) Author : Source :	東海脊椎外科	28	14-18	2014
135	今釜 史郎	整形外科	胃食道逆流症 (GERD) と脊柱後弯症、背筋力の関連	Bone Joint Nerve	17	273-278	2015
136	今釜 史郎	整形外科	骨粗鬆症に伴う脊柱アライメントの変化と中高齢者のQOL	Osteoporosis Japan	22	115-116	2014
137	今釜 史郎	整形外科	骨粗鬆症、慢性腰痛を伴う中高齢者のQOL向上に対する筋力訓練の効果	Osteoporosis Japan	23	67-68	2015
138	安藤 圭	整形外科	硬膜内髄外腫瘍の自然経過	J. Spine. Res	6	161-165	2015
139	三島 健一	整形外科	骨形成促進効果を有する既存薬の同定とその臨床応用の可能性	日本小児整形外科学会雑誌	22(2)	374-378	2014

140	三島 健一	整形外科	進行性骨化性線維異形成症におけるレントゲン学的診断指針.	第25回日本整形外科学会骨系統疾患研究会記録集	21	24	2014
141	三島 健一	整形外科	腓骨列形成不全症 9 例に対する骨延長術の治療成績.	日本創外固定・骨延長学会雑誌	26	193-197	2015
142	平田仁	手の外科	トリアムシノロンの腱鞘内注射はばね指の根治的治療となりえているか?	日本手外科学会雑誌	30	976	2014
143	岩月克之	手の外科	Interactive teletriageを利用した名古屋市における重度手指外傷患者に対する救急搬送円滑化の試み	日本手外科学会雑誌	30	963	2014
144	倉橋俊和	手の外科	CRPSにおける運動障害発生のメカニズム	末梢神経	25	13	2014
145	西塚隆伸	手の外科	新規生体吸収材料としてのPHA	整形外科・災害外科	57	1723	2014
146	平田仁	手の外科	血行再建を要した手掌部尺骨動脈瘤の1例	日本マイクロサージャリー学会雑誌	27	139	2014
147	山本美知郎	手の外科	陳旧性肘関節脱臼骨折の1例	日本肘関節学会誌	21	62	2014
148	平田仁	手の外科	末梢神経障害による難治性肩・肘機能障害に対する再建術	末梢神経	25	185	2014
149	平田仁	手の外科	成人肘頭骨折のCT評価 -肘頭骨片の形状について-	日本手外科学会雑誌	31	420	2014
150	Kikkawa F	産婦人科	Direct exposure of non-equilibrium atmospheric pressure plasma confers simultaneous oxidative and ultraviolet modifications in biomolecules.	J Clin Biochem Nutr	55(3)	207-215	2014
151	Kajiyama H	産婦人科	Effectiveness of plasma treatment on gastric cancer cells.	Gastric Cancer.		635-43	2014
152	Kajiyama H	産婦人科	Perspective of strategic plasma therapy in patients with epithelial ovarian cancer: A short review of plasma in cancer treatment.	Jpn. J. Appl. Phys.	53(5S1)	05FA05	2014
153	Kajiyama H	産婦人科	Expression of the miR200 Family of microRNAs in Mesothelial Cells Suppresses the Dissemination of Ovarian Cancer Cells.	Mol Cancer Ther.	13(8)	2081-2091	2014

154	Kajiyama H	産婦人科	Clinicopathologic features of epithelial ovarian carcinoma in younger vs. older patients: analysis in Japanese women	J Gynecol Oncol.	25(2)	118-123	2014
155	Kajiyama H	産婦人科	Possible association between stem-like hallmark and radioresistance in human cervical carcinoma cells.	J Obstet Gynaecol Res.	40 (5)	1389-1398	2014
156	Kikkawa F	産婦人科	Mutational analysis of FOXL2 p.C134W and expression of bone morphogenetic protein 2 in Japanese patients with granulosa cell tumor of ovary.	J Obstet Gynaecol Res.	40 (5)	1197-1204	2014
157	Suzuki S	産婦人科	Case of paraneoplastic retinopathy with retinal ON-bipolar cell dysfunction and subsequent resolution of ERGs.	Doc Ophthalmol.	130(1)	71-76	2014
158	Yamamoto E	産婦人科	Expression of chromobox homolog 7 (CBX7) is associated with poor prognosis in ovarian clear cell adenocarcinoma via TRAIL-induced apoptotic pathway regulation.	Int J Cancer.	15;135(2)	308-318	2014
159	Kikkawa F	産婦人科	Suppression of REV7 enhances cisplatin sensitivity in ovarian clear cell carcinoma cells.	Cancer Sci	105(5)	545-552	2014
160	Iwase A	産婦人科	Mitochondrial membrane potential in 2-cell stage embryos correlate with the success of preimplantation development.	Reproduction.	147(5)	627-638	2014
161	Iwase A	産婦人科	Anti-Müllerian hormone as a possible predictor of fecundability in subfertile women over 38 years: a retrospective control study.	Gynecol Endocrinol.	17	1-4	2014
162	Kotani T	産婦人科	Catalytic ferrous iron in amniotic fluid as a predictive marker of human maternal-fetal disorders.	J Clin Biochem Nutr	56	57-63	2015
163	岩瀬明	産婦人科	POI患者における血清中甲状腺自己抗体に関する検討	日本内分泌学会雑誌	90	78-80	2014
164	岩瀬明	産婦人科	子宮留血腫となった交通性副角子宮および内膜症を伴った副角側の卵管を腹腔鏡下に切除した一例	東海産婦人科学会雑誌	51	175-180	2015

165	岩瀬明	産婦人科	術前に骨盤放線菌症が疑われ手術で虫垂炎と診断された一例	東海産婦人科学会雑誌	51	151-155	2015
166	Terasaki H	眼科	Macular Electroretinogram in Stargardt's Disease/Fundus Flavimaculatus.	Ophthalmologica	233(2)	113-114	2015
167	Terasaki H	眼科	VIEW 2 Investigators. Efficacy and safety of intravitreal aflibercept injection in wet age-related macular degeneration: outcomes in the Japanese subgroup of the VIEW 2 study.	Br J Ophthalmol.	99(1)	92-97	2015
168	Kaneko H	眼科	IL-18 is not therapeutic for neovascular age-related macular degeneration.	Nat Med.	20(12)	1372-1375	2014
169	Ueno S	眼科	Changes in outer retinal microstructures during six month period in eyes with acute zonal occult outer retinopathy-complex.	PLoS One.	9(10)	e110592	2014
170	Ueno S	眼科	The first USH2A mutation analysis of Japanese autosomal recessive retinitis pigmentosa patients: a totally different mutation profile with the lack of frequent mutations found in Caucasian patients.	J Hum Genet.	59(9)	521-528	2014
171	Terasaki H	眼科	GALILEO Study Group Intravitreal aflibercept for macular edema secondary to central retinal vein occlusion: 18-month results of the phase 3 GALILEO study.	Am J Ophthalmol.	158(5)	1032-1038	2014
172	Terasaki H	眼科	Intravitreal aflibercept for diabetic macular edema.	Ophthalmology.	121(11)	2247-2254	2014
173	Kaneko H	眼科	Histamine H4 receptor as a new therapeutic target for choroidal neovascularization in age-related macular degeneration.	Br J Pharmacol.	171(15)	3754-3763	2014
174	Iguchi Y	眼科	Changes in vitreous temperature during intravitreal surgery.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	55(4)	2344-2349	2014
175	寺崎浩子.	眼科	新薬紹介(No. 41) ドライアイ治療薬(ムチン産生促進薬) レバミピド	日本医師会雑誌	143(2)	356-357	2014

176	寺崎浩子	眼科	内科医に求められる他科の知識 【専門家伝えるDo-Don't】(第2章)眼科 糖尿病網膜症	内科	114(6)	1044-1046	2014
177	寺崎浩子	眼科	【糖尿病の治療の進歩】 糖尿病と合併症の治療の進歩 医療連携の重要性	日本医師会雑誌	143(8)	1637-1649	2014
178	寺崎浩子	眼科	緑内障白内障同時手術後の屈折誤差	臨床眼科	68(12)	1615-1620	2014
179	浅見哲	眼科	【未熟児網膜症:最近の知見】 晩期合併症	眼科	56(6)	713-718	2014
180	浅見哲	眼科	【未熟児網膜症アップデート】 未熟児網膜症 最近の動向と管理の現状と展望	日本の眼科	85(12)	1692-1697	2014
181	兼子裕規	眼科	小切開硝子体手術における術中サンプル収集方法の検討	あたらしい眼科	31(11)	1706-1710	2014
182	木村宏之	精神科	Psychoanalytic psychotherapy for patients with chronic physical diseases	Japanese Journal of Psychoanalytic Psychiatry	in press	in press	in press
183	飯高哲也	精神科	Distant functional connectivity for bimanual finger coordination declines with aging: An fMRI and SEM exploration.	Frontiers in Human Neuroscience	8	251	2014
184	飯高哲也	精神科	Default mode network in young male adults with autism spectrum disorder: relationship with autism spectrum traits	Molecular Autism	5	35	2014
185	飯高哲也	精神科	Social insecurity in relation to orbitofrontal activity in patients with eating disorders: a near-infrared spectroscopy study	BMC Psychiatry	14	173	2014
186	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Synaptic, transcriptional and chromatin genes disrupted in autism	Nature	515(7526)	209-215	2014
187	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Common variants at 1p36 are associated with superior frontal gyrus volume	Transl Psychiatry	4	e472	2014



188	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genetic association study between the detected risk variants based upon type II diabetes GWAS and psychotic disorders in the Japanese population	J Hum Genet	59(1)	54-56	2014
189	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	The Polymorphism of YWHAE, a Gene Encoding 14-3-3Epsilon, and Brain Morphology in Schizophrenia: A Voxel-Based Morphometric Study	PLoS One	9(8)	e103571	2014
190	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Factor structure of the Japanese version of the edinburgh postnatal depression scale in the postpartum period	PLoS One	9(8)	e103941	2014
191	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Replication of enhanced carbonyl stress in a subpopulation of schizophrenia	Psychiatry Clin Neurosci	68(1)	83-84	2014
192	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	The effects of acute treatment with paroxetine, amitriptyline, and placebo on the equilibrium function in healthy subjects: A double-blind crossover trial	Int J Psychiatry Clin Pract	18(1)	32-36	2014
193	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Plasma dehydroepiandrosterone sulfate levels in patients with major depressive disorder correlate with remission during treatment with antidepressants	Hum Psychopharmacol	29(3)	280-286	2014
194	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genome-wide association study identifies a potent locus associated with human opioid sensitivity	Mol Psychiatry	19(1)	55-62	2014
195	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effects of maternal depressive symptomatology during pregnancy and the postpartum period on infant-mother attachment	Psychiatry Clin Neurosci	68(8)	631-639	2014
196	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Replication and cross-phenotype study based upon schizophrenia GWASs data in the Japanese population: Support for association of MHC region with psychosis	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	165(5)	421-427	2014
197	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Reliability and Validity of the New Tanaka B Intelligence Scale Scores: A Group Intelligence Test	PLoS One	9(6)	e100262	2014

198	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Novel rare variants in F-box protein 45 (FBX045) in schizophrenia	Schizophr Res	157(1-3)	149-156	2014
199	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Resequencing and Association Analysis of PTPRA, a Possible Susceptibility Gene for Schizophrenia and Autism Spectrum Disorders	PLoS One	9(11)	e112531	2014
200	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Novel Rare Missense Variations and Risk of Autism Spectrum Disorder: Whole-Exome Sequencing in Two Families with Affected Siblings and a Two-Stage Follow-Up Study in a Japanese Population	PLoS One	10(3)	e0119413	2015
201	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genetic Overlap Between Antipsychotic Response and Susceptibility to Schizophrenia	J Clin Psychopharmacol	35(1)	85-88	2015
202	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Efficacy of aripiprazole augmentation in Japanese patients with major depressive disorder: A subgroup analysis and Montgomery-Asberg Depression Rating Scale and Hamilton Rating Scale for Depression item analyses of the Aripiprazole Depression Multicenter Efficacy study	Psychiatry Clin Neurosci	69(1)	34-42	2015
203	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	The Disrupted-in-Schizophrenia-1 Ser704Cys polymorphism and brain neurodevelopmental markers in schizophrenia and healthy subjects	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	56	11-17	2015
204	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	The Piccolo Intronic Single Nucleotide Polymorphism rs13438494 Regulates Dopamine and Serotonin Uptake and Shows Associations with Dependence-Like Behavior in Genomic Association Study	Curr Mol Med	15(3)	265-274	2015
205	Adachi Y, Kimura H, Sato N, Nagashima W, Nakamura K, Aleksic B, Yoshida K, Fujimoto Y, Nakashima T, Ozaki N	耳鼻咽喉科	Preoperative level of depression is a predictor of postoperative levels of depression in patients with head and neck cancer	Jpn J Clin Oncol	44(4)	311-317	2014

206	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Blonanserin Ameliorates Phencyclidine-Induced Visual-Recognition Memory Deficits: the Complex Mechanism of Blonanserin Action Involving D3-5-HT2A and D1-NMDA Receptors in the mPFC	Neuropsychopharmacology	40(3)	601-613	2015
207	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	ウィルソン病による精神病性障害を呈した1症例	総合病院精神医学	26(4)	404-409	2014
208	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	I 精神疾患 1 統合失調症と双極性障害	図説 分子病態学 改訂5版		293-298	2014
209	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	摂食障害疑いとして紹介受診された食道アラカシアの1例	精神科	24(2)	253-257	2014
210	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	精神科領域における先制医療の将来展望	臨床化学	43(4)	275-283	2014
211	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	特集；自閉症の分子基盤 ゲノム関連の最新のトピックス	分子精神医学	14(2)	112-118	2014
212	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	うつ病、抗うつ薬と自動車運転	最新医学	69(11)	114-118	2014
213	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	エビデンスと臨床 治療ガイドライン作成の経験から	臨床精神医学	43(12)	1769-1776	2014
214	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	DSM-5における双極性障害に関連した変更点と、それをめぐる諸問題について	臨床精神医学	増刊	70-78	2014
215	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	精神科における診断：操作的診断分類を診療に活かす	これだけは知っておきたい 精神科の診かた、考え方		16-20	2014
216	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	双極性障害に関する改訂点の意義を知り、臨床に生かす	心と社会	45(3)	19-25	2014
217	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	双極性障害および関連障害群に関するDSM-5改訂の一般的コンセプト	DSM-5を読み解く		2-10	2014
218	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	産後うつ病研究の現状	CURRENT THERAPY	32(6)	56-60	2014
219	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	病因・病態研究から見たDSM-5～双極性障害とうつ病との分離の背景～	最新精神医学	19(5)	1-8	2014

220	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	VIII-4 パニック障害	診療ガイドラインUP-TO-DATE 2014-2015		471-476	2014
221	木村宏之	精神科	リエゾン精神医学	これだけは知っておきたい 精神科の診かた、考え方		164-166	2014
222	西岡和郎	精神科	プライマリケアにおける精神医学的問題とその対応	これだけは知っておきたい 精神科の診かた、考え方		182-184	2014
223	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	企業における健康診断とストレスチェックの問題点	Depression Frontier	12(1)	80-86	2014
224	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	精神科領域における静脈血栓塞栓症の予防法についての検討	精神科	24(4)	425-430	2014
225	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	社会復帰をふまえたうつ病治療：薬物療法におけるデュロキセチンの位置づけ	デュロキセチンのすべて		161-165	2014
226	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	自閉スペクトラム症の児童に対する応用行動分析に基づく介入	Clinical Neuroscience	33(2)	206-210	2015
227	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	第13章 うつ病と双極性障害	標準精神医学 第6版		321-350	2015
228	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	うつ病, 双極性障害	こどもの病気 遺伝について聞かれたら		144-146	2015
229	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	統合失調症	こどもの病気 遺伝について聞かれたら		147-148	2015
230	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	遺伝と遺伝子研究を正しく理解する	こころの科学	180	87-90	2015
231	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	A novel WTX mutation in a female patient with osteopathia striata with cranial sclerosis and hepatoblastoma	Am J Med Genet A	164A(4)	998-1002	2014
232	Natsume J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	A severity score for acute necrotizing encephalopathy	Brain Dev	37(3)	322-327	2015

233	Natusme J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	A new electroencephalogram classification with reduced recording time in asphyxiated term infants.	Brain Dev	36	372-9	2014
234	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Long-term outcome after immunosuppressive therapy with horse or rabbit antithymocyte globulin and cyclosporine for severe aplastic anemia in children	Haematologica	99(4)	664-671	2014
235	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Dual roles for the telomeric repeats in chromosomally integrated human herpesvirus-6	Sci Rep	4	4559	2014
236	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Simple diagnosis of STAT1 gain-of-function alleles in patients with chronic mucocutaneous candidiasis	J Leukoc Biol	95(4)	667-676	2014
237	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Immunosuppressive therapy with horse anti-thymocyte globulin and cyclosporine as treatment for fulminant aplastic anemia in children	Ann Hematol	93(5)	747-752	2014
238	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Whole-exome sequence analysis of ataxia telangiectasia-like phenotype	J Neurol Sci	340 (1-2)	86-90	2014
239	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Clinical characteristics of 15 children with juvenile myelomonocytic leukaemia who developed blast crisis: MDS Committee of Japanese Society of Paediatric Haematology/Oncology	Br J Haematol	165(5)	682-687	2014
240	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Prognostic impact of gained chromosomes in high-hyperdiploid childhood acute lymphoblastic leukaemia: a collaborative retrospective study of the Tokyo Children's Cancer Study Group and Japan Association of Childhood Leukaemia Study	Br J Haematol	166(2)	295-298	2014
241	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Bloodstream infection after stem cell transplantation in children with idiopathic aplastic anemia	Biol Blood Marrow Transplant	20(8)	1145-1149	2014
242	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Peripheral blood lymphocyte telomere length as a predictor of response to immunosuppressive therapy in childhood aplastic anemia	Haematologica	99(8)	1312-1316	2014

243	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Clinical characteristics and treatment outcome in 65 cases with refractory cytopenia of childhood defined according to the WHO 2008 classification	Br J Haematol	166(5)	758-766	2014
244	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Gene alterations involving the CRLF2-JAK pathway and recurrent gene deletions in Down syndrome-associated acute lymphoblastic leukemia in Japan	Genes Chromosomes Cancer	53(11)	902-910	2014
245	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Clinical course of juvenile myelomonocytic leukemia in the blast crisis phase treated by acute myeloid leukemia-oriented chemotherapy and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	I n t J Hematol	100(5)	502-506	2014
246	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	First-line treatment for severe aplastic anemia in children: bone marrow transplantation from a matched family donor versus immunosuppressive therapy	Haematologica	99(12)	1784-1791	2014
247	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Interaction of the C-Terminal Tail of FlhF with FlhG from the Na <sup>+</sup> -Driven Flagellar Motor of <i>Vibrio alginolyticus</i>	J Bacteriol	197(1)	63-72	2015
248	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Criteria for evaluating response and outcome in clinical trials for children with juvenile myelomonocytic leukemia	Haematologica	100(1)	17-22	2015
249	Takahashi Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Haematopoietic stem cell transplantation for relapsed or refractory anaplastic large cell lymphoma: a study of children and adolescents in Japan	Br J Haematol	168(4)	557-63	2015
250	Takahashi Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Comparison of continuous and twice-daily infusions of cyclosporine A for graft-versus-host-disease prophylaxis in pediatric hematopoietic stem cell transplantation	Pediatr Blood Cancer	62(2)	291-298	2015
251	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	X-linked agammaglobulinemia associated with B-precursor acute lymphoblastic leukemia	J Clin Immunol	35(2)	108-111	2015

252	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Germline mutation of CBL is associated with moyamoya disease in a child with juvenile myelomonocytic leukemia and Noonan syndrome-like disorder	Pediatr Blood Cancer	62(3)	542-544	2015
253	Kojima S	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Loss of function mutations in RPL27 and RPS27 identified by whole-exome sequencing in Diamond-Blackfan anaemia	Br J Haematol	168(6)	854-864	2015
254	Natsume J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Thalamic lesions in acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	Pediatr Neurol.		2014 Nov;51(5):701-5. [PubMed - in process]	2014
255	Ito Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Epstein-Barr virus microRNAs in plasma as potential biomarkers for chronic infections: reply to Makarewicz et al.	J Infect Dis	209 (8)	1298-300	2014
256	Natsume J	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Characteristics of epilepsy occurring in the first four months	Brain Dev	36	752-7	2014
257	Kato T	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Macitentan reverses early obstructive pulmonary vasculopathy in rats: Early intervention in overcoming the survivin-mediated resistance to apoptosis.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol / The American Physiological Society	308(6)	L523-538	2015
258	Ito Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Rare occurrence of JAK3 mutations in NK cell neoplasms in Japan.	Leuk Lymphoma	55(4)	962-3	2015
259	Ito Y	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Anti-CCR4 Monoclonal Antibody Mogamulizumab for the Treatment of EBV-Associated T- and NK-Cell Lymphoproliferative Diseases.	Clin Cancer Res	20(19)	5075-84	2014
260	Kidokoro H	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Differences between periventricular hemorrhagic infarction and periventricular leukomalacia	Brain Dev	36	555-62	2014
261	Ito Y,	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Lack of presence of the human cytomegalovirus in human glioblastoma.	Modern Pathol	27(7)	922-9	2014

262	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	けいれん重積の治療	小児科診療	78	177-181.	2015
263	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	小児中枢神経疾患の脳波モニタリング	麻酔/克誠堂出版	63	S103-105.	2014
264	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	チアミラール、チオペンタールの使い方と注意点	小児内科/東京医学社	9	1187-1189.	2014
265	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	熱性けいれん	ナーシング・グラフィカ 小児看護学3 小児の疾患と介護/メディカ出版		222-223.	2014
266	夏目淳	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	熱性けいれん	てんかん専門医ガイドブック/診断と治療社		200-203.	2014
267	夏目淳, 浜野晋一郎	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	熱性けいれん診療ガイドライン策定委員会: 委員会案とパブリックコメント	脳と発達	47	131-134	2015
268	夏目淳, 伊予田邦昭, 金村英秋, 久保田雅也, 田辺卓也, 新島新一, 浜野晋一郎, 三牧正和, 吉永治美, 小島原典子	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	熱性けいれん診療ガイドライン2015	診断と治療社			2015
269	川田潤一, 木村宏	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	新生児ヘルペス感染症	日本医師会雑誌	143 (2)	250-252	2014
270	伊藤美春, 早川昌弘	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	NO吸入療法離脱時に肺血管拡張薬の併用をどうするか?	周産期医学/東京医学社	45巻3号	340-342	2015
271	城所博之, 伊藤祐史, 奥村彰久	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	脳波	周産期医学	44	813-818	2014



272	加藤太一	健康社会医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	冠動脈正常例を適切に管理する	小児科診療/診断と治療社	78(3)	391-6	2015
273	Sugiura K	皮膚科	Founder mutation in dystonin-e underlying autosomal recessive epidermolysis bullosa simplex in Kuwait.	Br J Dermatol	172(2)	527-531	2015
274	Muro Y	皮膚科	Establishment of an ELISA to detect anti-glycyl-tRNA synthetase antibody (anti-EJ), a serological marker of dermatomyositis/polymyositis and interstitial lung disease.	Clin Chim Acta	431C	9-14	2014
275	Yokota K	皮膚科	Proposed classification of longitudinal melanonychia based on clinical and dermoscopic criteria.	Int J Dermatol	53(5)	581-5	2014
276	Sugiura K	皮膚科	A case of Björnstad syndrome caused by novel compound heterozygous mutations in the BCS1L gene.	Br J Dermatol	170(4)	970-973	2014
277	Yokota K	皮膚科	Spindle cell carcinoma of the breast in a patient with neurofibromatosis type 1.	Eur J Dermatol	24(3)	397-8	2014
278	Akiyama M	皮膚科	Epithelial inflammation resulting from an inherited loss-of-function mutation in EGFR.	J Invest Dermatol	134(10)	2570-8	2014
279	Akiyama M	皮膚科	A new filaggrin gene mutation in a Korean patient with ichthyosis vulgaris.	Eur J Dermatol	24(4)	491-493	2014
280	Sugiura K	皮膚科	Highly prevalent SERPINB7 founder mutation causes pseudodominant inheritance pattern in Nagashima-type palmoplantar keratosis.	Br J Dermatol	171(4)	847-853	2014
281	Kono M	皮膚科	Urticaria pigmentosa complicated with esophageal eosinophilia.	J Am Acad Dermatol	71(5)	e207-8	2014
282	Akiyama M	皮膚科	Primary mucinous carcinoma of the skin on the breast with lymph node metastasis.	J Dermatol	41(8)	760-761	2014

283	Muro Y	皮膚科	Hydroxyurea-induced amyopathic dermatomyositis presenting with heliotrope erythema.	Dermatol Online J	20(8)	pii: 13030/qt2r11f768	2014
284	Akiyama M	皮膚科	Mutations in GRHL2 result in an autosomal-recessive ectodermal Dysplasia syndrome.	Am J Hum Genet	95(3)	308-14	2014
285	Sugiura K	皮膚科	Pustular psoriasis occurring after total colectomy for ulcerative colitis and relieved by administration of infliximab.	J Dermatol	41(11)	1033-1034	2014
286	Ogawa Y	皮膚科	A palindromic motif in the -2084 to -2078 upstream region is essential for ABCA12 promoter function in cultured human keratinocytes.	Sci Rep		4 6737	2014
287	Akiyama M	皮膚科	Whole-exome sequencing improves mutation detection in a diagnostic epidermolysis bullosa laboratory.	Br J Dermatol	172(1)	94-100	2015
288	安達明子	皮膚科	【皮膚付属器腫瘍】 頭頂部の Vascular Eccrine Spiradenoma の1例	皮膚科の臨床	56(6)	835-837	2014
289	安達明子	皮膚科	抗BP180抗体が著明に高値で一時的に血漿交換療法が奏効した水疱性類天疱瘡の1例	臨床皮膚科	69(3)	203-207	2015
290	T. Yamamoto, M. Gotoh	Urology	Augmentation of regenerative potential of mesenchymal stem cells by granulocyte-colony stimulating factor(G-CSF) induced mobilization	J Stem Cell Res.	1(2)	1006	2014
291	Y. Funahashi, N. Sassa, T. Fujita, M. Gotoh	Urology	Prediction of partial nephrectomy outcomes by using the diameter-axis-polar nephrostomy score	Int. J. Urol.		21 442-446	2014
292	T. Yamamoto, M. Gotoh	Urology	Potential role of transient receptor potential (TRP) channels in bladder cancer cells	J Physiol Sci.	64(4)	305-314	2014
293	M. Gotoh	Urology	Phase III, randomized, double-blind, placebo-controlled study of the $\beta$ 3-adrenoceptor agonist mirabegron, 50 mg once daily, in Japanese patients with overactive bladder	BJU Int.	113(6)	951-960	2014

294	N. Sassa, M. Kato, Y. Funahashi, M. Gotoh	Urology	Efficacy of pre-surgical axitinib for shrinkage of inferior vena cava thrombus in a patient with advanced renal cell carcinoma	Jpn J Clin Oncol	44(4)	370-373	2014
295	Y. Funahashi, M. Gotoh	Urology	Upregulation of androgen-responsive genes and transforming growth factor- $\beta$ 1 cascade genes in a rat model of non-bacterial prostatic inflammation	Prostate	74(4)	337-345	2014
296	Y. Funahashi, T. Yamamoto, M. Gotoh	Urology	Intravesical application of rebamipide promotes urothelial healing in a rat cystitis model	J Urol.	192(6)	1864-1870	2014
297	Y. Funahashi, M. Kato, Y. Yoshino, T. Fujita, N. Sassa, M. Gotoh	Urology	Comparison of renal ischemic damage during laparoscopic partial nephrectomy with artery-vein and artery-only clamping	J. Endourol.	28	306-311	2014
298	佐々直人	泌尿器科	浸潤性腎盂癌に対する腹腔鏡下尿管全摘除術	Jap. J. Endourol	27	251-257	2014
299	藤田高史	泌尿器科	7cmを超える腎癌に対する鏡視下腎摘除術の検討	Jap. J. Endourol	27	128-131	2014
300	吉田忠雄	耳鼻咽喉科	中耳真珠腫初回手術例の検討	Otology Japan	24(3)	227-232	2014
301	藤本保志	耳鼻咽喉科	頭頸部癌再建後の長期的観察から学ぶ当院における下咽頭癌に対する遊離空腸移植症例の検討	頭頸部癌	40(1)	1-4	2014
302	長縄慎二	放射線科/放射線部	Ability of 18-fludeoxyglucose positron emission tomography/CT to detect incidental cancer	Br J Radiol.	87	1042	2014
303	長縄慎二	放射線科/放射線部	Prognostic value of 18F-fluorodeoxyglucose uptake before treatment for pharyngeal cancer.	Ann Nucl Med.	28(4)	356-362	2014
304	岩野信吾	放射線科/放射線部	Therapeutic surgery without a definitive diagnosis can be an option in selected patients with suspected lung cancer	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery	19(5)	830-837	2014

305	長縄慎二	放射線科/放射線部	Evaluation of Emphysema Using Three-Dimensional Computed Tomography: Association with Postoperative Complications in Lung Cancer Patients.	Nagoya J. Med. Sci.	77(1-2)	113-122	2015
306	二橋尚志	放射線科/放射線部	MRI and FDG-PET for Assessment of Response to Neoadjuvant Chemotherapy in Locally Advanced Rectal Cancer	Ann Surg Oncol.	21(6)	1801-1808	2014
307	岡田 徹	放射線科/放射線部	A phase I dose escalation study of oxaliplatin plus oral S-1 and pelvic radiation in patients with locally advanced rectal cancer	Radiation Oncology	10	24	2015
308	加茂前 健	放射線科/放射線部	Quality Assurance for Respiratory-Gated Radiotherapy Using the Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy System	International Journal of Medical Physics, Clinical Engineering and Radiation Oncology	3	125-132	2014
309	久保田誠司	放射線科/放射線部	Primary CNS lymphoma treated with radiotherapy in Japan: a survey of patients treated in 2005-2009 and a comparison with those treated in 1985-2004.	Int J Clin Oncol.	19(5)	963-971	2014
310	川村麻里子	放射線科/放射線部	Basaloid squamous cell carcinoma in the nasal cavity treated with proton beam therapy concurrent with cisplatin: a case report	Journal of Medical Case Reports	8	123	2014
311	川村麻里子	放射線科/放射線部	Utility of an initial adaptive bladder volume control with ultrasonography for proton-beam irradiation for prostate cancer.	Japanese journal of radiology,	32(10)	618-622	2014
312	長縄慎二	放射線科/放射線部	内耳—3D-FLAIR法がもたらした新たな潮流	INNERVISION	29(5)	49-51	2014
313	長縄慎二	放射線科/放射線部	画像診断装置の普及がもたらす病院・医療への有用性と今後の課題	月間新医療データブック・シリーズ 医療機器システム白書		18-21	2014
314	長縄慎二	放射線科/放射線部	臨床の立場から見たISMRM2014のトピックス	INNERVISION	29(9)	67-69	2014

315	長縄慎二	放射線科/放射線部	私を変えたこの論文【14】	臨床画像	30(10)	1158-1161	2014
316	長縄慎二	放射線科/放射線部	日常診療にすぐに役立つCT/MRIの基礎と活用法-中枢神経系疾患-序論	日獨医報	59(2)	4	2014
317	長縄慎二	放射線科/放射線部	7テスラMRIについて	健康文化	49	71-74	2014
318	長縄慎二	放射線科/放射線部	内耳の造影MRIによる内リンパ水腫画像-その撮像と評価について、いま放射線科医が知っておくべきこと-	画像診断	35(2)	278-289	2015
319	岩野信吾	放射線科/放射線部	仮想3Dマージン法による早期肺癌区域切除術シミュレーションの臨床応用	INNERVISION	29(11)	58	2014
320	佐竹弘子	放射線科/放射線部	デジタルマンモグラフィの現状と展望フォトンカウンティング技術の仕組みと特徴	INNERVISION	29(8)	25-29	2014
321	鈴木耕次郎	放射線科/放射線部	術前門脈枝塞栓術の実際	外科	76(11)	1260-1264	2014
322	川井 恒	放射線科/放射線部	Quiet Suite 臨床編(2) qPETRA/qRESOLVEの使用経験と有用性	INNERVISION	29(9)	46-47	2014
323	岡田 徹	放射線科/放射線部	2013年 第1回 健康文化振興財団研究助成金交付研究「心臓原発悪性腫瘍に対する革新的治療のプロローグ：重粒子線治療」の中間報告	健康文化	49	122-129	2014
324	伊藤倫太郎	放射線科/放射線部	腫瘍性病変との鑑別が困難であった小児骨髄炎の1例	映像情報 Medical	46(6)	518-519	2014
325	川村麻里子	放射線科/放射線部	粒子線治療の原理と適応	健康文化	49	118-121	2014
326	Maesawa Satoshi	脳神経外科	Intraoperative subcortical mapping of a language-associated deep frontal tract connecting the superior frontal gyrus to Broca's area in the dominant hemisphere of patients with glioma	Journal of Neurosurgery	122(6)	1390-6	2015

327	Maesawa Satoshi	脳神経外科	Clinical use of (11)C-methionine and (18)F-FDG-PET for germinoma in central nervous system	Ann Nucl Med	28(2)	94-102	2014
328	Okamoto Sho	脳神経外科	Biomarker Research for Moyamoya Disease in Cerebrospinal Fluid Using Surface-enhanced Laser Desorption/Ionization Time-of-flight Mass Spectrometry.	J Stroke Cerebrovasc Dis,	24	104-111	2014
329	Nishimura Yusuke	脳神経外科	A morphologically atypical case of atlantoaxial rotatory subluxation	J Korean Neurosurg Soc	55(5)	284-288	2014
330	Maesawa Satoshi	脳神経外科	Treatment of Symptomatic Bilateral Cavernous Carotid Aneurysms: Long-Term Results of Six Cases.	J Stroke Cerebrovasc Dis,	24	1013-1018	2014
331	Natsume Atsushi	脳神経外科	Peptide-based inhibition of the HOXA9/PBX interaction retards the growth of human meningioma	Cancer Chemother. Pharmacol.	73(1)	53-60	2014
332	Wakabayashi Toshihiko	脳神経外科	How to refute inaccurate media and government reports on medicine: what can one doctor do?	Neurol Med Chir (Tokyo)	54 (6)	429-434	2014
333	Matsubara Noriaki	脳神経外科	The 'one and a half round microcatheterization technique' for stent-assisted coil embolization of intracranial aneurysm: technical case series	J Neurointerv Surg.	6(5)	357-362	2014
334	Natsume Atsushi	脳神経外科	Papillary glioneuronal tumor with a high proliferative component and minigemistocytes in a child	Neuropathology	34(5)	484-490	2014
335	Natsume Atsushi	脳神経外科	Anaplastic meningioma with rapid growth after omental flap transposition; a case report and experimental study	Brain Tumor Pathol,	May 8 {Epub ahead of print}	Epub ahead of print	2014
336	Kajita Yasukazu	脳神経外科	Distinct phenotypes of speech and voice disorders in Parkinson's disease after subthalamic nucleus deep brain stimulation	J Neurol Neurosurg Psychiatry	Oct 3, {Epub ahead of print}	Epub ahead of print	2014

337	Natsume Atsushi	脳神経外科	Assessment of tumor cells in a mouse model of diffuse infiltrative glioma by Raman spectroscopy	Biomed Res Ins	Aug 27, {Epub ahead of print}	Epub ahead of print	2014
338	Wakabayashi Toshihiko	脳神経外科	paired related homeobox 1 is associated with the invasive properties of glioblastoma cells	Oncol Rep	33(3)	1123-1130	2015
339	Yoshio Araki	脳神経外科	Operative wound related complications after cranial revascularization surgeries- Statistical analysis and 5 rules for better outcome	Journal of Neurosurgery	in print	in print	2014
340	Wakabayashi Toshihiko	脳神経外科	Adipsia increases risk of death in patients with central diabetes insipidus.	Endocr J.	61	143-8.	2014
341	Fujii Masazumi	脳神経外科	Usability of Unbiased Non-Local Means for De-noising Intraoperative Magnetic Resonance Images in Neurosurgery.	International Journal for Computer Assisted Radiology and Surgery	9	891-903	2014
342	Fujii Masazumi	脳神経外科	Intraoperative subcortical mapping of a language-associated deep frontal tract connecting the superior frontal gyrus to Broca's area in the dominant hemisphere of patients with glioma	Journal of Neurosurgery	in press	in press	2014
343	Maesawa Satoshi	脳神経外科	A case of secondary somatosensory epilepsy with a left deep parietal opercular lesion: successful tumor resection using a transcortical approach via the subcentral gyrus under awake surgery	JOURNAL OF NEUROSURGERY	in press	in press	2014
344	Motomura Kazuya	脳神経外科	Mutational landscape and clonal architecture in grade-II and III gliomas	Nature Genetics	in press	in press	2015
345	Natsume Atsushi	脳神経外科	Olig2 labeling index is correlated with histological and molecular classifications in low-grade diffuse gliomas.	J Neurooncol	120	283-91	2014

346	Natsume Atsushi	脳神経外科	Effectiveness of plasma treatment on gastric cancer cells.	Gastric Cance	in press	in press	2015
347	Natsume Atsushi	脳神経外科	Novel somatic and germline mutations in intracranial germ cell tumours.	Nature	511	241-5	2014
348	Ohka Fumiharu	脳神経外科	Epigenetic dysregulation in glioma.	Cancer Sci	105	363-9	2014
349	Natsume Atsushi	脳神経外科	Blockade of gap junction hemichannel protects secondary spinal cord injury from activated microglia-mediated glutamate excitoneurotoxicity.	J Neurotrauma	31	1967-74	2014
350	Natsume Atsushi	脳神経外科	Preclinical evaluation of an O(6)-methylguanine-DNA methyltransferase-siRNA/liposome complex administered by convection-enhanced delivery to rat and porcine brains.	Am J Transl Res	6	169-78	2014
351	Araki Yoshio	脳神経外科	Usefulness of Tumor Blood Flow Imaging by Intraoperative Indocyanine Green Videoangiography in Hemangioblastoma Surgery.	World Neurosurg	82	e495-501	2014
352	Araki Yoshio	脳神経外科	Incidence of Late Cerebrovascular Events after Direct Bypass among Children with Moyamoya Disease: A Descriptive Longitudinal Study at a Single Center.	Acta Neurochir (Wien)	156	551-559	2014
353	Araki Yoshio	脳神経外科	Operative wound related complications after cranial revascularization surgeries.	J Neurosurg	in press	in press	2014
354	Kajita Yasukazu	脳神経外科	Estimation of regional cerebral blood flow using N-isopropyl-p-123I iodoamphetamine acquisition data from the lungs and brain. An improved non-invasive technique.	Nuklearmedizin	53(6)	221-226	2014
355	若林俊彦	脳神経外科	脳実質内病変に対する生検時の術式選択と工夫	脳神経外科	42(9)	837-840	2014



356	若林俊彦	脳神経外科	重症横紋筋融解症と頭蓋内出血を合併した脱法ハーブ使用者の1例	脳神経外科	42(9)	867-871	2014
357	和田健太郎	脳神経外科	家族性もやもや病に合併したくも膜下出血に対し脳血管内治療を行った1例	脳神経外科	42(11)	1027-1033	2014
358	若林俊彦	脳神経外科	側頭葉内側を主座とするgliomaに対してナビゲーションと術中MRIを用いたsupratentorial-infraoccipital approachが有効であった2例	脳神経外科	43(3)	241-246	2015
359	梶田泰一	脳神経外科	中枢性脳卒中に対するプレガバリン(リリカ)の有効性と安全性	脳神経外科 ジャーナル	24(2)	120-124	2015
360	梶田 泰一	脳神経外科	定位脳手術の歴史	脳神経外科速報	24	133 5-13 41	2014
361	梶田泰一	脳神経外科	本態性振戦症に対するVim DBSの認知・精神症状	機能的脳神経外科	53	83-87	2014
362	荒木芳生	脳神経外科	もやもや病に対するSTA-MCA bypass術における局所脳血流量の定量的評価システムの開発	Surgery for Cerebral Stroke		in print	2014
363	梶田泰一	脳神経外科	頭蓋底手術における3Dバーチャル画像と3Dプリンタにより造形された立体モデルによる手術支援の検討	JJSCAS	15	132-133	2014
364	藤井正純	脳神経外科	脳腫瘍・グリオーマ	ブレインナーシング	30	26-27	2014
365	藤井正純	脳神経外科	脳腫瘍・下垂体腫瘍	ブレインナーシング	30	28-29	2014
366	前澤聡	脳神経外科	fMRI を用いた作業記憶の局在評価—数唱課題の有用性	高次脳機能障害研究	34(2)	226-233	2014
367	前澤聡	脳神経外科	構造を可視化する術中画像支援技術の開発	脳神経外科 ジャーナル	23(11)	854-861	2014
368	夏目敦至	脳神経外科	PyrosequencingによるMGMTメチル化解析	Clinical Neuroscience	in press	in press	2014

369	夏目敦至	脳神経外科	神経線維腫症II型	日本臨床	in press	in press	2014
370	夏目敦至	脳神経外科	脳腫瘍のゲノム解析に基づく新戦略	臨床医のための脳神経外科	in press	in press	2014
371	出口彰一	脳神経外科	神経膠腫におけるエピジェネティクス機構とnon-coding RNAs	医学書院	in press	in press	2014
372	夏目敦至	脳神経外科	神経膠芽腫のプロファイリング	病理と臨床	in press	in press	2014
373	夏目敦至	脳神経外科	グリオーマの摘出	脳神経外科ジャーナル	in press	in press	2014
374	夏目敦至	脳神経外科	脳実質内腫瘍摘出術	脳神経外科プラクティス	in press	in press	2014
375	太田圭祐	脳神経外科	再発難治性慢性硬膜下血腫に対して中硬膜動脈塞栓術の有効性	神経外傷		37 53-56	2014
376	太田圭祐	脳神経外科	福島第一原発事故の教訓を今後に生かすために「浜岡原子力発電所周辺施設の看護師等のアンケート結果を踏まえて」	ナーシング・トゥデイ		29 77-80	2014
377	太田圭祐	脳神経外科	原子力災害による屋内退避区域下での「自主退避指示」―“患者”か“家族”かという究極の選択 福島第一原発事故の教訓を今後に生かすために―浜岡原子力発電所周辺施設の看護師等のアンケート結果を踏まえて	看護		66 96-99	2014
378	灰本章一	脳神経外科	病態に即した椎間孔内・外狭窄に対する治療戦略	脊髄外科		28 201-203	2014
379	Sobue G	Neurology	Confirmatory double-blind, parallel-group, placebo-controlled study of efficacy and safety of edaravone (MCI-186) in amyotrophic lateral sclerosis patients.	Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener.		15(7-8) 610-7	2014
380	Ito M	Neurology	A 3-year cohort study of the natural history of spinocerebellar ataxia type 6 in Japan.	Orphanet J Rare Dis.		9 118	2014
381	Sobue G	Neurology	Identification and characterization of GABA(A) receptor autoantibodies in autoimmune encephalitis.	J Neurosci		34(24) 8151-63	2014
382	Koike H	Neurology	Immunoglobulin g for the treatment of chronic pain: report of an expert workshop.	Pain Med		15(7) 1072-82	2014

383	Sobue G	Neurology	Evaluation of resting state networks in patients with gliomas: connectivity changes in the unaffected side and its relation to cognitive function.	PLoS One	10(2)	e0118072	2015
384	Sobue G	Neurology	Japanese POEMS syndrome with Thalidomide (J-POST) Trial: study protocol for a phase II/III multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial.	BMJ Open	5(1)	e007330	2015
385	Katsuno M	Neurology	Schwann cell involvement in the peripheral neuropathy of spinocerebellar ataxia type 3.	Neuropathol Appl Neurobiol.	40(5)	628-39	2014
386	祖父江元	神経内科	CIDPの診断と治療 診療ガイドラインをめぐって	末梢神経	25巻2号	253-258	2014
387	小池春樹	神経内科	免疫介在性末梢神経障害の診断と治療 免疫性自律神経ニューロパチー	末梢神経	25巻2号	233-237	2014
388	大山健	神経内科	炎症性ニューロパチーの新たな展開 IgG4関連ニューロパチーの臨床と病理	臨床神経学	54巻12号	1047-1049	2014
389	渡辺宏久	神経内科	多系統萎縮症 Update MSAの臨床像と診断基準	臨床神経学	54巻12号	963-965	2014
390	小池春樹	神経内科	免疫介在性ニューロパチー 急性自律性感覚性ニューロパチー	NEUROINFECTION	19巻1号	52-57	2014
391	熱田直樹	神経内科	運動ニューロン疾患の治療の進歩	神経治療学	31巻4号	405-408	2014
392	渡辺宏久	神経内科	CDSをめざして ドパミンアゴニスト貼付薬	日本医事新報	4715号	20-24	2014
393	岡田暁典	神経内科	葉酸欠乏による慢性に進行した痙性対麻痺	脊椎脊髄ジャーナル	27巻8号	773-776	2014
394	熱田直樹	神経内科	痙性対麻痺で初発する筋萎縮性側索硬化症(ALS)	脊椎脊髄ジャーナル	27巻8号	761-766	2014
395	熱田直樹	神経内科	保存療法 運動ニューロン疾患に対する治療法の開発	脊椎脊髄ジャーナル	27巻4号	445-450	2014

396	Kohei Yokoi	呼吸器外科	A Feasibility Study of Induction Pemetrexed Plus Cisplatin Followed by Pleurectomy/Decortication Aimed at Macroscopic Complete Resection for Malignant Pleural Mesothelioma	Japanese Journal of Clinical Oncology	43(5)	575-578	2013
397	碓氷章彦	心臓外科	Postoperative muscle proteolysis affects systemic muscle weakness in patients undergoing cardiac surgery	Int J Cardiol	172(3)	595-7	2014
398	碓氷章彦	心臓外科	Long-term outcome of the carpentier-edwards pericardial valve in the aortic position in Japanese patients	Circ J	78(4)	882-9	2014
399	碓氷章彦	心臓外科	Fibrinogen concentrate administration attributes to significant reductions of blood loss and transfusion requirements in thoracic aneurysm repair	J Cardiothorac Surg	9(1)	50	2014
400	碓氷章彦	心臓外科	Hybrid versus open repair of aortic arch aneurysms: comparison of postoperative and mid-term outcomes with a propensity score-matching analysis	Eur J Cardiothorac Surg	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2015
401	碓氷章彦	心臓外科	Valve Selection for the Aortic Position in Dialysis Patients	Ann Thorac Surg	99(5)	1524-1531	2015
402	碓氷章彦	心臓外科	Impact of Surgical Stroke on the Early and Late Outcomes After Thoracic Aortic Operations	Ann Thorac Surg	99(6)	2017-2023	2015
403	Usui A	心臓外科	Feasibility of neuromuscular electrical stimulation immediately after cardiovascular surgery.	Arch Phys Med Rehabil	96(1)	63-8	2015
404	碓氷章彦	心臓外科	Open HEART パラダイムシフト Open HEART パラダイムシフト	心臓	46(6)	673	2014
405	碓氷章彦	心臓外科	冠状動脈バイパス術後の心臓再手術方法：討論 1	胸部外科	67(6)	438-439	2014
406	阿部知伸	心臓外科	特集：いますぐ役立つ診断・治療でバイス 脳血流モニター	胸部外科	67(8)	623-629	2014
407	八神 啓	心臓外科	乳児期早期に二期的再建を行った右肺動脈近位部欠損症の1治療例	日本心臓血管外科学会雑誌	43(5)	300-304	2014

408	碓氷章彦	心臓外科	第1章 B. 心臓血管外科 弁膜疾患	内科	114(6)	935-938	2014
409	碓氷章彦	心臓外科	書評 痛みの考えかた—しく み・何を・どう効かす 丸山一夫 著	胸部外科	68(1)	69	2015
410	碓氷章彦	心臓外科	植込型補助人工心臓治療	名大病院 かわ らばん	97	4	2015
411	Kamei Y	形成外科	Regenerative treatment of male stress urinary incontinence by periurethral injection of autologous adipose-derived regenerative cells: 1-year outcomes in 11 patients.	Int J Urol.	24.3	294-300	2014
412	鳥山和宏	形成外科	露出部の遊離皮弁移植後の整容 的評価	日本マイクロ サージャリー学 会会誌	26.4	134-139	2014
413	Uchida H	小児外科	Massive hemorrhage after Kasai portoenterostomy in a patient with a congenital extrahepatic portosystemic shunt, malrotation and a double aortic arch: report of a case	Surgery Today	44	1561- 1564	2014
414	Uchida H	小児外科	Urethrosopic holmium: YAG laser ablation for acquired posterior urethral diverticulum after repair of anorectal malformations	Pediatric Surgery International	30	945-949	2014
415	Uchida H	小児外科	Full-thickness small intestine necrosis with midgut volvulus, distributed in patchy fashion, is reversible with moderate blood flow: resumption of normal function to non- viable intestine	Nagoya Journal of Medical Science	76	375-380	2014
416	Uchida H	小児外科	Laparoscopic partial nephrectomy for the treatment of large cystic nephroma in children	Journal of laparoendoscop & advanced surgical techniques. Part A	24	901-906	2014
417	Uchida H	小児外科	Laparoscopic Partial Gastrectomy of a Huge Gastric Duplication Cyst in an Infant	Nagoya J. Med. Sci	77	291-296	2015
418	Uchida H	小児外科	Current practice and outcomes of thoracoscopic esophageal atresia treated with tracheoesophageal fistula repair: A multi- institutional analysis in Japan	J Laparoendosc Adv Surg Tech A	25 (5)	441-444	2015

419	Uchida H	小児外科	The umbilical Benz incision for reduced port surgery in pediatric patients	J Soc Laparoendosc Surg	19 (1)	e2014.00238	2015
420	Uchida H	小児外科	Influence of surgical interventions on the neurodevelopmental outcomes of infants with focal intestinal perforation	Pediatr Int	57	687-689	2015
421	城田千代栄	小児外科	軽症血友病の発見に主眼を置いた術前スクリーニング検査	日本臨床外科学会雑誌	75	1158-1163	2014
422	内田広夫	小児外科	食道閉鎖症に対する胸腔鏡下手術 定型的な手術から新たな手術法の確立へ	現代医学	62	93-99	2014
423	小野靖之	小児外科	膵胆管合流異常・先天性胆道閉鎖症術後 肝門部空腸吻合後胆管炎の頻度・対処法	肝胆膵	69	23-28	2014
424	内田広夫	小児外科	腹部コンパートメント症候群を呈し腎代替療法を要した神経芽腫の1女児例	日本小児腎不全学会雑誌	34	130-132	2014
425	村瀬成彦	小児外科	新生時期に心不全を呈した肺葉内肺分画症に対し胸腔鏡下分画肺切除を施行した1例	日本小児外科学会雑誌	50	946-949	2014
426	横田一樹	小児外科	消化管ホルモンと幽門筋の肥厚	小児外科	46	996-999	2014
427	内田広夫	小児外科	総排泄腔遺残に対する腔造設術 (skin-flap法、pull-through法、腸管間置法)	小児外科	46	459-464	2014
428	内田広夫	小児外科	【直腸肛門奇形術後遠隔期の評価と再手術】遺残瘻孔の嚢胞化に対する再手術	小児外科	46	31-34	2014
429	内田広夫	小児外科	腹腔鏡下脾動静脈温存脾温存膵体尾部切除術	小児外科	46	181-183	2014
430	内田広夫	小児外科	【単孔式内視鏡手術】単孔式虫垂切除術	小児外科	46	247-251	2014
431	内田広夫	小児外科	【単孔式内視鏡手術】精索静脈瘤手術 (Palmo法)	小児外科	46	295-297	2014
432	内田広夫	小児外科	小児精索静脈瘤に対する腹腔鏡下手術 (単孔式手術)	臨床泌尿器科	69(2)	179-185	2015

433	村瀬成彦	小児外科	腹腔内嚢胞と出生前診断され単孔式腹腔鏡補助下に切除した回腸重複症の1例	日本臨床外科学会雑誌	76(3)	511-515	2015
434	佐藤 浩司	病理部	カセット印字機を使用した2次元コードの認識について Micro QR CodeとData Matrix ECC200の比較検討	医学検査	64巻1号	104-109	2015
435	Takeshita K	検査部	Cathepsin K-mediated Notch1 activation contributes to neovascularization in response to hypoxia.	Nat Commun.	Jun 4;5:	3838	2014
436	Takeshita K	検査部	Dexamethasone palmitate ameliorates macrophages-rich graft-versus-host disease by inhibiting macrophage functions.	PLoS One.	May 7;9(5)	e96252	2014
437	Takeshita K	検査部	Impact of serum bilirubin levels on carotid atherosclerosis in patients with coronary artery disease.	IJC Metabolic & Endocrine.	2014;5	24-7.	2014
438	Takeshita K	検査部	Prognostic impact of combined late gadolinium enhancement on cardiovascular magnetic resonance and peak oxygen consumption in ambulatory patients with nonischemic dilated cardiomyopathy.	J Cardiac Fail.	Nov;20(11)	825-32	2014
439	Takeshita K	検査部	Impact of Airflow Limitation on Carotid Atherosclerosis in Coronary Artery Disease Patients.	Respiration.	89(4)	322-8	2015
440	Takeshita K	検査部	Cathepsin S activity controls ischemia-induced neovascularization in mice.	Int J Cardiol.	Mar 15;183	198-208	2015
441	Takeshita K	検査部	Impact of low-grade albuminuria on left ventricular diastolic dysfunction.	IJC Metabolic & Endocrine.	2015;6.	13-16	2015
442	Takeshita K	検査部	Plasminogen activator inhibitor-1 in aging.	Semin Thromb Hemost.	Sep;40(6):	652-9	2014
443	Takeshita K	検査部	Renin inhibition reduces atherosclerotic plaque neovessel formation and regresses advanced atherosclerotic plaques.	Atherosclerosis	Dec;237(2)	739-47	2014
444	Takeshita K	検査部	Indoxyl sulfate-induced activation of (pro)renin receptor promotes cell proliferation and tissue factor expression in vascular smooth muscle cells	PLoS One.	Oct 24;9(10)	e109268	2014

445	Takeshita K, Matsushita T	検査部, 輸血部	Angiotensin II receptor blocker ameliorates stress-induced adipose tissue inflammation and insulin resistance.	PLoS One.	Dec 31;9(12)	e116163	2014
446	Suzuki N, Matsushita T	検査部, 輸血部	Hepatectomy for hepatocellular carcinoma in patients with hemophilia.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	Nov;21(11)	824-8.	2014
447	Matsushita T	輸血部	An antiangiogenic isoform of VEGF-A contributes to impaired vascularization in peripheral artery disease.	Nat Med.	Dec;20(12)	1464-71	2014
448	Matsushita T	輸血部	Post-marketing surveillance data of thrombomodulin alfa: sub-analysis in patients with sepsis-induced disseminated intravascular coagulation.	J Intensive Care.	Apr 30;2(1)	30	2014
449	Matsushita T	輸血部	Recombinant long-acting glycoPEGylated factor IX in hemophilia B: a multinational randomized phase 3 trial.	Blood	Dec 18;124(26)	3880-6.	2014
450	Matsushita T	輸血部	A complex genomic abnormality found in a patient with antithrombin deficiency and autoimmune disease-like symptoms.	Int J Hematol.	Aug;100(2)	200-5	2014
451	Matsushita T	輸血部	A revised method for determination of serum mercaptalbumin and non-mercaptalbumin by high-performance liquid chromatography coupled with postcolumn bromocresol green reaction.	Ann Clin Biochem.	Jan;52(Pt 1)	144-50	2015
452	Matsushita T	輸血部	Recombinant factor VIIa analog in the management of hemophilia with inhibitors: results from a multicenter, randomized, controlled trial of vatreptacog alfa.	J Thromb Haemost.	Aug;12(8):	1244-53.	2014
453	Hayakawa M	総合周産期母子医療センター	Administration of Umbilical Cord Blood Cells Transiently Decreased Hypoxic-Ischemic Brain Injury in Neonatal Rats	Dev Neurosc	in press	in press	in press
454	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	The lung to thorax transverse area ratio has a linear correlation with the observed to expected lung area to head circumference ratio in fetuses with congenital diaphragmatic hernias	J Pediatr Surg	49(8)	1191-6.	2014
455	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	Pneumothoraces as a fatal complication of congenital diaphragmatic hernia in the era of gentle ventilation.	Eur J Pediatr Surg	24(1)	31-8.	2014



456	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	Effect of placenta previa on neonatal respiratory disorders and amniotic lamellar body counts at 36-38weeks of gestation.	Early Hum Dev	90(1)	51-4.	2014
457	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	Prognostic factors of gastroesophageal reflux disease in congenital diaphragmatic hernia: a multicenter study	Pediatr Surg Int	30(1)	1129-34.	2014
458	Hayakawa M.	総合周産期母子医療センター	Outcome of congenital diaphragmatic hernia with indication for Fontan procedure.	Pediatr Int	56(4)	553-8.	2014
459	Sato Y	総合周産期母子医療センター	Effects of intravenous administration of umbilical cord blood CD34 cells in a mouse model of neonatal stroke.	Neuroscience	263C	148-58	2014
460	早川昌弘	総合周産期母子医療センター	Pretermを考える preterm児のCPとlate pretermの諸問題:Preterm児のCP Late preterm児(34~36週)の低酸素性虚血性脳症	周産期学シンポジウム	32	97-101	2014
461	鈴木俊彦, 早川昌弘	総合周産期母子医療センター	【胎児、新生児の脳機能評価】 低体温療法と脳モニタリング 脳波活動、aEEG、脳血流	周産期医学	44	841-844	2014
462	早川昌弘	総合周産期母子医療センター	【小児の治療指針】 新生児 新生児発作.	小児科診療	77巻増刊	940-941	2014
463	早川昌弘	総合周産期母子医療センター	低酸素性虚血性脳症	神経症候群(第2版)		7-10	2014
464	齊藤明子, 早川昌弘	総合周産期母子医療センター	母子感染からみた新生児細菌感染症	周産期医学増刊:周産期感染症2014 / 東京医学社	44	294-296	2014
465	岩間信太郎	総合保健体育科学センター	Development of thyroglobulin antibodies after GVAX immunotherapy is associated with prolonged survival.	Int J Cancer.	136(1)	127-137	2015
466	岩間信太郎	総合保健体育科学センター	Pituitary expression of CTLA-4 mediates hypophysitis secondary to administration of CTLA-4 blocking antibody.	Sci Transl Med.	6(230)	230ra45	2014

467	岩間信太郎	総合保健体育科学センター	Detection of pituitary antibodies by immunofluorescence: approach and results in patients with pituitary diseases.	J Clin Endocrinol Metab.	99(5)	1758-1766	2014
468	濱田洋司	代謝病態学寄附講座	Involvement of de novo ceramide synthesis in pro-inflammatory adipokine secretion and adipocyte-macrophage interaction.	J Nutr Biochem	25(12)	1309-16	2014
469	Kazuhiro Hayashi	リハビリテーション部	The effects of exercise therapy for the improvement of jaw movement and psychological intervention to reduce parafunctional activities on chronic pain in the craniocervical region.	Pain Pract.	14	413-8	2014
470	松井泰行	リハビリテーション部	覚醒下開頭術における高次脳機能温存の試み—優位半球背外側前頭前野に注意機能関連領域を認めた一例	高次脳機能研究	35(1)	p1-8	2015
471	永谷元基	リハビリテーション部	Stroke unitをめぐるエビデンス	総合リハビリテーション	42(3)	199-204	2014
472	林和寛	リハビリテーション部	難治性の慢性痛患者に理学療法が有効であった3症例	ペインクリニック2015	22(1)	57-60	2015
473	Ippei Matsuzaki	病理部	Forward-viewing versus oblique-viewing endoscopes in the diagnosis of upper GI subepithelial lesions with EUS-guided FNA: a prospective, randomized, crossover study	Gastrointestinal endoscopy	82(2):	287-295	2015
474	Tsuyoshi Igami	病理部	Combined Extrahepatic Bile Duct Resection for Locally Advanced Gallbladder carcinoma: Does It Work?	World Journal of Surgwry	Volume 39	1810-1817	2015
475	廣岡芳樹	光学医療診療部	Quantitative analysis of diagnosing pancreatic fibrosis using EUS-elastography (comparison with surgical specimens)	Journal of Gastroenterology	49巻7号	1183-1192	2014
476	廣岡芳樹	光学医療診療部	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 II. Extrapancreatic lesions, differential diagnosis	Journal of Gastroenterology	49巻5号	765-784	2014
477	廣岡芳樹	光学医療診療部	Preliminary study on evaluation of the pancreatic tail observable limit of transabdominal ultrasonography using a position sensor and CT-fusion image.	Eur J Radiol.	83巻8号	1324-1331	2014

478	廣岡芳樹	光学医療診療部	Usefulness and safety of endoscopic retrograde cholangiopancreatography in children with pancreaticobiliary maljunction.	J Pediatr Surg.	50巻3号	377-381	2015
479	安藤雄一	化学療法部	A phase II clinical trial of pegylated liposomal doxorubicin and carboplatin in Japanese patients with platinum-sensitive recurrent ovarian, fallopian tube, or primary peritoneal Cancer.	Jpn J Clin Oncol	45(5)	422-6	2015
480	安藤雄一	化学療法部	The impact of dose/time modification in irinotecan and oxaliplatin based chemotherapies on outcomes in colorectal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol	73(4)	847-55	2014
481	安藤雄一	化学療法部	Postoperative complications following neoadjuvant bevacizumab treatment for advanced colorectal cancer.	Surg Today	44(7)	1300-6	2014
482	安藤雄一	化学療法部	Five-gene hedgehog signature developed as a patient preselection tool for hedgehog inhibitor therapy in medulloblastoma.	Clin Cancer Res	1;21(3)	585-93	2015
483	安藤雄一	化学療法部	Sunitinib-induced severe toxicities in a Japanese patient with the ABCG2 421 AA genotype.	BMC Cancer.	16;14	964	2014
484	安藤雄一	化学療法部	UDPグルクロン酸転移酵素遺伝子診断 (UGT遺伝子診断)	臨床検査データブック2015-2016		780-781	2015
485	下方智也	化学療法部	CKD合併肺がんの薬物療法	『Practical treatment 肺がん』		53-57	2014
486	柴田剛志	化学療法部	. EGFR阻害薬. 薬剤別副作用対策. がん分子標的治療	がん分子標的治療	13号1巻	25-30	2015
487	森田佐知	化学療法部	外来化学療法における地域連携とチーム医療 特集/がん薬物療法の副作用とその対策 (補助・支持療法を含む)	腫瘍内科	15巻3号	263-267	2015
488	満間綾子	化学療法部	新専門医制度と「がん薬物療法専門医」	medicina	52巻3号	440-442	2015

489	加藤有紀子	化学療法部	抗がん薬の薬理学と副作用	日本臨床	73巻増刊号	109-113	2015
490	森田佐知	化学療法部	進行・再発悪性軟部腫瘍に対するパゾパニブ	最新医学	69巻9号	1895-1899	2014
491	本多和典.	化学療法部	論文紹介 (Adaptive desings for dual-agent phase I dose-escalation studies: Nature Review Clinical Oncology 10, 277-288, 2013) .	がん分子標的治療	12巻2号	129-132	2014
492	安藤雄一	化学療法部	IV. 腫瘍 がん疼痛対策. 産婦人科処方ofのすべて - 最新投薬マニュアル	臨床婦人科産科	68巻4号増刊号	226-230	2014
493	Yoko Hibi	薬剤部	Npas4 Regulates Mdm2 and thus Dcx in Experience-Dependent Dendritic Spine Development of Newborn Olfactory Bulb Interneurons.	Cell Reports	8巻・3号	843-857	2014
494	Taku Nagai	薬剤部	Cytoskeletal Regulation by AUTS2 in Neuronal Migration and Neuritogenesis.	Cell Reports	9巻	2166-2179	2014

495	Taku Nagai	薬剤部	Reelin has a preventive effect on phencyclidine-induced cognitive and sensory-motor gating deficits.	Neuroscience Research	96巻	30-36	2015
496	加藤 博史	薬剤部	高度および中等度催吐性プラチナ製剤誘発性消化器症状におけるアプレピタントの有効性	日本緩和医療薬学雑誌	7巻	105-110	2014
497	日比 陽子	薬剤部	病院実務実習において多角的な視点から患者情報を収集し、適切に提供するための実技演習プログラム	薬学雑誌	135巻・3号	507-518	2015
498	長谷川 幸治	下肢関節再建学 寄付講座	高齢者の運動機能の維持向上のための運動プログラムの検討	Bone Joint Nerve	4	513-519	2014
499	堤 ちあき	医療技術部臨床 検査部門	術中Br (E)-MsEPにおける基準波形記録に関する検討	脊髄機能診断学	35巻1号	103-107	2014

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容  倫理委員会業務（利益相反マネジメント、試料等の保管、対応表の管理、有害事象、審査受託、教育等）及び研究者の申請についての手順・方法等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 25 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容  利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容  ・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の施行について ・ ゲノムコホート研究の実務、検体の管理・保存の実務 ・ 当院の倫理審査体制 ・ 研究不正について	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乗せされる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

2 研修の実績

研修医の人数	119人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伴 信太郎	総合診療科	教授	36年	
葛谷 雅文	老年内科	教授	32年	
清井 仁	血液内科	教授	29年	
室原 豊明	循環器内科	教授	30年	
有馬 寛	糖尿病・内分泌内科	教授	27年	
丸山 彰一	腎臓内科	准教授	26年	
勝野 雅央	神経内科	教授	20年	
榑野 正人	消化器外科一	教授	36年	
小寺 泰弘	消化器外科二	教授	30年	
古森 公浩	血管外科	教授	33年	
小倉 靖弘	移植外科	教授	24年	
菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	講師	26年	
碓氷 章彦	心臓外科	教授	34年	
横井 香平	呼吸器外科	教授	37年	
亀井 讓	形成外科	教授	30年	
内田 広夫	小児外科	教授	26年	
西脇 公俊	麻酔科	教授	31年	
小島 勢二	小児科	教授	39年	
吉川 史隆	産科婦人科	教授	34年	
尾崎 紀夫	精神科	教授	33年	
石黒 直樹	整形外科	教授	35年	
寺崎 浩子	眼科	教授	35年	
秋山 真志	皮膚科	教授	29年	
後藤 百万	泌尿器科	教授	35年	
曾根 三千彦	耳鼻いんこう科	准教授	28年	
長縄 慎二	放射線科	教授	28年	
若林 俊彦	脳神経外科	教授	34年	
松田 直之	救急科	教授	22年	
日比 英晴	歯科口腔外科	教授	28年	
中村 栄男	病理部	教授	36年	
八木 哲也	中央感染制御部	教授	27年	
安藤 雄一	化学療法部	教授	25年	
植村 和正	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	教授	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科に

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【看護部】

看護に必要な知識および看護技術の習得、教育・指導、看護倫理、看護研究、看護管理

【栄養管理部】

当院は日本静脈経腸栄養学会よりNST専門療法士の教育施設として認定されており、臨床栄養法のために必要とされる患者との人間関係の確立を基盤とし、栄養学的専門知識を実際の臨床において発揮させるための技能を修得させることに留意した40時間の実地修練研修を行っている。また、看護師、薬剤師、管理栄養士が栄養サポートチーム加算の算定に必要な所定の研修内容を満たしており、栄養障害例の抽出・早期対応（スクリーニング法）、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、経静脈輸液適正調整法の取得、経静脈栄養のプランニングとモニタリング、経腸栄養剤の衛生管理・適正調整法の指導、経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング、簡易懸濁法の実施と有用性の理解、栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応、栄養療法に関する問題点・リスクの抽出、栄養管理についての患者・家族への説明・指導、在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導などが含まれている。

【医療技術部】

トヨタ生産方式をベースにした改善ノウハウとその実例

・研修の期間・実施回数

【看護部】

延べ407時間

【栄養管理部】

研修期間：5日間・40時間（平成26年度：9月12日～9月19日の期間で実施） 実施回数：1回/年

【医療技術部】

平成27年3月6日

・研修の参加人数

【看護部】

看護師及び看護補助者 延べ2920名

【栄養管理部】

8名

【医療技術部】

89名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

先端医療・臨床研究支援センター 人材育成講座「臨床研究セミナー」

医学・臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師も含む）、研究者、大学院生を対象とする。臨床研究に従事する人材の情報交換の場を設け、臨床研究を担う人材の育成を加速することを目的とする。

・研修の期間・実施回数

1日ごとの開催。平成26年度は31回開催（DVDでの上映7回を含む）

・研修の参加人数

3,651人（DVDでの参加者424人を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数



・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 石黒 直樹
管理担当者氏名	副病院長、医療の質・安全管理部長 長尾 能雅 病院長補佐、メディカルITセンター長 白鳥 義宗 薬剤部長 山田 清文 総務課長 仲井 精一 医事課長 金永 博行

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		中央管理 総務課	疾病分類 ICD-10  管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理（一部紙媒体にて保存）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課人事労務G	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課・医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課人事労務G	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
第規 一則 号第 一に 掲条 げの 十一 体一 制第 一の 確項 保各 の号 状及 び 第九 条の 二十 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療の質・安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
	第一項各号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部
	及び第九条	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第二十三項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	体制の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	確保の	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部
	状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技術部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 仲井精一
閲覧担当者氏名	総務課病院事務係長 若山裕司
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要	
病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。	

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## (様式第6)

## 規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理に対する基本的な考え方</li> <li>・ 医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制</li> <li>・ 医療の安全に関する職員計画</li> <li>・ 医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針</li> <li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応及び病院全体の医療の質向上を積極的に図る。これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項</li> <li>・ 医療上の紛争処理に関する事項</li> <li>・ 医療の質向上に関する事項</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 23 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員を対象として「患者安全とチームコミュニケーション」「全職員で取り組む患者安全」「機能評価受審に向けて医療安全の手順確認」などをテーマとした研修を実施</li> <li>・ 新規・中途採用職員について、採用時に「医療安全ポケットマニュアル」「当院のインシデント概要と対策」などをテーマとした研修を実施</li> <li>・ 管理者を対象として「TeamSTEPPS」をテーマにした研修を実施</li> </ul> <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びE-learning受講は除く）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける</li> <li>・ 重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける</li> <li>・ 他職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている</li> <li>・ Structure, Process, Measure, Education, Assessmentの5グループから成る病院質向上推進本部を設置し、業務の質改善に取り組む</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 7 名）
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<p>・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 9 ）名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治療中の不測のトラブル等に対し、病院全体で対応できる治療体制の構築</li> <li>・ 全部門からのインシデント情報の集積と分析、事故予防策の検討</li> </ul>	

- ・医療事故等に対する第三者による客観的事例調査、原因究明と再発防止策の指導
- ・院内の各種安全マニュアル、標準対応指針などの策定、各部門との連携
- ・院内研修、学生教育による安全意識やノンテクニカルスキルの高い医療者の育成、安全文化の醸成

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 院内感染対策のための委員会と組織</li> <li>・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項</li> <li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 14 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。 これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染の予防及び対策等に関する事項</li> <li>・ 患者の取扱いに関する事項</li> <li>・ 医療従事者への感染予防に関する事項</li> <li>・ その他院内感染及び難治感染症対策に関する事項</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 24 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員、清掃業務従事者及び廃棄物運搬・収集業務従事者を対象として「感染対策について」「みんなを守る感染対策の具体例（MRSAも結核も）」「院内感染対策について」「エボラウイルス感染症への対応」などをテーマとした研修を実施</li> <li>・ 病院事務職員を対象として「事務職員のための感染防止対策研修」を実施</li> <li>・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に「針刺し・血液曝露時の対応」などをテーマとした研修を実施</li> </ul> <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びE-learning受講は除く）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施</li> <li>・ MRSA新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、感染対策の強化を図っている</li> <li>・ NICU、MICUとの定期的なミーティング</li> <li>・ 抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング</li> <li>・ 診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入</li> <li>・ 4職種の実務的メンバーによるICTコアミーティングを週1回行い、全病院的に感染対策が漏れなく実施されるよう検討・管理している</li> </ul> </li> </ul>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>全職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修（①麻薬・向精神薬・全身麻酔薬の保管・管理について、危険薬の取り扱いについて、②麻薬取り扱い上の留意点について）を実施した。その他、新任看護師を対象とした研修（薬剤管理、与薬に注意を要する薬剤に関する基本的知識）を実施した。</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・業務の主な内容： 以下の医薬品安全使用のための業務手順書に基づく</p> <p>医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項、危険薬の取り扱い、他施設との連携に関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で収集されたインシデント報告等から業務またはマニュアルを見直している。医薬品に係る適正使用に関する情報や副作用情報を薬事委員会で報告し、かつ必要に応じて薬品情報室からメール、お知らせ、薬剤部のホームページ、電子カルテ等を利用して注意事項等を随時発信している。</p>	



(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年1～2回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>年1～2回の計画で人工呼吸器や除細動器などについて1週間で関係職種に講習会を実施している。また新規機器導入時には、使用する診療科および病棟などで機器の取扱いについて勉強会を実施している。その他、機器の取扱いについて依頼があった場合は、適宜、勉強会を開催している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>保守点検（定期）については年間計画に基づき、臨床工学技術部でシミュレーターを用いて実施している。可能交換部品についてもメーカー講習会を受講し、部品供給を受け実施している。ダヴィンチなどメンテナンス契約を結んでいるものは、機器の空き状況を確認し実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>PMDAや日本臨床工学技士会からの安全情報の収集を行い、MLや臨床工学技術部発行のCEニュースなど電子媒体を利用し関連部署に発信し、情報共有を行っている。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <b>無</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価を行った機関名、評価を受けた時期</li> </ul>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<b>有</b> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信の方法、内容等の概要</li> </ul> <p>1. 附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員15社へFax、記者会見を通じて、プレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外・院外に向けて情報発信している。</p> <p>2. 診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。</p> <p>3. 患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<b>有</b> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</li> </ul> <p>ア. 補助人工心臓を用いた重症心不全治療…心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科の診療科の他に、看護師、臨床工学技士、理学療法士（心臓リハビリ）、臨床心理士、栄養管理部、薬剤部が合同して患者管理を行っています。</p> <p>イ. 肝臓移植はチーム医療で行っている。（図1）</p> <p>ウ. 神経線維腫症1型患者に対して、15歳までと15歳以降に分け、それぞれ基本的に診療を担当する科を決め、他は症状に合わせて診療科を決めるシステムを構築した。15歳までの診療システムを示す。（図2）</p> <p>エ. 大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術…心臓外科と血管外科が合同して手術を行っている。</p>	

図1

移植とチーム医療

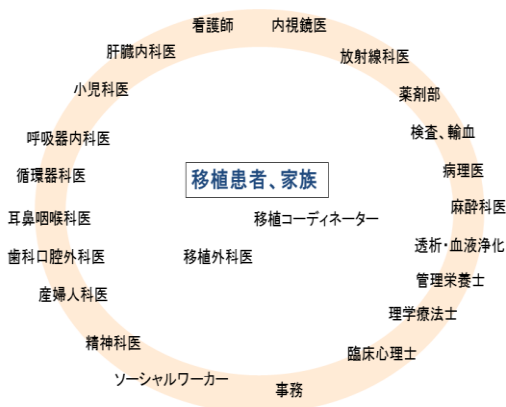
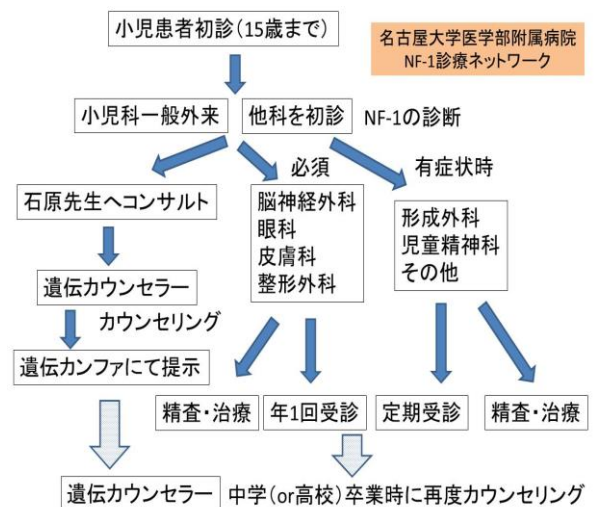


図2



平成26年度看護部院内集合研修一覧

看護部教育

	内容	対象者	対象人数	参加数	集合研修時間
新人技術 育成研修	輸液ポンプ・シリンジポンプ	新採用者	140	140	50
	電子カルテについて他	新採用者	140	140	
	ライン管理	新採用者	140	140	
	メンタルヘルス	新採用者	140	140	8
	スマイルアップ	新採用者	140	140	1
ラダー I 取得	マネージメント研修	新採用者	140	140	4
	メンバーシップ研修	新採用者	140	140	4
	患者と信頼関係を築く	新採用者	140	140	8
saving life ナース 育成研修	一次救命処置	新採用者	140	159	20
	フィジカルアセスメント①	新採用者	140	146	27
	二次救命処置①	新採用者	160	159	20
	フィジカルアセスメント②	ラダー I	140	162	27
	二次救命処置②	ラダー I	160	98	20
	フィジカルアセスメント③	ラダー I	90	87	16
	フィジカルアセスメント④	ラダー I	90	87	16
	フィジカルアセスメント⑤	ラダー I	90	82	16
認定試験	ラダー II	109	97	10	
ラダー I 取得	看護におけるケアリング	ラダー I	100	19	8
	看護チームのリーダーシップ	ラダー I	100	66	8
	看護研究初級コース	ラダー I	100	109	8
	臨床における新人看護師の指導・教育	ラダー I	100	96	2
ラダー II 取得	看護倫理	ラダー II	50	12	8
	看護研究中級コース	ラダー II	50	15	8
	部署における学習会企画・運営	ラダー II	30	5	4
	組織マネジメント	ラダー II	30	12	8
教育指導者 研修	看護継続教育	ラダー II	20	12	8
	看護基礎教育	ラダー II	20	12	8
	教育目標	ラダー II	20	12	8
	教育評価	ラダー II	20	12	8
	コーチング	ラダー II	20	12	4
	ファシリテーション	ラダー II	20	12	8
看護 補助者	看護補助者研修	看護補助者	84	84	8
管理研修	ポジティブマネジメント	副師長	72	72	6
	マネジメントリフレクション	師長	40	40	6
	事例評価	師長・副師長	12	12	2
副師長 候補	副師長候補者研修	候補者	10	10	5
師長候補	師長候補者研修	候補者	6	6	5
静脈注射	静脈注射スタンダード II	ラダー I	107	93	30
			合計	2920	407